

347

8



始



扶桑社編纂

大日本蠶業家名鑑

東京 扶桑社藏版

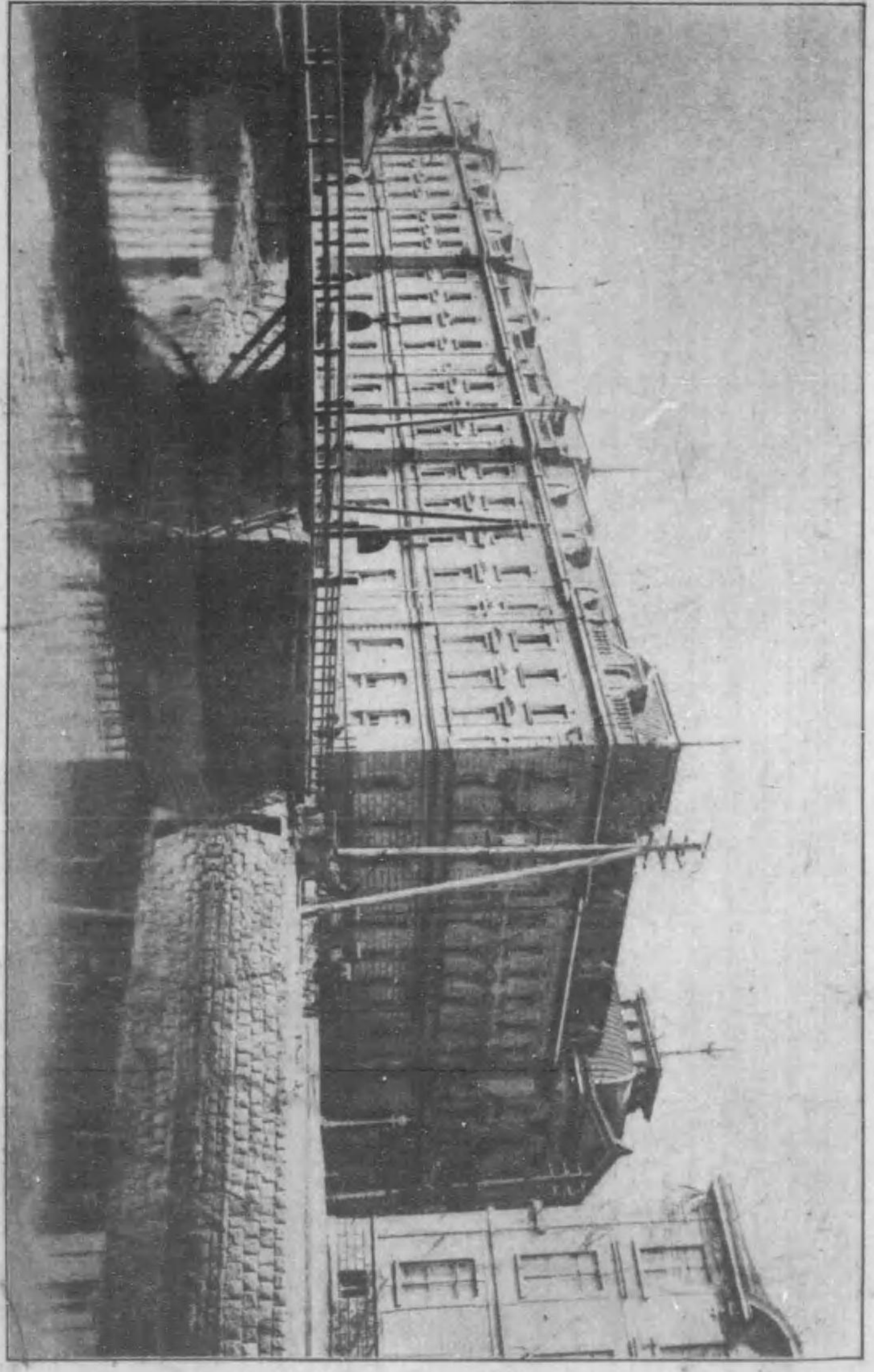
大正
2. 12. 15
印

農務商省

京東市橋區木挽町

農務商省

農務商省 (京東市橋區木挽町)



農商務省農事試験場蠶業講習所有効御證明

鼠印「コンモンセンス」鼠とり薬は完全無缺なる鼠とり薬なり効能
 確實なるが故賣行日を追て盛なるに随ひ類似品多數賣出したり是
 れ本品の有効確實なる誇とするに足るべし希くは鼠印の商標に御
 注意御買求めを願ふ



コンモンセンス鼠とり薬

價定

大罐金 壹圓
 小罐金 五拾五錢
 試用金 貳拾五錢

「スモンコ」るざらかべく缺に家業蠶
 (りなのもせにはのもきな標商此)

ふ乞を意注御りあ品似類はに

英國倫敦市コンモンセンス製造會社
 東洋總代理店
 賣捌店は縣下到處の藥店にあり

東京市日本橋區小傳馬町三丁目廿一番地

平山商會

電話浪花長(二七六五)
 振替口座(二〇九七五)

長野縣諏訪郡川岸村

片倉組

(3611)

長野縣諏訪郡岡谷

尾澤組製絲所

埼玉縣熊谷町

同工場屋澤組製絲所

岩手縣盛岡市

同工場盛岡製絲所

(3611)

長野縣諏訪郡平野村

合資岡谷製絲會社

(104)

長野縣諏訪郡平野村

本部

信州	諏訪	郡	同	同	同	同	同	湖南村
東	英	社	同	同	同	同	同	社長
關	關	關	關	關	關	關	關	五助
利	利	利	利	利	利	利	利	利
作	作	作	作	作	作	作	作	作
內	內	內	內	內	內	內	內	內
長	長	長	長	長	長	長	長	長
三	三	三	三	三	三	三	三	三
忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠
廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣
明	明	明	明	明	明	明	明	明
敬	敬	敬	敬	敬	敬	敬	敬	敬
佐	佐	佐	佐	佐	佐	佐	佐	佐
治	治	治	治	治	治	治	治	治

下仁田社長



商標

器械 (獅々頭寅頭、赤水牛、赤競馬)

座線 (鐵輪一桃、二桃、三桃、金文、銀文字、黑文字)

第四回内國勸業博覽會褒狀受領
 明治三十二年佛國(パリ)萬國大博覽會ニ於テ壹等賞金牌受領
 第五回内國勸業博覽會壹等賞金牌受領
 明治三十七年米國聖路易萬國大博覽會ニ於テ金牌受領
 明治三十八年白耳義國利榮壽萬國博覽會ニ於テ金賞牌受領
 明治三十八年波土國博覽會ニ於テ金賞牌受領
 明治四十二年(アラスカユーコン)太平洋博覽會ニ於テ大賞牌受領
 明治四十三年日英博覽會ニ於テ名譽賞受領
 大正元年生産高二萬二千百十三貫八百九十一匁組合數七十一ヶ所ヨリ生産ス

群馬縣甘樂郡下仁田町
 有限責任信用販賣組合聯合會
 下仁田社



明治二十六年創業

社長	佐藤	量平
副社長	齋藤	正次郎
理事	淺川	龜太郎
理事	岩井	龜太郎
理事	庭屋	靜太郎
理事	小井	土惣三郎
理事	關	孫市
理事	吉田	佐七
理事	新井	春吉
理事	大井	富太
理事	今井	直太郎
理事	黑岩	佐太夫

(105)

井上式繭運搬用容器

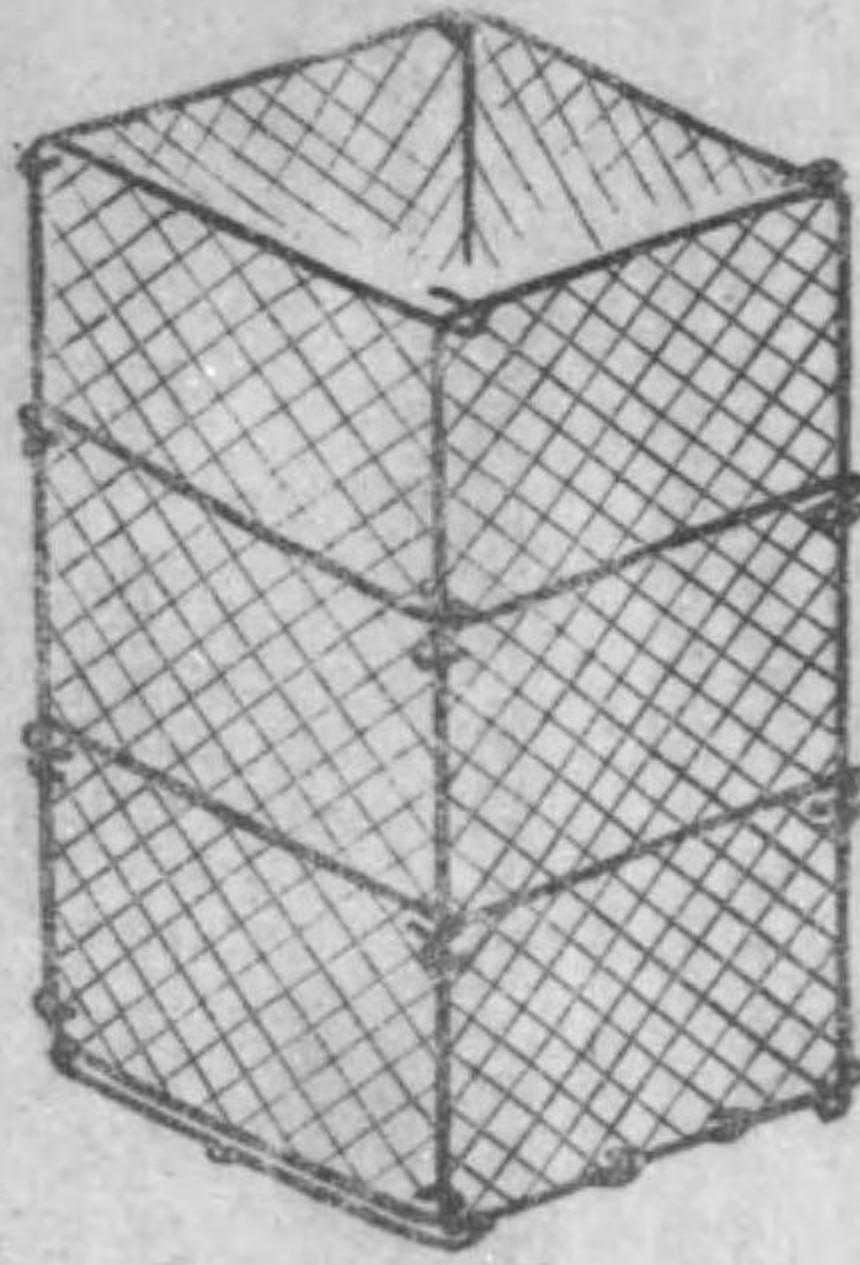
實用新案第二三六六八號

考案者
鐵道院書記 井上由松氏

一、本器は骨を六番線を十七番鐵線目を二寸目に横に力骨として六番線一條を入れて有るから荷馬車に積んでも潰れる虞がなく永く使用に堪ふるから繭籠と違つて何回も用ひられます

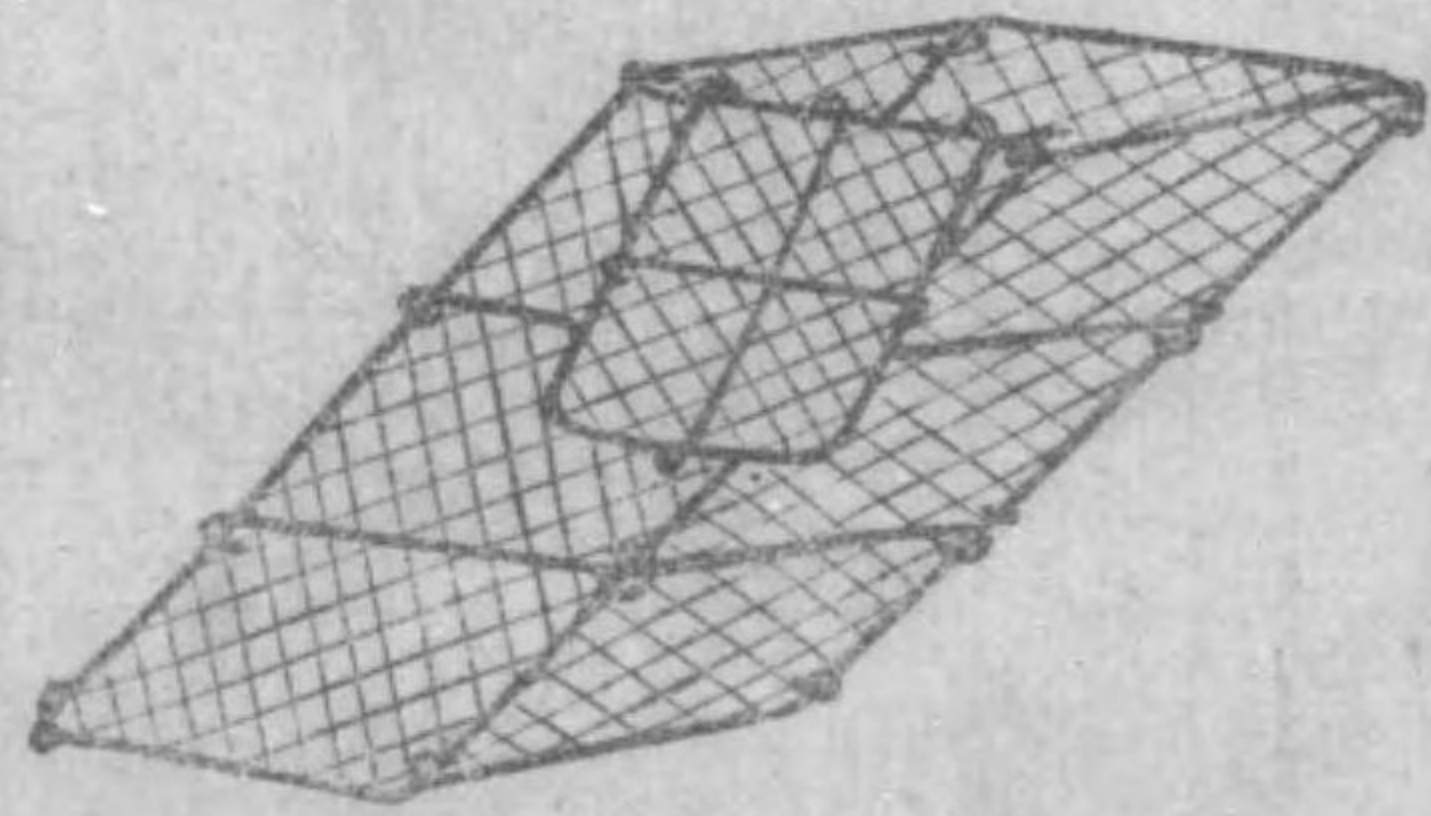


立テタルル圖



二、本器は繭籠と異つて角形で有るから一個に付一斗三升過分に入られて鐵道貨車内の寸法を測つて造つたので有るから一車に八十八個積みか定價であつて繭籠の様に空席分の運賃を支拂ふこと

潰シタルル圖



三、とがなく底の力棒を抜き取り潰して貨車に積む様な事が無いから至極安全であります
三、本器は折り畳み得るので空にて運送するに鐵道院繭籠特別引運賃の五分の一の運賃で運ばれて保管には席を取らね雨晒しにしないので毎年用ひられるといふ大に便利な品であります

賣價壹個

金壹圓貳拾錢

鐵物商 水戸屋 水野新三郎

(電話五十八番)

埼玉縣熊ヶ谷町字仲町

大阪市東區備後町四丁目

大阪支店

福島市大町五十五番地

東北支店

名古屋市西區本町五丁目

名古屋支部

廣島市中ノ島本町八十二番地

中國支部

久留米市芋抜川町

九州支部

福井市佐桂枝上町

北陸支部

札幌區南一條西三丁目

北海支部

資本金參 千萬圓
積立金貳百貳拾八萬圓

東京市日本橋區南茅場町

有隣生命保險株式會社

電話浪花 長一四番
特一八八番

振替貯金 三七五二番

品質の善良なるものを廉價に供せらるゝ秘
訣は中原式乾燥器、煮繭器を直ちに採
用せらるゝにあり

階上の蠶絲の要器等陳列參考に供する計畫罷在候市内
電車も店前迄相通じ候に付是非御立寄の程待上候
乾燥器類は製作所處在地川口停車場より直接出荷し持
込料輕減荷物速達等御便宜を專一と可致候



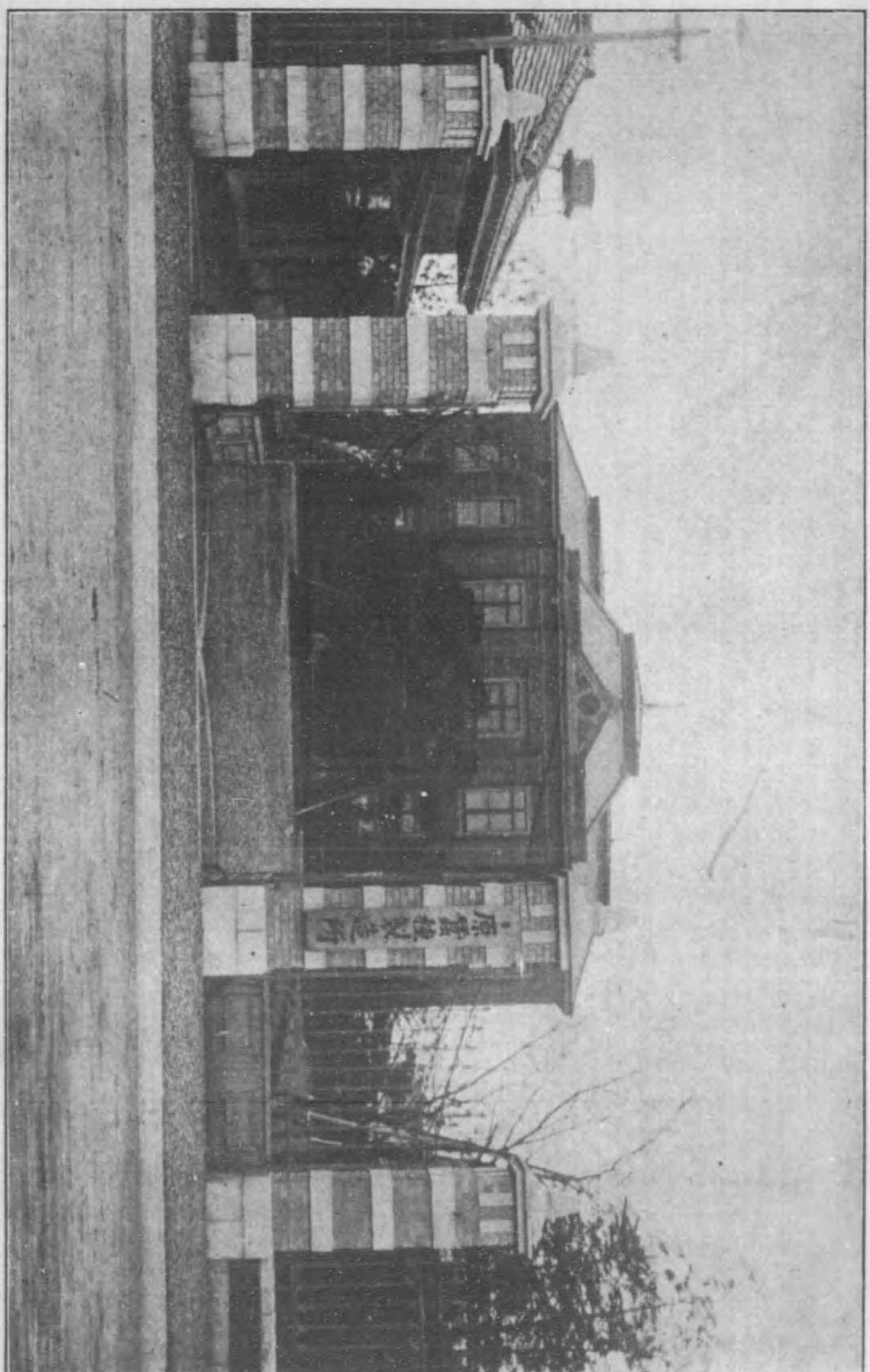
東京市本所區德衛門町三十四番地

中原式合資會社

長電話本所二二二六(電略ナカ)
支配人宅本所二二二九(電略ナカ)
振替貯金口座六五〇四番

營業特許中原式乾燥器製作販賣
製絲器械汽機ケンネル類
小幡式統一品小道具類
并附屬品

(村並杉郡摩多豐府京東) 所造製種蠶原省務商農



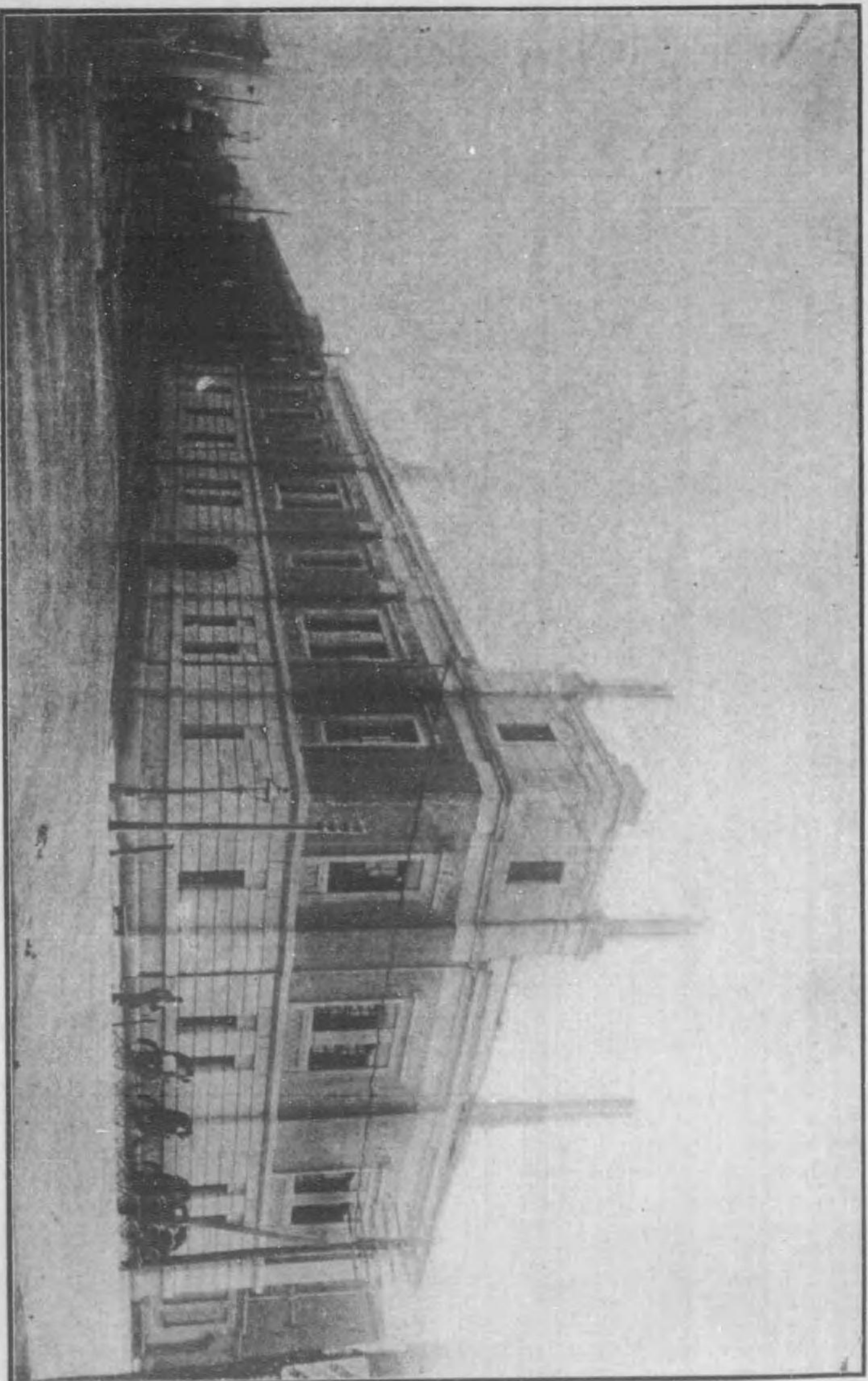
東京蠶業講習所 (東京府北豐島郡
瀧野川村西ヶ原)



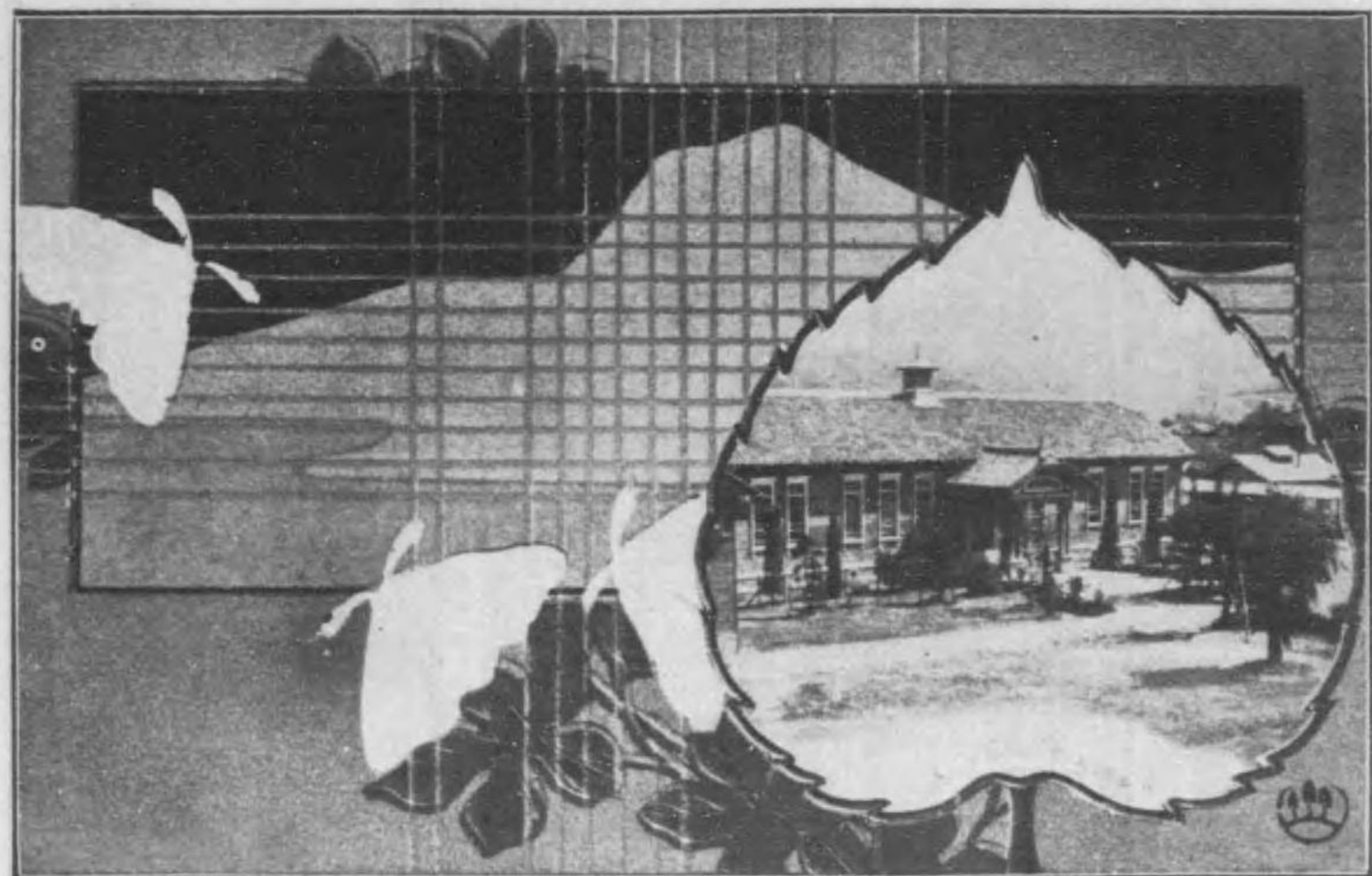
原蠶種製造一所宮支所 (愛知縣中島郡
宮崎町)



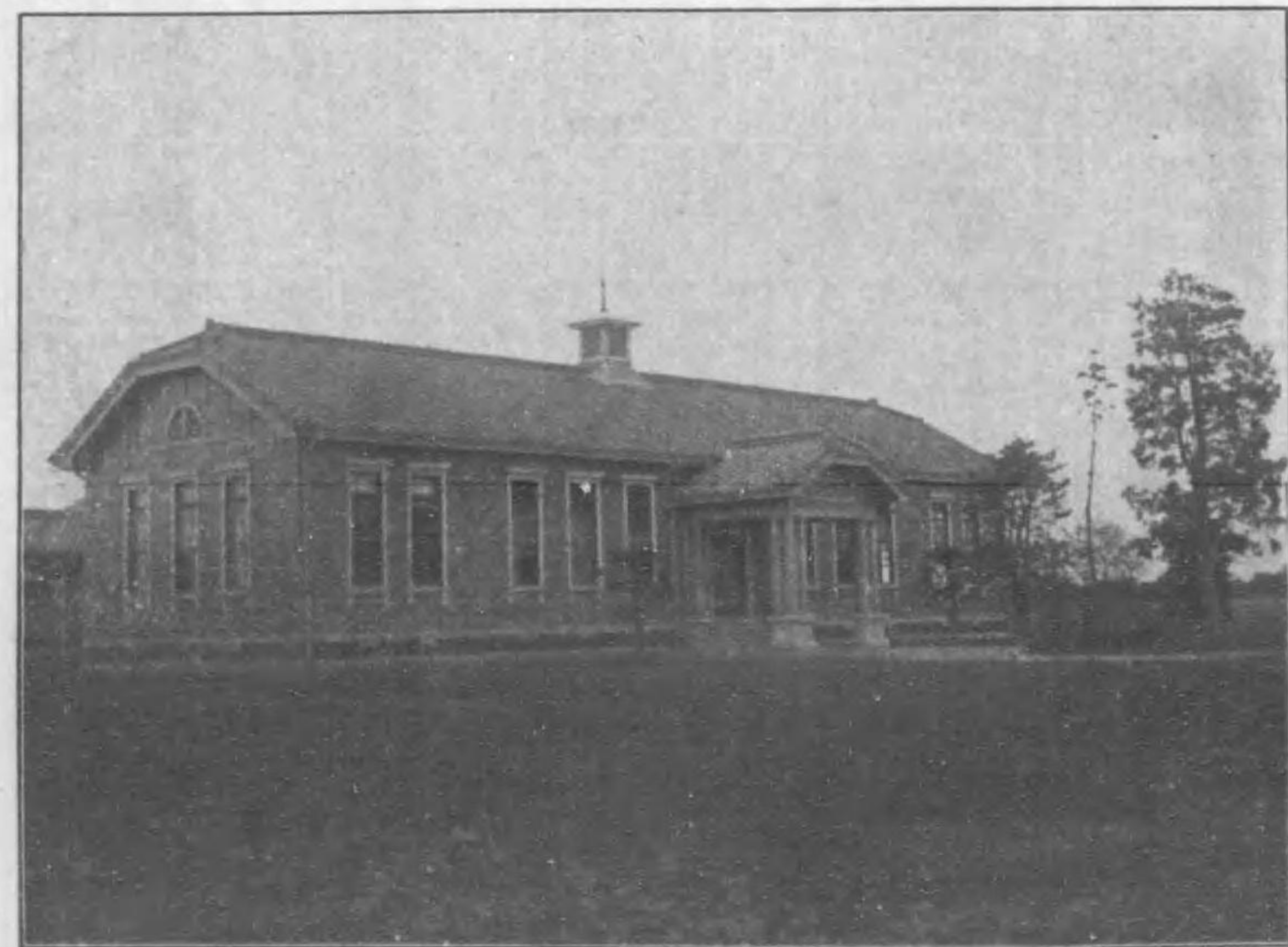
農商務省生絲檢査所 (神奈川縣橫濱市)



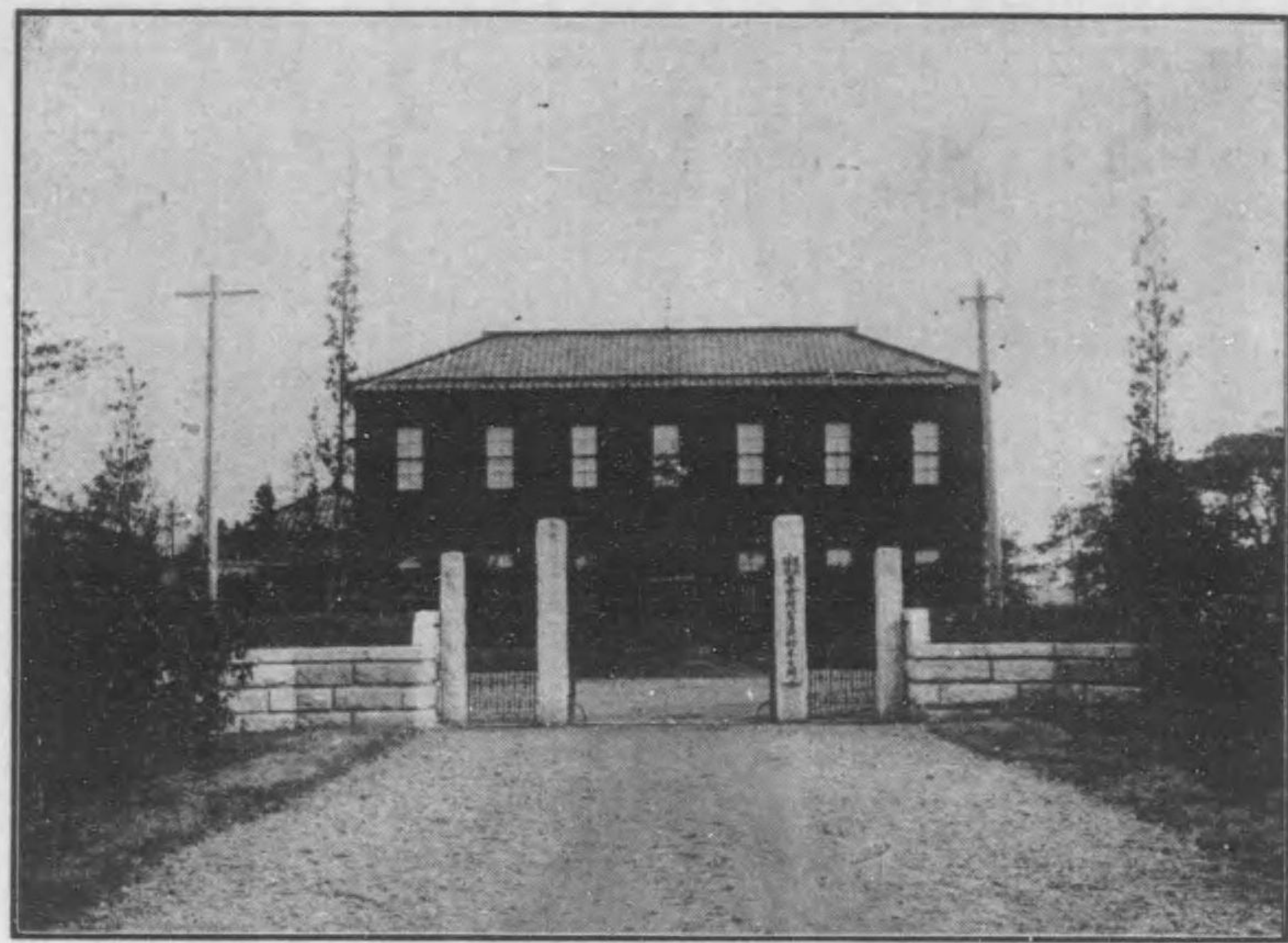
(市島福縣島福) 所支島福所造製種蠶原
(田根曾字大)



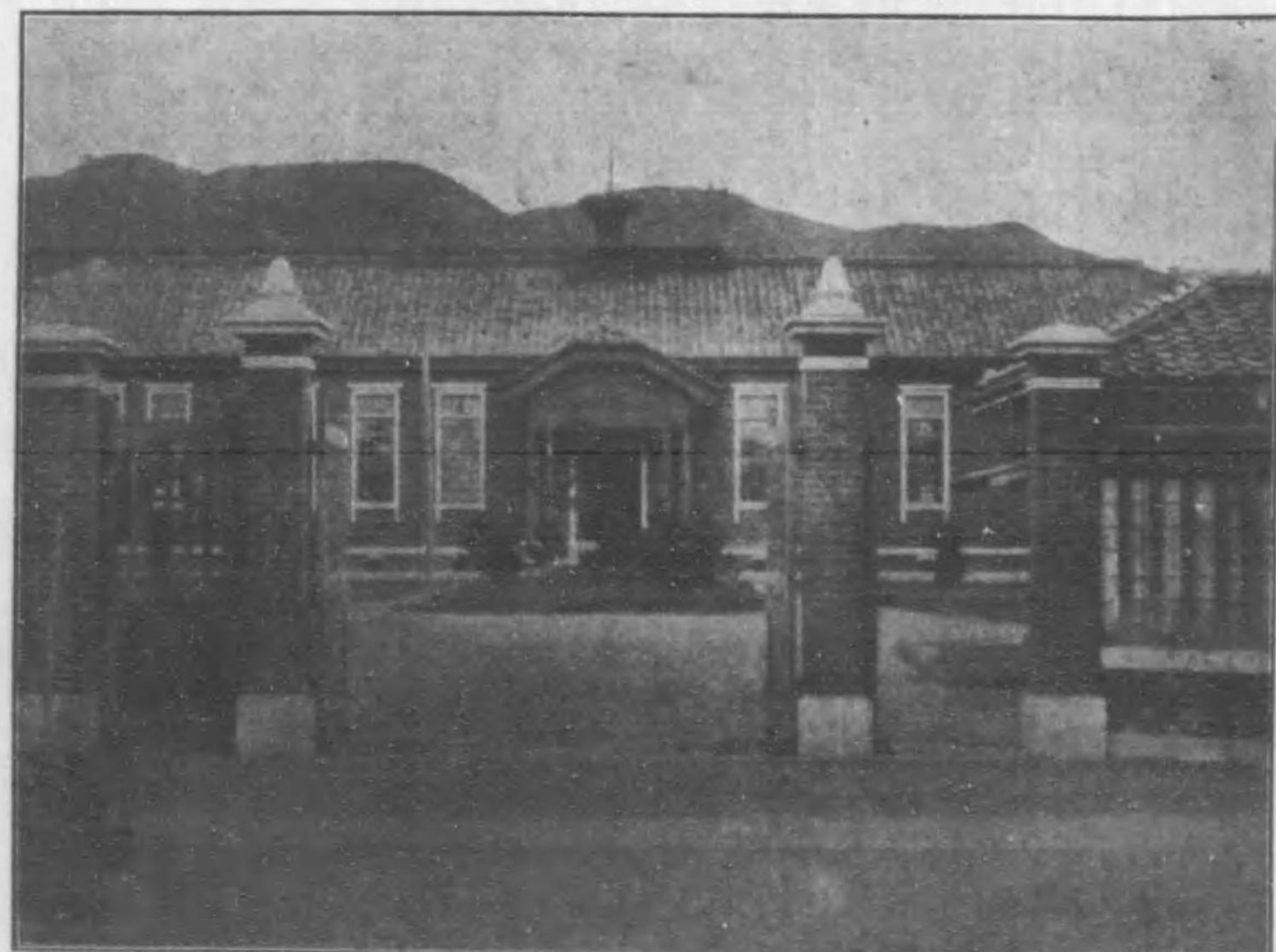
(市橋前縣馬群) 所支橋前所造製種蠶原
(町神岩宇)



(市長野縣松本市) 所支本松所造製種蠶原
谷ッ四



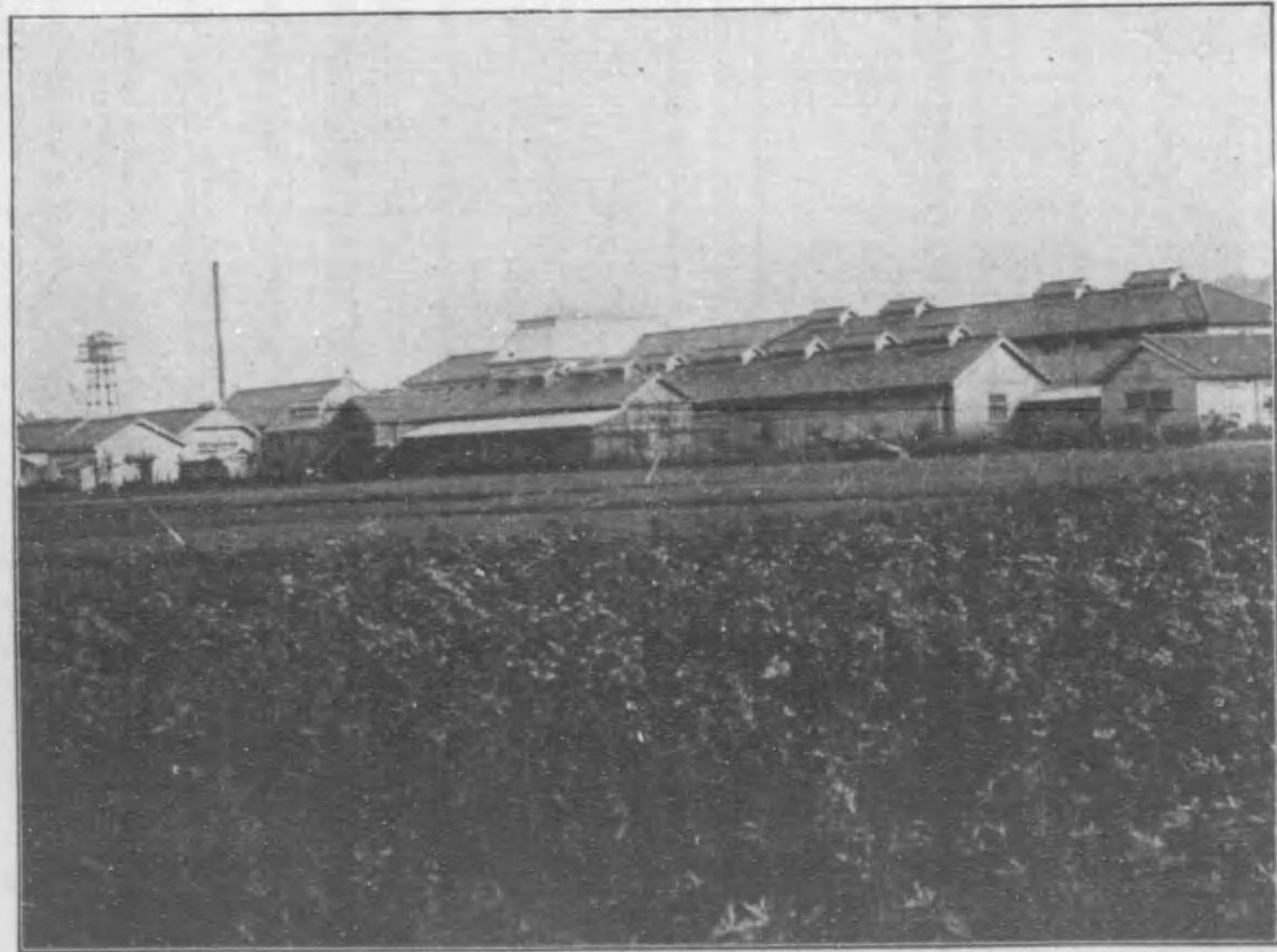
(京都府南何鹿郡) 所支部綾所造製種蠶原
町部綾



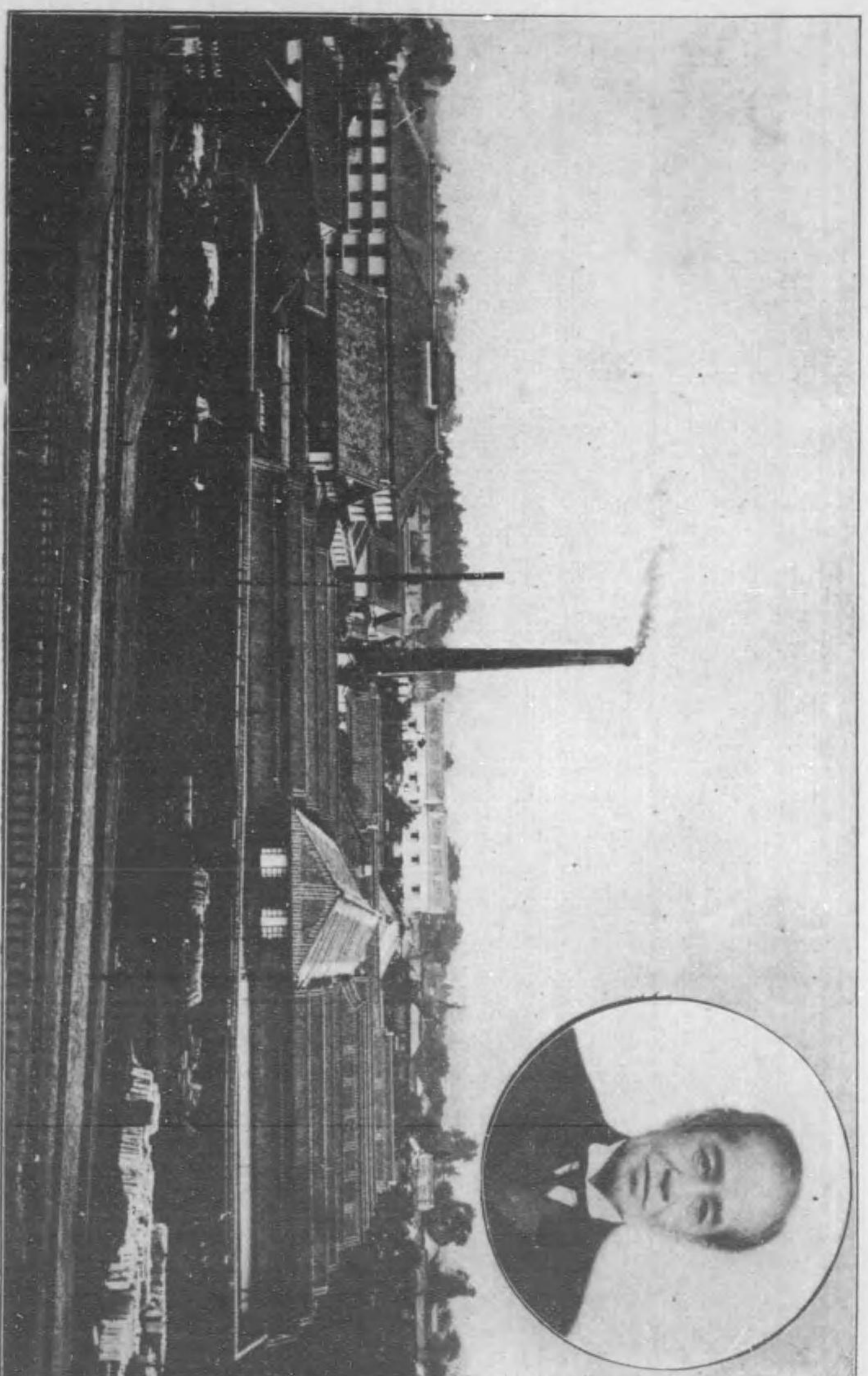
上田蠶絲專門學校 (長野縣小郡上田町)
(一 其)



(二 其)



氏藏國林長館



開國製絲場 (町谷深耶里大縣玉埒地在所)

奥羽六縣聯合共進會一等賞
 群馬縣主催聯合共進會一等賞
 大日本蠶絲會品評會優等賞



アラスカエーコン太平洋博覽會一等賞
 日英博覽會一等賞
 伊太利萬國博覽會優等賞

長社役締取木鈴



役締取務專田山



白石製絲機業株式會社



町石白郡田刈縣城宮地在所

橫濱蠶絲貿易商

同業組合員

以下三十七名

(順序不同)

本町三丁目五十一番地

澁澤商店

元濱町二丁目十五番地

大谷合名會社

本町二丁目二十八番地

合名會社 田中商店

本町四丁目五十八番地

橫濱生絲合名會社

山下町百七十七番地

三井物產株式會社

橫濱支店

本町三丁目四十一番地

神榮株式會社

橫濱支店

辨天通三丁目五十四番地

矢島商店

南仲通三丁目五十四番地

星野商店

辨天通一丁目十五番地

小川商店

辨天通一丁目十六番地

中澤商店

本町三丁目四十六番地

阿部商店

南仲通二丁目三十五番地

小野村商店

南仲通三丁目四十六番地

矢部商店

本町二丁目三十四番地

合名會社安西商店

尾上町三丁目三十二番地

古鍛冶商店

北仲通三丁目五十番地

市原商店

南仲通三丁目四十六番地

岩倉商店

本町三丁目四十七番地

笹本商店

南仲通四丁目七十六番地

合名會社小島商店

辨天通四丁目七十六番地

伊藤商店

北仲通三丁目四十八番地

角和商店

南仲通四丁目六十二番地

岡田商店

太田町一丁目九番地

森山商店

横濱市辨天通一丁目

小野商店

電話(長長) 六七五
十一四
番番番

CSSHI

茂木合名會社

合名會社
茂木銀行

横濱市辨天通三丁目

原合名會社

横濱市本町四丁目

若尾商店

CSSHI

生絲賣込業

横濱市北仲通二丁目

會野々垣商店

電話一三七三番
電略(一七八)

蠶絲貿易商
輸出絹物商
玖馬輸出商

横濱市太田町三丁目四十八番地

百井久七

電話長九〇三番
電略(三七)

横濱市山下町二百十六番館

屑物專業賣込商

矢野上甲合名會社

(電略マルサ)
長距離(電話二百七十五番)
(電話四千七十五番)

横濱市南仲通三丁目五十六番地

横濱取引所仲買人

上甲仲買店

(電略〇サ)
(長電話千四百十番)

横濱市辨天通二丁目

生絲貿易商 木村商店

電信略號キリン
電話三〇二三番
貳壹番

横濱市太田町一丁目

生絲貿易商 金子合名會社

電信略號(カコ)

横濱市本町一丁目十一番地

蠶絲貿易商

井上定吉商店

電話(一) 一五七六
電略(中) 話 二八七七

横濱市元濱町三丁目二十三番地

蠶絲製茶賣込商

山崎商店

電話二千百十八
電略ヤマ又ハ(ヤマ)

横濱市辨天通二丁目

蠶絲商渡邊商店

横濱市南仲通一丁目

蠶絲屑物賣込商

列糸井商店

電話長二、三四
電略(イト)又イ

横濱市本町四丁目

山田駒吉

電話(ヤマ)又ハ(ヤ) 電話(七〇八番)
電話長特(百〇二番)振替貯金口座東京三三七八

山田屑絲部

電話(〇ヤ)電話(三四九番)電話(三、九三九番)

蠶

問

●すま上差で料無録目解圖●

九十五目丁三町徒御仲區谷下市京東

社會式株業蠶本日

(ンサニ)略電 番四五二一谷下話電
番六二一五京東金貯替振

●すまりあもで何械器諸業蠶●

具

屋

(呈進代無械機諸業蠶品賣發社本)

舶來コンモンセンストラットエキスターミネートル

來舶簡易殺鼠劑

本劑は北米加奈太コンモンセン製造會社の製造に
係るも其の効力に絶大な賞賛を蒙り世界公認の爲め
氏政府に配付され試用を勧奨せられ我が日本政府
亦其効力に著しく其後西ヶ原農事試験場にて試
驗の上本劑の効力に驚嘆せざるものな
し故に本劑の爲め速かに就ては更茲に鼠族の撲滅に努
められん事を切望す

商標登録



試用分 參拾錢
半オンス入五十五錢
一オンス入一圓
扶桑讀者に限り特
に送料を要せず
◎現品には詳細な
る使用法説明書を
添付す

東京市下谷區仲御徒町三ノ五九
日本蠶業株式會社藥品部
電話下谷二二五四番 振替東京五一二六番

(K401)

大日本通信農學校

新學期開講 生徒募集

自宅に居る僅か壹ヶ年、僅少の學費に於て甲農學校卒業し資格を得、立身成功の道を開き、家庭を離れる人は、嶄新奇拔なる國人的甲農學校へ入學せよ。我農業者、國家の青年、七千萬の國民、農業者、農産物を以て、常食とする我國の現状、此歴史ある農業者の責任に、あらずし本校を卒業する諸君の責任を、何ぞや、本校は各種大學無試験、入學海外留學、就職紹介等の大特典有り。

校長 持明院子爵 博士 農學士
 顧問 佐藤博士 農學博士
 學監 宮部博士 農學博士
 講師 大鳥博士 農學博士
 高岡博士 法學博士
 大島博士 農學博士
 橋本博士 農學博士

●教授録見本規則は本紙にて有し、旨無料
 教授録の登記申込次第に
 ●進呈新學期を紀念め、此際の入學生に
 入學金全免其他七大特典あり

●機關雜誌進呈 詳細本校規一
 月に限る速に入學せられよ。
 獎學金壹千圓の提供と書籍進呈其他の
 東京本郷 電話下谷五三九番 大日本農學校
 新花町 振替東二四六三九番

● 全國特約店ヲ募集 ●

◀ 噴霧器之大革新 ▶

證明書
 本場ニ提出セル
 丁字形噴霧器
 ニシテ、使用力簡易
 キコト、噴出ノ力
 廉ナルト、價格ノ
 ノ特色ト認ム
 西ヶ原
 農事試験場

證明書
 一宿谷式丁字
 噴霧器ハ、輕便形
 ヲ用キ、噴霧量多
 ルトシテ、噴霧ノ
 ヲシテ、噴霧ノ
 ヲシテ、噴霧ノ
 農商務省
 東京蠶業
 講習所



(大正二年新式) **宿谷式 實用噴霧器**

此の處分解し中部の水
 管を掃除し又は修
 することを得
 此處の皮に油を塗る時
 は、輕くなり且水洩の時
 なし憂
 此の處を捻じて先きに
 送る時は中霧及水線
 となり元に送る時は
 細霧となる

本器ノ特色
 △蠶室蠶具消毒用に最も適す
 △省力なること本器の特色なり
 △果樹園藝家の備品
 △堅牢なること世界に比なし

△噴霧の状態自由なること他に類なし
 △畜舎鶏舎用として最も便利
 △病院用として最モ妙
 △價額の廉なる天下に冠たり

全部眞鍮製ニ
 鍍金
 布入ゴ
 スムホ
 附六尺
 正價金
 六圓
 荷造運
 金共拾
 上六拾
 付一六
 自錢拾
 五錢拾
 金貳拾
 但布入
 拾ハホ
 拾五尺
 八尺に
 長す
 とを得

△十二臺以上共同購買御申込の方に對して特に割引を爲す (ハの三)

東京市淺草區福富町二十八番地
 東京振替口座 二二五二五番
角谷商會

製造販賣元
 宿谷式 實用噴霧器

信州諏訪湖畔上諏訪停車場ヨリ僅二丁

遊 スケート場 場際
含鐵炭酸硫黃泉ラジウム含有

御湯治 秀芦閣 鷺乃湯
御旅館 伊東勝太郎
長電話二五九番

眺望絶佳納涼最適
本湯は明治四十五年一月發見新設の温泉場ニシテ。胃
病。リョウマチス。腦病、貧血、子宮病、皮膚病等に最
效能有之候間御試浴被下度候

夏は遊泳に納涼に冬はスケートに最も眺
望の絶佳なる一大娛樂場は……

諏訪湖巡遊汽船高島丸
遊 館
電話二三四番

信州上諏訪町
御料理 湊新鈴木新七
長電話一四九番

製絲器械一式製造販賣
インジャクトル製造元祖

大工道具 萬打及物
銅鐵地金 萬山
鑄物類各種
信濃國下諏訪町
河西準之助
電話三十七番
電略(カサイ)

寒暖計製造元如何成ル形ニテモ御注文ニ應ズ
時計并に修繕、洋物小間物洋傘
特許新案 永田時計店
二〇五四〇
永田式便利計
乾式濕計
諸平器
諏訪郡上諏訪清水町
永田時計店
電話(ナト番)
電話二百六十一番
仲町 永田時計支店

松本特産元
蠶網製造所
信州松本市白坂
折井蠶網製造所
營業用電話長三〇五番
分工場用電話八五二番
振替口座東京三二八七番

文學博士井上賴因先生 中村文學士、森醫學士、鈴木農學士監修 家政研究會編 菊版千二百頁 總クロース金文字入 色模様美麗函入 重寶 經濟 日用百科全書

▲大正式大節用家庭要書四十二冊の合本▲口繪挿圖豊富
本書は昔の大節用を大正式にしたる重寶記で日々起る知らぬ事、不便不都合何でも蚊でも一々説
明し疑問を解答す、今まで仕て來た事は一層便利經濟な法を教へ十分の價で出來る法を教へ、米經濟法
の實行は一月一人一圓の徳となる等凡て實利輕便經濟的、然かも科學と實驗を根據としたる知識の寶庫
且つ面白く有益なる記事充實、一家に此本さへあれば他の書物を備ふるの要なし。

▲大正式大節用家庭要書四十二冊の合本▲口繪挿圖豊富
目次
第一篇 皇室
第二篇 政治
第三篇 法律顧問
第四篇 經濟
第五篇 農事
第六篇 家庭工務
第七篇 商業
第八篇 交通
第九篇 教育
第十篇 裁縫
第十一篇 住居
第十二篇 衛生
第十三篇 家具
第十四篇 習字
第十五篇 書畫
第十六篇 音樂
第十七篇 禮式
第十八篇 易占
第十九篇 算術
第二十篇 珠算
第二十一篇 文法
第二十二篇 英語
第二十三篇 英語
第二十四篇 英語
第二十五篇 英語
第二十六篇 英語
第二十七篇 英語
第二十八篇 英語
第二十九篇 英語
第三十篇 英語
第三十一篇 英語
第三十二篇 英語
第三十三篇 英語
第三十四篇 英語
第三十五篇 英語
第三十六篇 英語
第三十七篇 英語
第三十八篇 英語
第三十九篇 英語
第四十篇 英語
第四十一篇 英語
第四十二篇 英語

▲大正式大節用家庭要書四十二冊の合本▲口繪挿圖豊富
天下の低廉 菊版千二百頁大部金銀色箔艶麗意匠の極美本函入特價壹圓八拾五錢は實に書籍と
の色白法日に焼けた法一つで此本の事はあり、商家の簿記法、農家の養蠶豐作法、一反米五石を得る
無代肥料法の實行は本の價の數十百倍の儲あり
▲大正式大節用家庭要書四十二冊の合本▲口繪挿圖豊富
代表萬朝報日世界無二の重寶 家庭日常の事賣至廉も其用大也
▲大正式大節用家庭要書四十二冊の合本▲口繪挿圖豊富
景品付 定價金參圓の處此際大特價金壹圓八拾五錢に割引す
▲大正式大節用家庭要書四十二冊の合本▲口繪挿圖豊富
大特價 尙明治天皇紙型御像桃山御陵模型 一個(定價)進呈す

大正全百科書 クロース金文字 箱入美本八百頁 定價壹圓五拾錢の所 割引金壹圓 送料八錢
附錄明治天皇盛徳記及明治歴史を添付す 日用必須の百科目を編せる萬民必備大珍書

發行所 東京 神田 裏 猿樂 町 振替 東京 一八七 番 三 英 堂 書 店

必ず御一讀下さる候

扶桑館蠶種注文者注意

主義綱領

●扶桑館は最も純真強健確實保證の蠶種を誠實に責任を負ひ供給する故最も安全に有之候。扶桑館は春夏秋各蠶種を供給するの設備有之候。

豫約注意

●限り名入精選仕候。夏蠶種早秋蠶種晚秋蠶種豫約者は製種十日日前本館着の日取を以て、豫約以外の注文は注文と同時に直ちに御送金。●送金の順序により、産卵製造の上發送するものなればなるべく早く御送金の方得策に候。

前金規定

●御注文の節は必ず前金相添御注文被下度親疎に關らず前金に非ざれば一切發送不仕候。●代金引替は途中に日子を要し被害の憂あるを以て、春蠶種を除くの外一切謝絶仕候。春蠶種代金引替御希望の方は小包料及引替料金二十錢前納被下度然らざれば一切出荷仕らず候。

御送金法

●本館は本館への送金は東京大阪振替貯金に加入せるを以て關東地方は東京六三〇番關西地方大阪一七六八八番に御拂込願上候。振替用紙は本館にて時々進呈し又請求により進呈す。本館にて配付せる用紙を用ゆる時は振込料は本館負擔とす。又振替用紙は全國郵便局にて無料にて交付さる。此場合には本館各番號御記入を乞ふ。通常爲替にて御送金の節は受取局郵便局受取人扶桑館長齋藤兵次郎と御名記被下度候。

御發信法

●書信の宛名は長野縣南佐久郡南穂高村扶桑館と御明記被下度候。●には蠶種の種類、名稱、平製と框製との區別枚數産卵番號又は出欠期日文字御明記を乞ふ。(例へば秋蠶種白)

特別注意

●龍框製五枚第一號口七月廿日産卵といふが如し住所縣郡村名往々よみ惡きため事務の繁雜を來し發送又は回答遅れと相成り申すべく候。御注意下され度候。

蠶種發送

●御注文蠶種は夏秋蠶種風穴蠶種は直に箱入郵便にて安全に御送り申上ぐべく候。●箱代郵便送費は本館特により遠隔の地は電報料を添へ申込まる時は電報を以て發送を報知する故局所を受取りに來らるべし。春蠶種は検査済の上秋令の候をまち全額拂込の順によりて發送可仕候。最寄水浴貯藏希望者は方法便利に來春期發生前迄預り置くべし。●蠶種到着の上は其旨御一報願上候。

御照會書

●御照會の節は必ず注文月日、注文品名、送金方法、金額等御明記御申越被下度唯先日過日注文云々にては一々調査の手續大にて從て遅延可仕候間必ず御注意願上候。

至急注文

●至急の注文は電報にて電信爲替にて御送金下され度候。直に御請求の蠶種を御發送申上ぐべく候。

發電注意

●電報爲替にて送金の節は同時に別に注文電報を發せられ度然らざれば蠶種發送不能候。●電報發信者は本文の末尾又は用紙の右下の小區切中へ發信者の氏名略符を記さるべきこと(然らざれば何人の發信なるか不明に候。左下に本字にて書きたるは受付局に分るのみにて受信者たる本館には通せざるもの候)。●館友各位は前以て御發信の(局名)略號及直配達か否かを御通知なし置かれたし本館番帳に記入登録し置くべし。●發電の際可成本館所定の略語を用ひらる。方利益に候。

日英博覽會扶桑館拜授賞牌



大正二年扶桑館蠶種一覽表

本館は春夏秋晚秋各蠶種共取揃あり桑葉の青々たる間は何時にても自由に掃立し得らる、様設備完全せり

春蠶種

●内白龍、又昔、改良、青熟、中巢、良又昔、青熟、外國種、黃石丸、白石丸、諸桂、支那種

夏蠶種

●大和錦、掛合、白龍、長白龍、白飛白

早秋蠶種

●大和錦、掛合、白龍

晚秋蠶種

●大和錦、掛合、白龍

製造期

●第一號口 七月十七日前後
●第二號口 七月廿四日前後
●第三號口 七月廿七日前後
●第四號口 八月四日前後
●第五號口 八月十一日前後

製造期

●第一號口 八月十二日前後
●第二號口 八月十八日前後
●第三號口 八月廿五日前後
●第四號口 九月八日前後
●第五號口 九月十五日

本館は徒に大注文を希はず直接養蠶家より一枚二枚の少數注文を歓迎し忠實に御取扱致候
長野縣南安曇(郵便電信) 郡南穂高村(豊科局) 扶桑館 振替 東京第六三〇番 大阪七六八八番 (發電時號サイト) 又は(サ)

風穴蠶種

●稱名 支那種、白龍、日本錦

注意 五月より八月迄何時にても出庫指定日に發生する様見計ひ發送す

代價表

●春蠶種 框製 一枚 廿八錢
●夏蠶種 框製 一枚 廿七錢
●早秋蠶種 框製 一枚 廿七錢
●晚秋蠶種 框製 一枚 廿七錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢
●外國種 框製 一枚 廿八錢

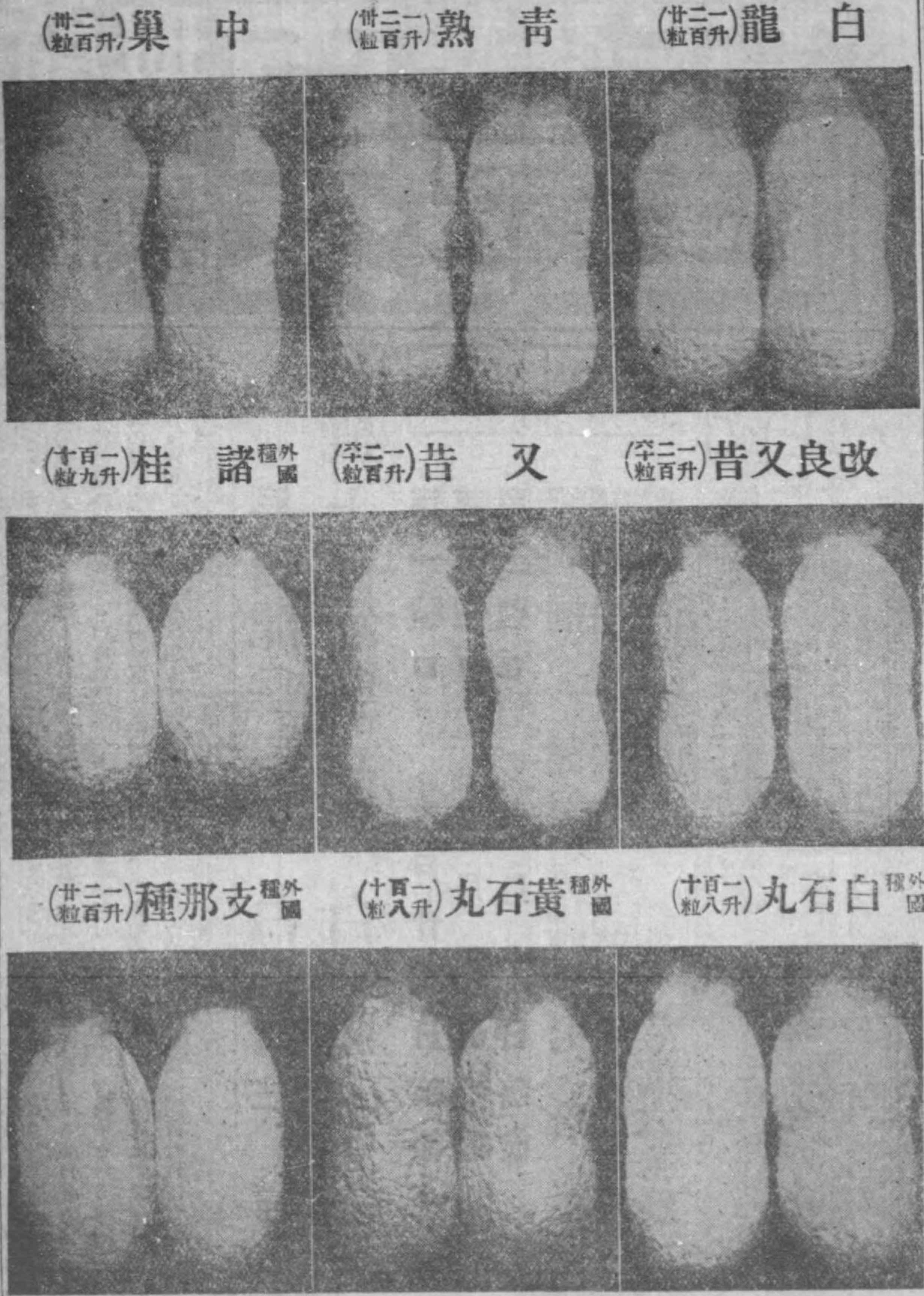
120111

120111

長野縣南安曇郡南穂高村 郵便電信 扶桑館 振替 東京第六三〇番 大阪七六八八番 電話發信 略號 第六三〇番 又(サ) 又(サ)

也母の作豊は種蠶るな健強

扶桑館は直接養蠶家より一枚二枚の少注文を歓迎す



(トイサ)は又(サ) 號略電發
番〇三六第京東 座口替振
番八八六十六阪大

館桑扶

信電便郵 郡晏安南野長
局科と豊村高穂南

れあ文注に速ばま望を全安の蠶春^{年明}

大正三年 飼育用

扶桑館の理想的春蠶種

集募約特

扶桑館春蠶種の特長

春蠶種は何處の地にも盛んに製造せらる、然りと雖本館春蠶種はありふれたる春蠶種にあらず、他の容易に企及し得べからざる特長を有す、此特長ある扶桑館春蠶種を得て明年春蠶の豊作基礎を今より確立せんと欲せば速に豫約注文せられんことを希ふ

■蠶種本場として天下無比の信州本場地に於て最良の組織方法にて製造せる合理的良種なること

■種類は年々歳々試験研究を加へ淘汰改良を實行せり他の時勢遅れの比に非ざること

■従て各種共何れも其特長を發揮し各地製絲家が歡迎好むする良種のみなること

■蠶兒強健なれば飼育中失蠶少く飼育量の割合に收繭多く其利は殆んど上繭のみにして屑玉繭少く且其上繭の品種宜しきを以て利益はありふれたる蠶種に比して頗る多大なり、論より證據各地飼育の事實之れを證す

■殊に本年新提供の外國種は目下大歡迎の者につき本館の特選精製せる者断じて他に比なきを確信す

■蠶業を有利に經營せんに其良種を養育して其繭を多大に得 收益を倍得するに若かず此志ある者速に飼育せられよ

代價 框製(廿八)一枚七 十 錢
平製(付全)一枚一圓六十 錢
△箱代郵税無料▽

平製十枚以上 一割五分引
框製廿枚以上 一割五分引
一平製一枚 壹圓參拾六錢の割
一框製一枚 六拾錢の割

六月廿五日限り代金の半額を添附し豫約を申込たるものは名入特選製造をなす

發送は秋冷の候を待ち全額拂込の順に最も先水浴貯藏希望者は春季蠶生前迄預り置くべし

詳細規定は第廿八頁御一覽を乞ふ

外國種代價 外國種に限り原蠶種用特別蠶種のみを製造す 一枚金壹圓とす

各種類の詳細説明 事業案内にあれば申越次第進呈す

(トイサ)は又(サ) 號略電發
番〇三六第京東 座口替振
番八八六十六阪大

館桑扶

信電便郵 郡晏安南野長
局科と豊村高穂南

信州の最適地に於て最良最善を盡した本館の春蠶種は眞の理想的蠶種と云可也 (この四)

夏製蠶種は他種より少く、且つ又扶桑館の一大特色也

強健無敵 夏製蠶種

▲夏蠶の利益
夏蠶は秋蠶発見以前廣く行はれたるが爾來秋蠶の擴張と共に其飼育漸く減じたるが、秋蠶に特色あるが如く夏蠶も亦夏蠶の目的利益と特色とあり第一氣候寒冷又は農作都合にて春蠶を飼育する能はざる地方第二春蠶の殘染硬化せざる内に利用せんとする者第三春蠶の上葉早く桑の伸長早き地方第四秋蠶生種の味の忘れられぬ人(夏蠶は秋蠶と凡て同じで唯時期が早い丈です)第五風穴蠶種製造家の原々種用として(毎年穴返しすると性質が悪くなる)などはぜひ夏蠶を飼育せればならぬのです。

名称	製造	代價	注文	割引
長白龍 (二百粒)	第一號	廿八錢	送金順次により産附箱入にて安全に郵送す	廿枚以上一割五分引
白飛白 (二百粒)	第二號	廿七錢	代金は注文と同時に御拂込被下度候至急の注文は電報爲換にて送らるべし	十枚以上一割五分引
大和錦 (二百粒)	第三號	廿六錢		
白龍 (二百粒)		廿五錢		
		廿四錢		
		廿三錢		
		廿二錢		
		廿一錢		
		廿錢		
		十九錢		
		十八錢		
		十七錢		
		十六錢		
		十五錢		
		十四錢		
		十三錢		
		十二錢		
		十一錢		
		十錢		
		九錢		
		八錢		
		七錢		
		六錢		
		五錢		
		四錢		
		三錢		
		二錢		
		一錢		

野南縣安南郡 豐村高穂 郵便局 扶桑館 電話 〇三六八 (トイサ) 又(サ) 座口替振 館桑扶 信電便郵 局科豊村高穂南

強健貯藏完全發送迅速

扶桑館特撰の風穴蠶種

●扶桑館の風穴蠶種には如何なる特色があるか

第一 蠶種の質實精強なること、之れ本館の春夏秋蠶と同じき最善の組織方法にて製種せしものなれば也。

第二 館内に冷蔵庫あり、構造の完全なること、其は貯藏上の設備及監督については最善なる扶桑館長の指揮の下に熟練なる専門技術者之れに當る、之れ他の風穴冷蔵庫に未だ曾てなき所、貯藏上一點の申分なき也。

第三 いづれも期日を違へず發送する、御注文の時掃きたい日を指定してよこせばいつでも必ず其日に發送する見計つて送る。

第四 本館設立の最良なる冷蔵庫に貯藏せるものであるから、發生が宜しく爾後の成績が頗るよい、決して發生不十分又は不發生などのことはない。

第五 明日又は明後日掃きたいと云ふ、急な注文の間に合はせる爲めに、日々出穴して備蓄して居るからかういふ急場の掃立に間に合ふ。

第六 原蠶飼育者には完全なる究理法を施して上げる。

以上の特色があるから、他製の風穴蠶種が失敗した年でも我が扶桑館の蠶種はいつでも豊作しサスガは扶桑館の風穴蠶種との評判をとつた、論より證據一度掃いて見給へ。

未だ扶桑館の獨特風穴種を飼育者速く飼育して本年は大豊作を見られよ

名	代價	割引
大和錦 (二百粒)	廿八錢	廿枚以上一割五分引
白龍 (二百粒)	廿七錢	十枚以上一割五分引
日本錦 (二百粒)	廿六錢	
白飛白 (二百粒)	廿五錢	
自由 (二百粒)	廿四錢	

野南縣安南郡 豐村高穂 郵便局 扶桑館 電話 〇三六八 (トイサ) 又(サ) 座口替振 館桑扶 信電便郵 局科豊村高穂南

扶桑館の秋原蠶飼育上の設備は眞に海内無比也從て其蠶種は天下(この八)一品の良種也

理想的模範的 扶桑館早秋蠶種

▲扶桑館秋蠶種は何故に模範的理想的と稱せらるゝか

扶桑館の秋蠶種は理想的模範的の良種也。扶桑館の秋蠶種日本一強健の良種である從て飼手(買手)が日本一多いとは本館の自費自費でなくして一般蠶業界の公評定評である、これはなせであるか?

▲本館は敢て多くを云はず左の數言を擧げて之れに答へんのみ

本館は秋蠶の元祖本場地として天與天祐の最大最良なる土地にあり、殊に秋蠶種の製造は最も重きを置く所にして、育蠶上の設備資料たる蠶室蠶具桑園は敢て天地に俯仰して恥ぢざるを期し、技術は館長以下擔任者熱誠努力之れに當り、本館獨特なる小口競争責任飼育には白刃を振つて敵に臨むが如き精神にて浮勵しつゝあり、斯くの如き最良善なる設備方法はやがて最良善なる蠶種を生産するの所以なることを了知すべく、世間評判の高き亦故ある哉と叫ばん。

▲誰れがどこで飼育しても最上の豊作と最大の利益とを得らるゝ、扶桑館の早秋蠶種

強健無敵豊作確實 扶桑館早秋蠶種 至

斯くの如く最良の天與と人為最善の設備に依て製造せられた最良蠶種であるから、既に全國至る所に普及して何れも百育百中常に他の蠶種に比して數倍立勝つた良成績をあげて居る、されば一度本館秋蠶種を飼育すれば、之れ迄失敗者は唯作と成り、豊作は必ず大豊作と成り、未熟者は未熟者丈に、熟練家丈に最上の豊作と最大の利益とを得らるゝのであるから、苟くも失敗を希ふ者の外は必ず我が扶桑館秋蠶種を飼育せればならぬ。

急注の文は必ず電報にて せよ

扶桑館特選秋蠶實物寫眞



大和錦 (百十粒)

此種は従来の種類に改良を加へたる良種にして、蠶兒は性質強健活潑、其繭果は大にして能く揃ひ光澤優美鮮明亦宜しく、繭量豊富質頗る良種なり、蠶兒の飼育容易にして而して優良良好の繭を多收するには此種を以て第一とす

支那白龍 (百廿粒)

本館が創業以來特選せる白龍に支那種を掛合せ種類改良の爲製造せるものにして蠶性の強健なるは此種に及ぶものなく飼育容易眠起齊一にして繭質多肉繭量豊富製絲家の最も好んで高價に買入るゝ良種也本館は本館の發明にして日下當地に大流行す、雖然本館は發明者なる文年々改良して理想的良種たるを期す依て常に進歩せる理想種を得んと欲せば發明元たる本館へ注文するに限る

▲扶桑館は掃け必ず豊作良種を責任を以て供給す。扶桑館は直接 養蠶家 一枚二枚の少注文

製造期	代價	箱割	注意
特早口 (番號口) (發蛾産卵豫定)	第一號口 七月二十七日 前後	普通蠶種 (五分附) 壹枚 廿八蛾附一枚	注文御送金の詳細は第十三頁注文者御注意 御一覽を乞ふ
第二號口 七月二十七日 前後	普通蠶種 (五分附) 壹枚 廿八蛾附一枚	注文御送金の詳細は第十三頁注文者御注意 御一覽を乞ふ	
第三號口 七月二十七日 前後	普通蠶種 (五分附) 壹枚 廿八蛾附一枚		
第四號口 七月二十七日 前後	普通蠶種 (五分附) 壹枚 廿八蛾附一枚		
第五號口 八月三日 前後	特別蠶種 (廿八蛾付) 壹枚 廿八蛾附一枚		

郵便振替口座 東京 第七番 又 大阪 第六番 伊三六番 伊三八番

扶桑館

長南 野穂 南高 安村 郡豊 郵便局 電信科

晩秋蠶を掃くなら必ず本家本元扶桑館の晩秋蠶種を飼育することを忘るなれば (10)

強健無比

發明者自製本家晩秋蠶種

晩秋蠶發明と命名の榮譽

下の蠶業家各位の知つて居らるゝ如く扶桑館長齋藤兵次郎が發明し且命名したものである、此名譽と權威とは永久に本館の獨占する所であることも亦更に云ふまでもあるまい。

本家本元天下一品の晩秋蠶種

かくて之れを發見した計りではない之れを改良し、之れを普及する爲めには非常なる努力と奮闘とを以てした、從つて本館は晩秋蠶種の製造については日本中で一番古い歴史と又誇るべき技術と研究とを持つて居るから、此發明者自身が製造する晩秋蠶種は他製に比べて非常に勝れた強健無敵天下一品の良種である、されば晩秋蠶を飼育しようとする方、方は、何はさて置き本館の蠶種を飼育するに限るのである。

見よ!! 天下一品の晩秋蠶種

各種

大和錦 (一升二百粒) 此種は従来の種に大改良を加へたる良種にして其質は性質強健活潑而も繭果大に揃ひ光澤優美其好亦宜しく繭量多し蠶兒の飼育易くして優美其好の繭を得んと欲せば此種を以て第一とす

白龍 (一升二百粒) 扶桑館が種類改良の爲めに特に研究合せたるものにして蠶性の強健なること此種に及ぶものなく飼育容易なり且て繭質多し繭量豊富にして製絲の最も好んで最も高價に買入る、最良種也繭の容易なる點に於て成繭量多し繭質美なる點に於て秋蠶中第一等なり

製造期

番號	電略	發蛾産卵豫定
第一號口(チ一)	八月十二日頃	
第二號口(チ二)	八月十八日頃	
第三號口(チ三)	八月廿五日頃	
第四號口(チ四)	八月三十日頃	
第五號口(チ五)	九月八日頃	

價代

原種用	検査済	検査済	検査済
框製	平製	平製	平製
一廿八銀附	一五分附	一五分附	一五分附
七十錢	一圓二十錢	一圓二十錢	一圓二十錢
	一圓六十錢		

注文

送金順次により産附箱入にて安全に郵送す
代金は注文と同時に御拂込被下度候至念の注文は電報爲換にて送らるべし

割引

平製	框製
一割五分引	一割五分引
一割五分引	一割五分引
一割五分引	一割五分引
一割五分引	一割五分引

學術と實地 養蠶 教師派遣



善長なる蠶種と適應なる飼育とは最も車の兩輪の如く鳥の雙翼の如く二つながら揃つて初めて能く豐作することが出るのでありまが依つて本館は善長なる蠶種を供給すると共に適應なる飼育を授けんとすため最も學理に明るい實地に達する教授員を置き巡回教師講習所講師として其招聘に應じます其俸給は全国各地に養蠶を普及するため農家の副業として何人にも招聘し得らるゝ様極め其方法に就ても一戸教授巡回教授員派遣等何れにても便利に御相談致す

●給料は春蠶にありては三四十圓以上とし外に澁中中の賄費并に往復旅費の實費を申受くべし●一月(近頃は三四月迄よし十枚以上の掃立にて招聘する時は給料は收購額の一割五分とす●教授員は地勢により二三十月を受持巡回するを以て共同して招聘すれば一枚掃立でも收購二三升を給料分とせば十分なるべし共同招聘の利便に如斯大なり●詳細は返信料を添へ照會次第即答す

扶桑館

注意 其派遣を望むときは傳習所講習會又は養蠶家共同等其組織及養蠶上の設備を詳細報告し請求せらるべし教授員の資格俸給其他の詳細は照會次第御回答すべし

卒業生の短期最速に成實を力養成し功成を欲せしめ本所に學業の成績は頗る良好なり本年も招聘甲多達學に

私立 長野縣南安曇郡穂高村 可認

安曇夏秋蚕講習所

- △**特色** 短期速成、實力養成、學理實地調和 學費不要、卒業生就職の便あり
- △**入學** 六月より九月まで何時にても入學を許す志願者は年令十八歳以上入學を許す志願者と尋常小學卒業以上の學力あるものなるべし
- △**優待** 在學中食泊の便宜を與へ、退學の際修得の課目書を交付し教授員に任命派遣せらるべし
- △**實習** 桑樹栽培、蠶具製造、顯微鏡使用、分析蠶體解剖、蠶病處理、蠶繭審査、生絲審査、蠶繭製造、秋蠶飼育、夏蠶飼育(傍簡易なる學理を授け)
- △**定員** 五十人
- △**手續** 本所に入學せんとするものは期限に後れざる様志願書を差出すべし最も満員なる時は到着順次許可の都合なるを以てなるべく早く入學を出願するを可とす
- △**賞與** 勤勉操行に依り相當の賞金を與ふ
- △**規則** 郵券貳錢封入申込めば詳細規則を送る
- △**志願** 申込次第志願者の履歴を考査し直に許否を通報すべし

實習生は六月より九月迄學期間入學希望者の便利を謀り何時にても隨時入學を許す學費は旅費丈けあれば外に費用を要せず

養蠶の豐凶は一は技術に在り本館の熟達を以て技術の熟達を養蠶の師を招聘し其技術を磨練せしめ年々豐作の計を練る

長野縣南安曇郡穂高村 扶桑館 電話 〇三六八 電報 〇三六八 郵便 〇三六八 信局 〇三六八

本日 蠶業俱樂部

定價 一部四錢五厘、一ヶ年分十二冊前金割引
金五拾錢、一ヶ年以下更に割引なし

本誌は日本蠶業俱樂部の機關として發刊するものにして、最廉價平易の通俗蠶業雜誌として實益と趣味の豊富多なること他に其比を

見ざる如く、本誌の如く記事平易にして多方面多趣味なる蠶業雜誌ありや、本誌の如く何人にも分り易く何人にも面白き蠶業雜誌他を比し、加ふるに讀者は日本蠶業俱樂部員として種々の優待と特典とを受く

詳細發行所

蠶業俱樂部規則及雜誌見本は往復葉書(必ず復片付)にて御申込次第進呈す
東京下谷仲徒町三丁目三十九番

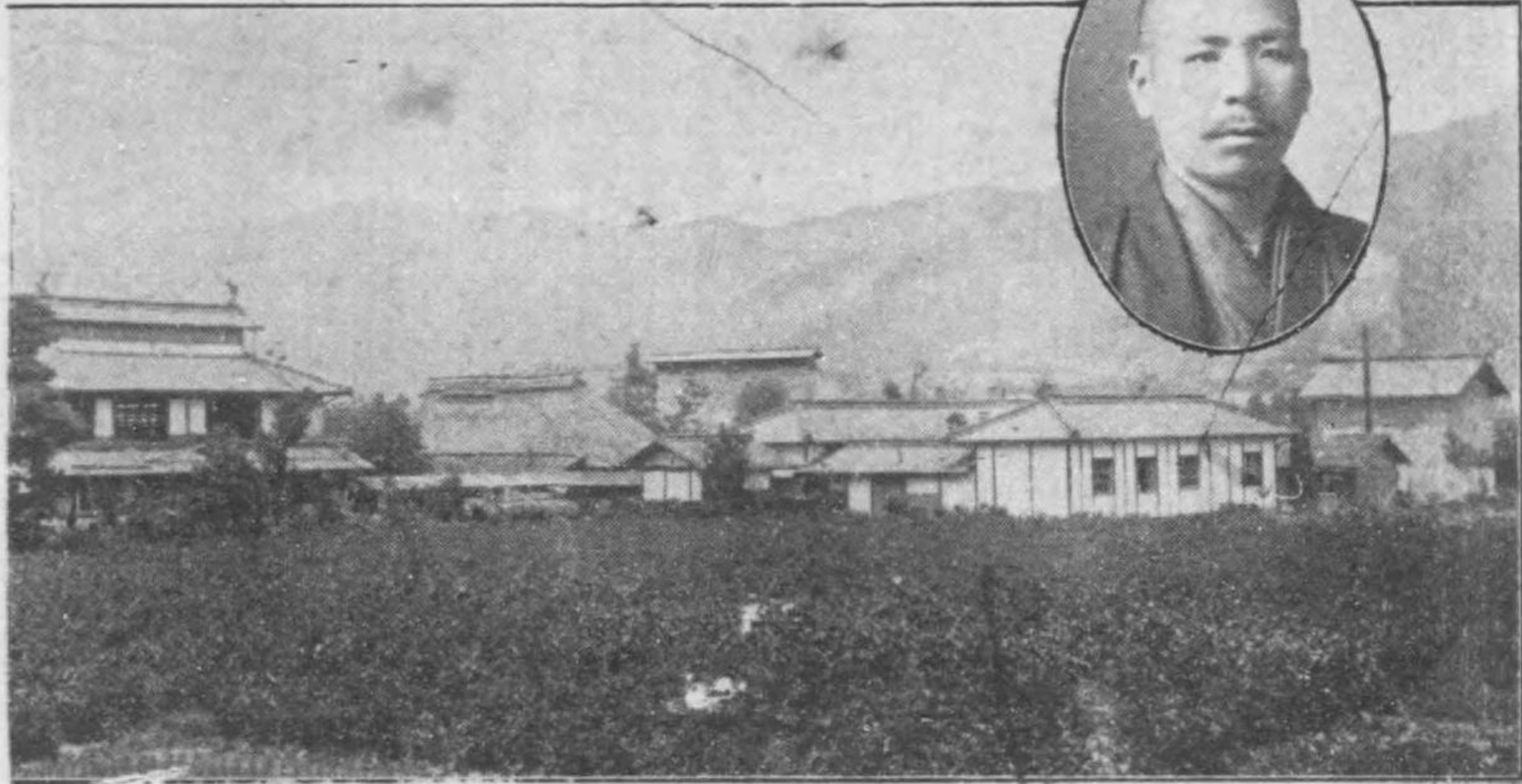
代理部御利用あれ

扶桑社は特に代理部を設置し愛讀者並に扶桑館々友諸君に獻身的に利便紹介の方法を取る。在地方各位は此好機關を利用せられよ。

右は製造發賣元につき調査の上精良品を廉價にて紹介。入用者は往復ハガキにて照會あれ即刻回答す。
▲蠶業書籍一式
▲蠶具農具類一式
▲種子苗木類
▲一式▲日用雜貨類一式

扶桑館側面風景及長齋藤兵次郎氏

扶桑館の側面風景は、但し本年の新設専用室は、傳染病防、但し長館は右てしに景全面側の館桑扶、く缺に並て以なるあに地の餘町一る去を館本め爲の過



長館者任責の館本と景概の館本に並つ先也條玉料金の館本はぶ貴を任責と用信も最す介紹を像肖の

の君諸友館し立設が館桑扶
るす養教を弟子
所習講蠶秋夏晏安



(健康なる蠶業家は此處に於て養成せらる)

るあ係關るな接密と君諸友館
景實室務事館桑扶



(郵書に於ては種々の發送は)

實用夏秋蠶教科書

菊三判紙數
定價七拾餘錢
送料六十錢

安藤夏秋講習所長 齋藤兵次郎先生著

(五版) ▲五冊以上大割引 委細乞照會

- 第一章 蠶素汎論 ▲日本の位置と富の必要 ▲蠶の起源 ▲蠶の用途 ▲蠶の飼育 ▲蠶の飼料 ▲蠶の飼育法 ▲蠶の飼育の注意 ▲蠶の飼育の成績 ▲蠶の飼育の改良 ▲蠶の飼育の展望
- 第二章 夏秋蠶論 ▲夏秋蠶の飼育 ▲夏秋蠶の飼料 ▲夏秋蠶の飼育法 ▲夏秋蠶の飼育の注意 ▲夏秋蠶の飼育の成績 ▲夏秋蠶の飼育の改良 ▲夏秋蠶の飼育の展望
- 第三章 桑樹栽培論 ▲桑樹の栽培 ▲桑樹の飼料 ▲桑樹の飼育法 ▲桑樹の飼育の注意 ▲桑樹の飼育の成績 ▲桑樹の飼育の改良 ▲桑樹の飼育の展望
- 第四章 蠶體解剖論 ▲蠶體の解剖 ▲蠶體の飼料 ▲蠶體の飼育法 ▲蠶體の飼育の注意 ▲蠶體の飼育の成績 ▲蠶體の飼育の改良 ▲蠶體の飼育の展望
- 第五章 蠶體生理論 ▲蠶體の生理 ▲蠶體の飼料 ▲蠶體の飼育法 ▲蠶體の飼育の注意 ▲蠶體の飼育の成績 ▲蠶體の飼育の改良 ▲蠶體の飼育の展望
- 第六章 蠶體病理論 ▲蠶體の病理 ▲蠶體の飼料 ▲蠶體の飼育法 ▲蠶體の飼育の注意 ▲蠶體の飼育の成績 ▲蠶體の飼育の改良 ▲蠶體の飼育の展望
- 第七章 夏秋蠶飼育法 ▲蠶の飼育 ▲蠶の飼料 ▲蠶の飼育法 ▲蠶の飼育の注意 ▲蠶の飼育の成績 ▲蠶の飼育の改良 ▲蠶の飼育の展望
- 第八章 蠶素審査法 ▲蠶素の審査 ▲蠶素の飼料 ▲蠶素の飼育法 ▲蠶素の飼育の注意 ▲蠶素の飼育の成績 ▲蠶素の飼育の改良 ▲蠶素の飼育の展望
- 第九章 顯微鏡使用法 ▲顯微鏡の使用 ▲顯微鏡の飼料 ▲顯微鏡の飼育法 ▲顯微鏡の飼育の注意 ▲顯微鏡の飼育の成績 ▲顯微鏡の飼育の改良 ▲顯微鏡の飼育の展望

發行所 東京下谷仲徒町三丁目三十九番 扶桑社

最新刊 經濟養蚕全芽育及條桑育法

全一冊 送料共 金二十錢

本書は扶桑特別號として、發刊された者にして、現時養蚕界の大問題たる蠶業經濟を解決せんがため、誰れにも分り易き機亦直に實行し得る、價格低廉なる養蚕法を詳細に解説せしむる者也、内容の豊富確實にして、價格低廉なる養蚕法を詳細に見るべし、好者速に購取せしむるべし。



新盛組製絲所
登 錄 商 標
(馬群縣沼町)



淺香龜吉氏
絲 所 主 製
(群馬縣野郡神川村)

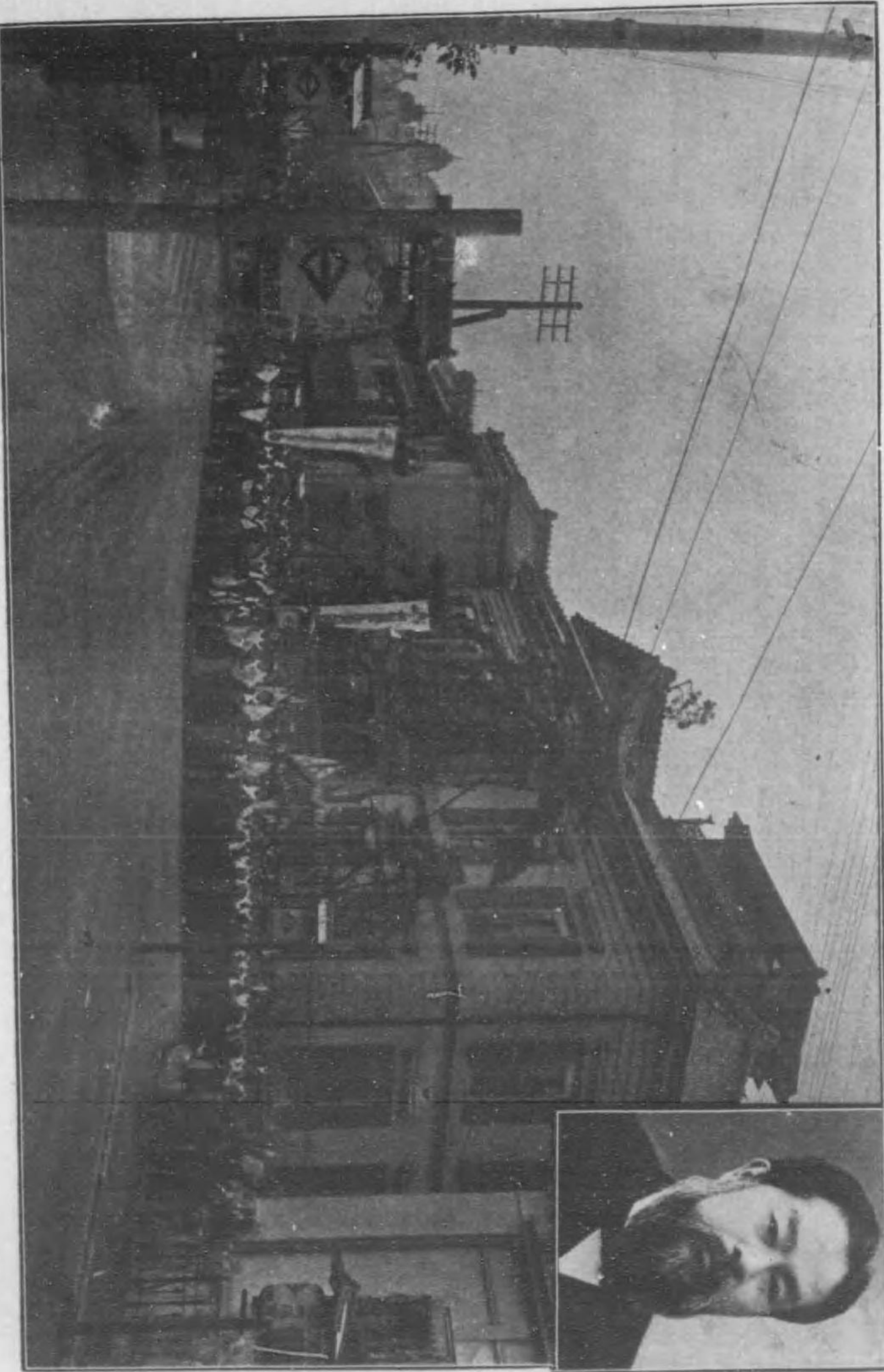


遠山製絲所
登 錄 商 標
(群馬縣前橋市)



大正館製絲所
登 錄 商 標
(群馬縣前橋市)

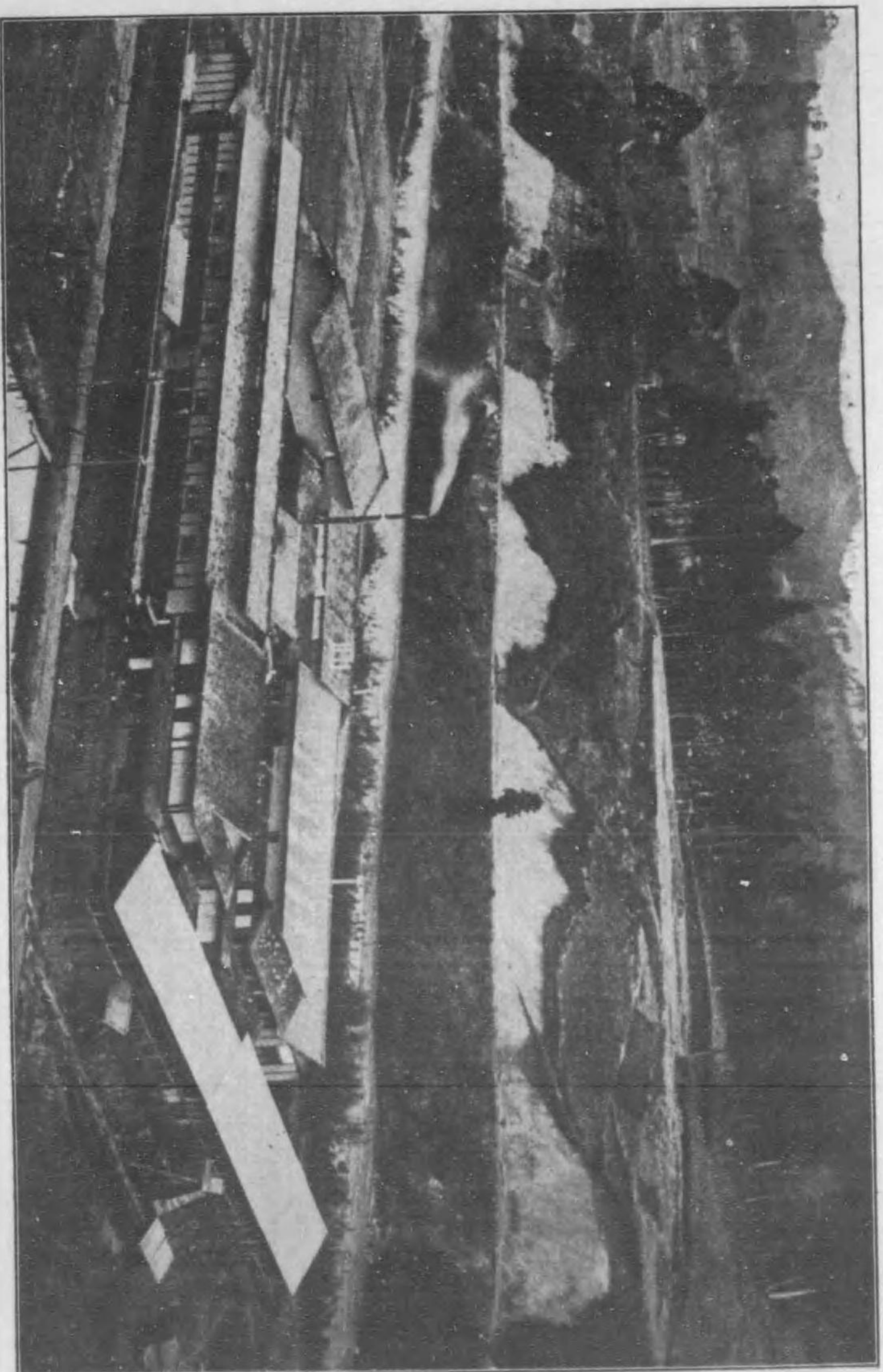
[Faint, illegible text on the right page, possibly bleed-through or ghosting from the reverse side.]



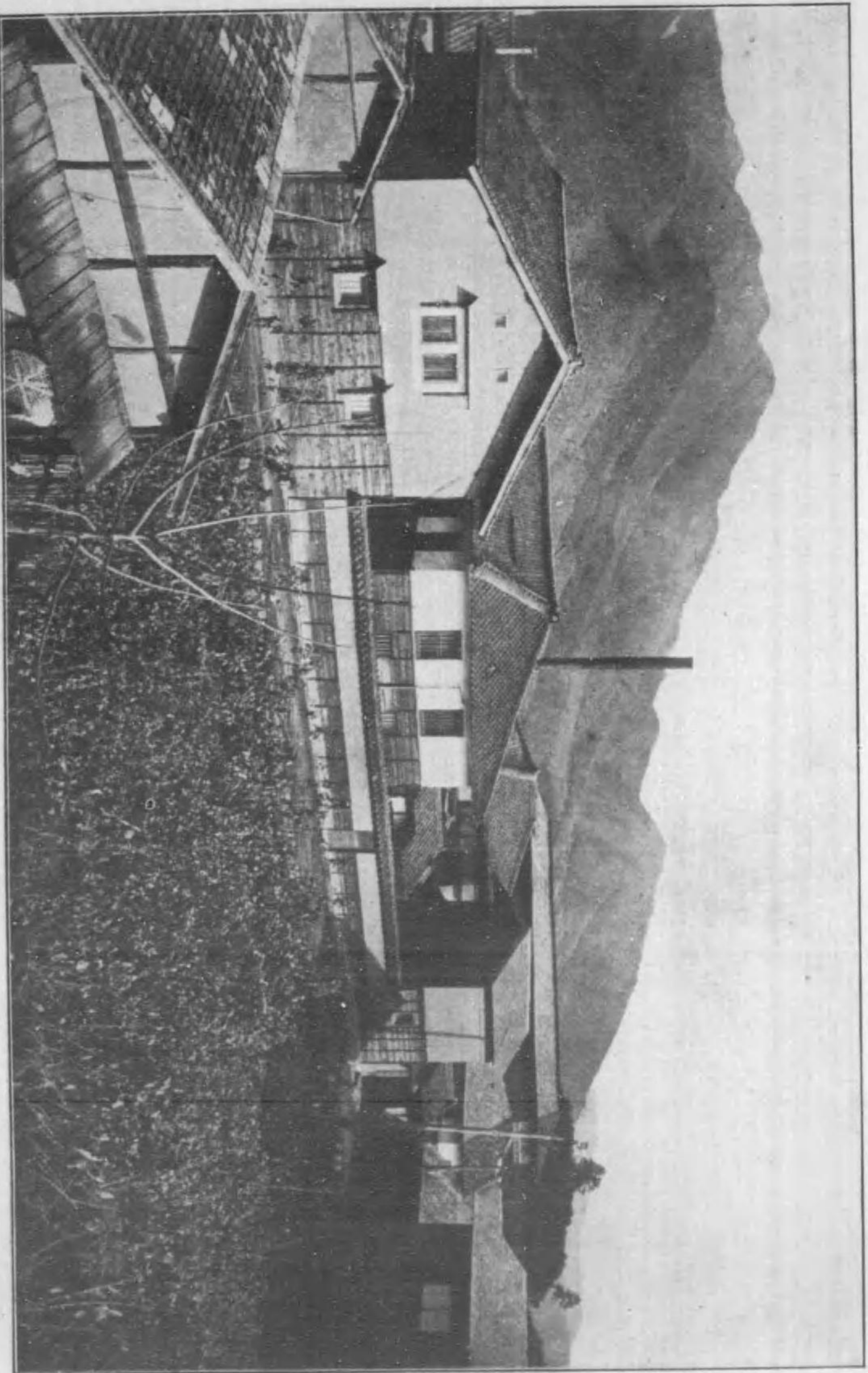
氏道幾尾若主店

店商尾若商易貿絲生
(目丁四町本市濱横)

櫻井製絲資合會(出郡三國)

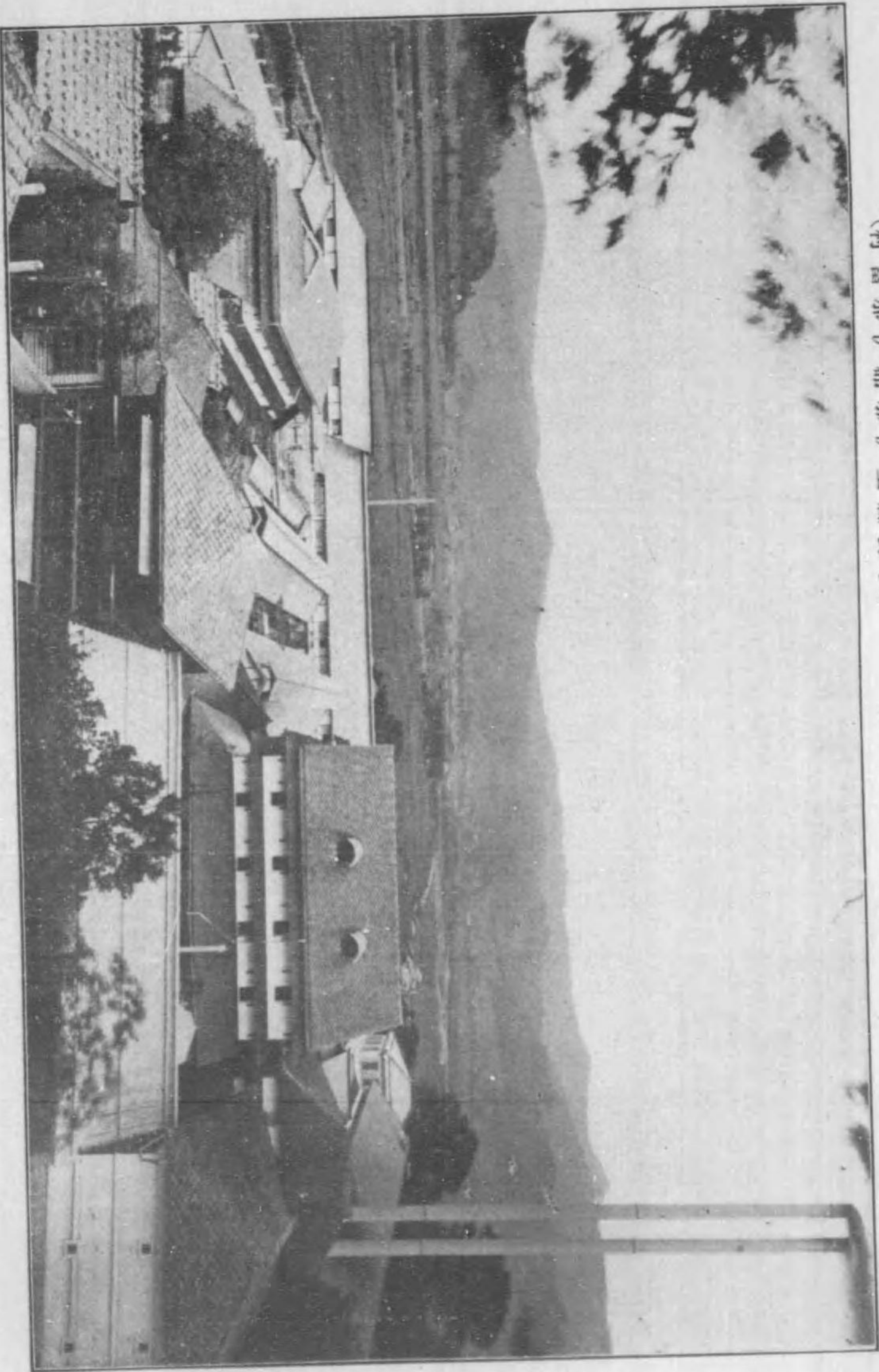


鎌田製絲株式會社 (群馬縣康平郡八戸村)



(村富那伊郡那伊上縣野長)

武井製絲場



▲ 有限責任信用販賣組合 ▼

長 館
氏門衛左久山小



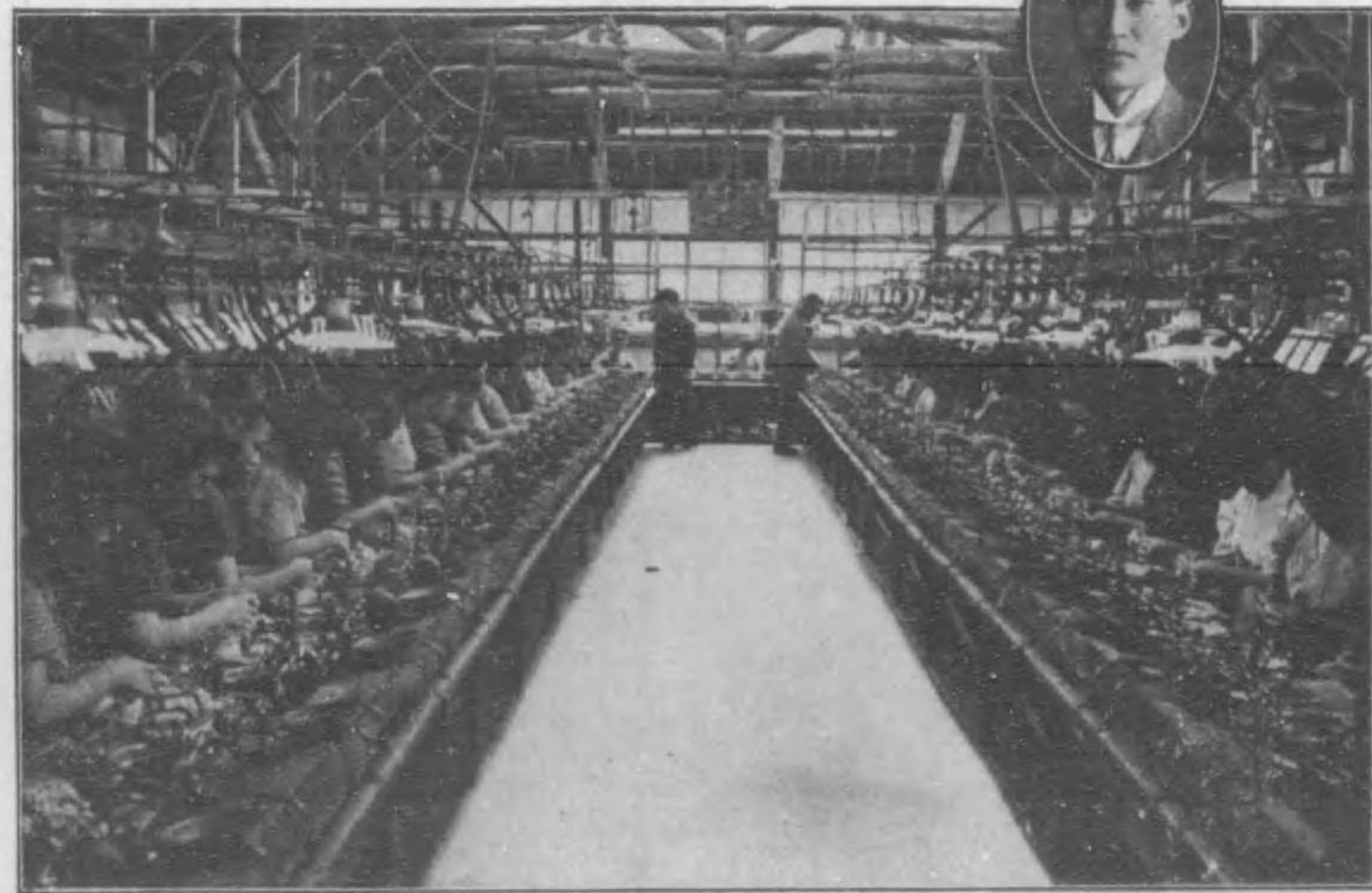
館 水 純

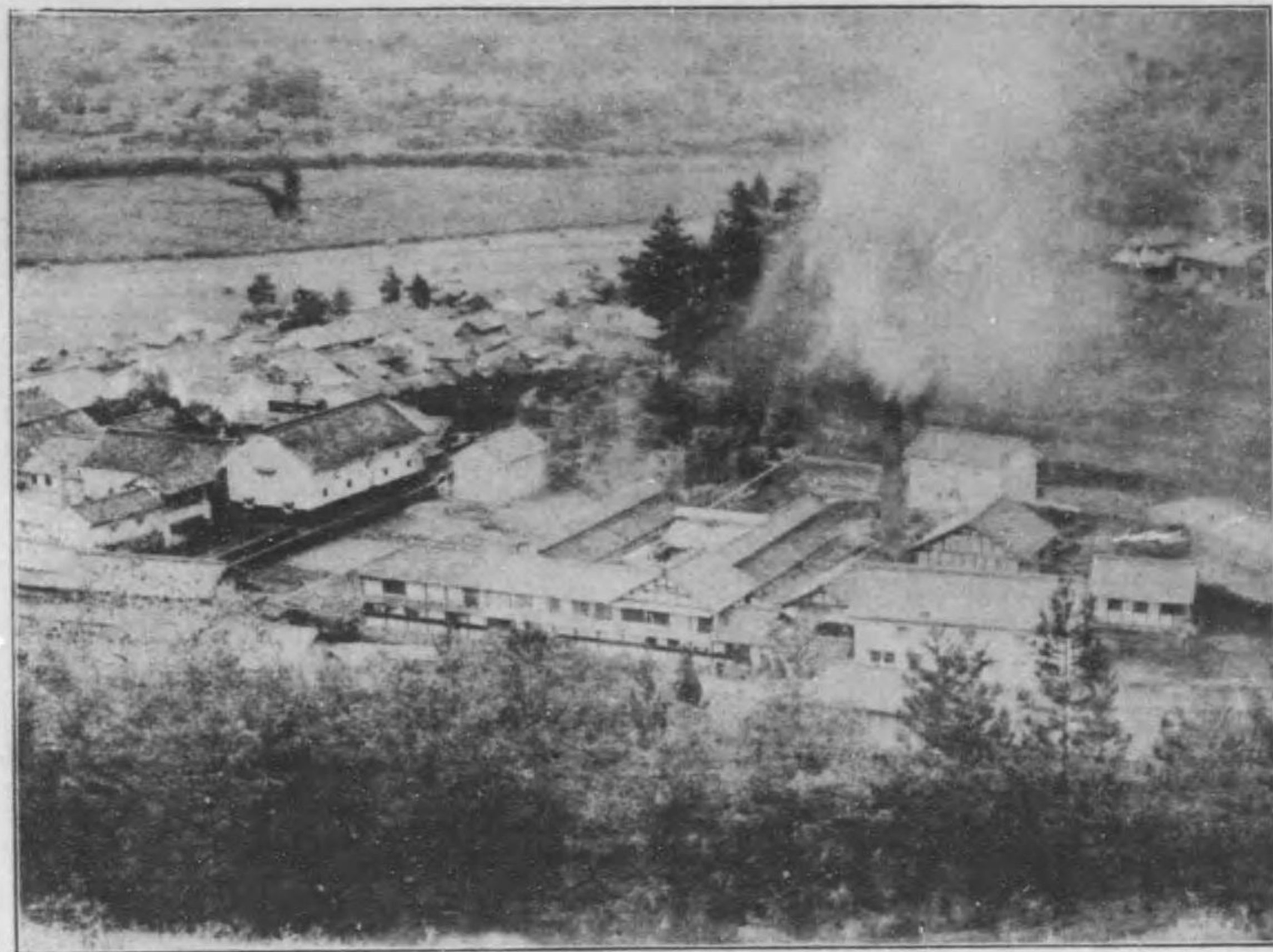
▲ 長野縣北佐久郡小諸町 ▼

(縣 市 新 高) 社 會 式 株 絲 製 田 高

氏 郎 太 己 田 山 長 社

景 內 場 糸 練





本社は明治三十九年の創立にして業務執行社員は(社長)上田謙吉、
上田誠一郎、新家久太郎(常務)西山官彌の四氏なり

(川瀧郡多喜國豫伊地在所) 白瀧製絲合資會社
(地番一四七甲屋加字大村)



氏一源崎矢

(村明永郡訪諏縣野長)
(主館美)



翁也達田八

(市府甲縣梨山)
(主館達八)

本日第一 博榮館桑苗造場



全各 國二 良本 桑宛 十四 種圓

諸官廳學校
試驗場農會
各國政府

埼玉縣兒玉郡丹莊村
御用達博榮館大島和輔

電信略號(ヲハタ)

博榮館は創立二十七年、改良桑苗製造の素に於て、全國に直輸出し、信用最も厚く且大なり

(ほのり)



ハ次早
ガ第申
キす申
でく申
申送込
越るめ

博榮館は我國に於て最完全なる最宏大なる規模を以て實用向とし、品質優良種類精確なる良桑を最大多量に供給す。裁桑要覽(桑苗のことは何んでも分る本) 版七十三

全農具展覽會銅牌受領

受領 於各博覽會 金銀銅牌 三及十餘個 領受 大日本 本會 第八回 出品 評會 銀盃



兩器共 同ホ一ス六尺附 金九八圓 送料三十二錢



特許及新案 實用強力噴霧器

主として農病に其 他諸般の消毒に便 なり

河村式噴霧器 堅牢 輕便 價廉 佳良 公評 誠知 各處 如何に構造 大方 誠知 各處 成蹟 十餘種 模製 濫造 見ざる 更に 進んで 各府 縣 歴訪 斯業 大家 意見 叩き 自來 幾多 其 弊を 除く 又 大家 改良 加ふ 就中 噴霧 口は 其 用途 隨噴 霧状態 強弱 増減 自在 なる 實 驗 等に 妙を 施し 殆ど 完全 無缺 の譽を 實現 する に至り 是れ 眞に 消毒 器中の 白眉 と云ふ も 敢て 過言 非ず 希くは 弊場の 微衷を 諒し 倍舊の 御愛 顧を 賜はらん 事を

河村式噴霧器 堅牢 輕便 價廉 佳良 公評 誠知 各處 如何に構造 大方 誠知 各處 成蹟 十餘種 模製 濫造 見ざる 更に 進んで 各府 縣 歴訪 斯業 大家 意見 叩き 自來 幾多 其 弊を 除く 又 大家 改良 加ふ 就中 噴霧 口は 其 用途 隨噴 霧状態 強弱 増減 自在 なる 實 驗 等に 妙を 施し 殆ど 完全 無缺 の譽を 實現 する に至り 是れ 眞に 消毒 器中の 白眉 と云ふ も 敢て 過言 非ず 希くは 弊場の 微衷を 諒し 倍舊の 御愛 顧を 賜はらん 事を

特許及新案 大形噴霧器 (ホ一ス) 金十五圓 連續用ホ一ス (接續金具) 金十二圓 全完自働噴霧器 附屬品共 金五圓

各種噴霧器明細書 御申越次第 直に進呈す 備後國福山新町裏通 河村工場

養蠶製絲用機器 園藝農具類一式 其他諸機械製作 振替貯金 東京第六五〇〇番 (電話八四番) 大阪第四三五七番 (發電略號カワエ) 金口座

農蠶の技折 本場製品目錄御入用の御方 是郵券二錢封入乞御申越

(はの五)



商標

登錄

見本及施用法御 照會次第進呈ス

日本化學工業株式會社 電話本所園一、一〇八番一、一〇九番 電信略號(カコ)又(カ) 振替貯金口座東京一七四七四番

東京府下龜井戸町千番地

特許製造 硫酸加里肥料

弊社製造ノ硫酸加里ハ品質純良價格低廉ナリ且ツ施肥配合上ノ便利ヲ謀リ加里 含量十%ヨリ五十%ニ至ル九種ニ區別製造販賣セルハ他ニ比類ナキ特色ニシテ 夙ニ各肥料會社等ニ賞用セラル

取締役工學士棚橋寅五郎氏發明

種類	第一號	第二號	第三號	第四號	第五號	第六號	第七號
第一號	硫酸加里	同	同	同	同	同	同
第二號	三%	三%	三%	三%	三%	三%	三%
第三號	四%	四%	四%	四%	四%	四%	四%
第四號	五%	五%	五%	五%	五%	五%	五%
第五號	十%	十%	十%	十%	十%	十%	十%
第六號	二十%	二十%	二十%	二十%	二十%	二十%	二十%
第七號	二十五%	二十五%	二十五%	二十五%	二十五%	二十五%	二十五%

◆加里肥料 ◆加里肥料

(注の四)

弊店は東洋最古の種苗農具店なり

種子苗木農具問屋



藤屋號 谷本清兵衛商店

東京下谷南稻荷町九番地

電話下谷五九二番
振替東京七六五番

弊店の營業案内は御申越の御方へ進呈す

創業元祿十五年

第十一代目店主

博覽會共進會品評會ニ於ケル受賞廿七回

桑苗

正司 改良早生
桑司 十字字

栽培元

以上三種は弊館獨特栽培なる中生種にして何れも春夏秋蠶兼用桑として最も優良種なり農商務省文部省諸官衙に於ける御高評噴々たり

其他

早生 市平、砂川早生
中生 御所選、九紋龍、鶴田、魯桑、荆桑、金芭蕉、銀芭蕉
晚生 丸葉十字字

東京府北多摩郡砂川村

農商務省 蠶業講習所 蠶種製造所 高等農林學校 原蠶種製造所 達

御用 司桑館吉澤正司

電信路號(ヨシ) 振替貯金口座東京三三〇一四番

農商務省東京京都蠶業講習所御用達

●農商務省東京蠶業講習所有効證明
 ●農商務省京都蠶業講習所有効證明
 ●大日本蠶絲會新潟支會品評會三等賞
 ●大日本蠶絲會山形支會品評會四等賞
 ●大日本蠶絲會鳥取支會品評會四等賞
 ●大日本蠶絲會島根支會品評會四等賞
 ●名古屋勸業大博覽會三等賞

受領

特許
 有權
志智式兩曲製自働連接蛾框

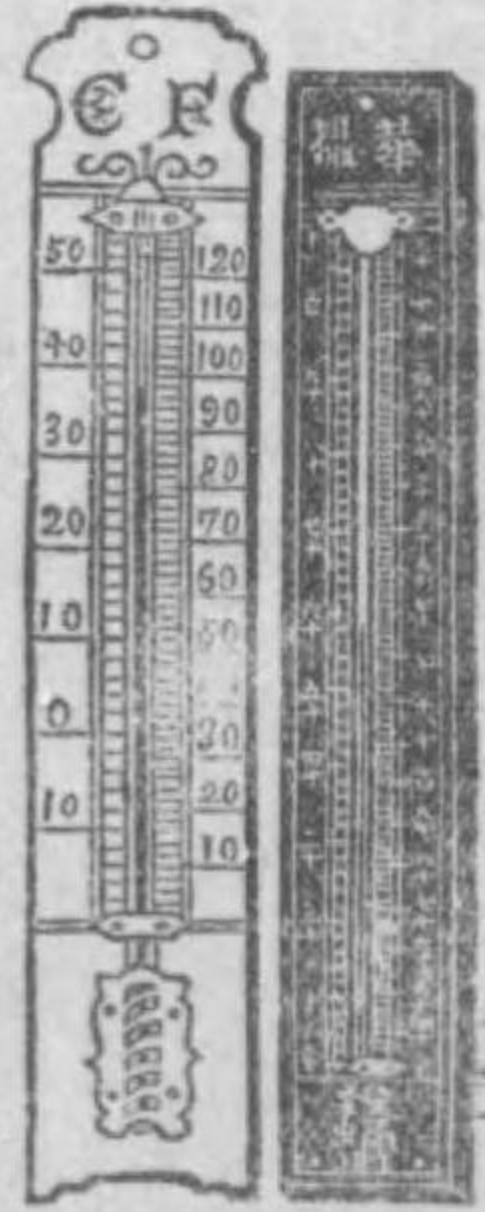


●本器は頗る合理的にして最も實用に
 適し蛾框中の巨擘として特許を得た
 る物なり
 ●本器は右蠶業講習所證明書の通品質
 優良構造堅固なる事
 ●本器は二十八個の蛾輪高低自在なる
 を以て如何に臺紙が凸凹なる處にて
 使用するも右證明書の通其臺紙に能
 めて密接して容易に移動せず卵面が極
 めて優良なる事
 ●本器は全部金屬なるを以て永久の使
 用に適し全く實用に堪へ他品より比
 較的安價なる事

新案特許兩曲
 定價
 志智式兩曲製力型五分高 百枚に付 金拾四圓
 同シガミ矧力型五分高 同 金拾五圓
 注意
 ○寸法及品質の儀は御注文通如何様共御調製可仕候同御注文
 の節必ず貴家御使用の印刷蠶紙御送り被下度然る上は其蠶
 紙に適合致機入念の上にて調製紙御送り被下度然る上は其蠶
 紙に見本品御入用の方は小包料共郵券にて金二十五錢御送附あ

朝鮮臺灣總督府各農蠶學校御用達

●一號オーカスト式檢定附 大形一個 金一二圓
 ●二號同 中形一個 金一圓五十錢
 ●三號乾濕計 檢定附白塗 一個 金一圓廿錢
 ●四號乾濕計 檢定附黃塗 一個 金一圓
 ●殺蝨計拍管 一個 金五十錢
 ●舶來形寒暖計 一個 金五十錢
 ●名古屋市中區廣小路柳町二丁目三番地
 ●大日本蠶絲會々々員



志智商店蠶業部

大阪振替口座一三九八番
 東京振替東京二五二一三番
 電信略號(シチ)又ハ(シ)

一枚萬百壹額產製年ケ一框蛾

す呈進代無れあ會照御は方の用入御録解圖品業營の店弊

褒賞證

- 農商務省京都蠶業講習所有效證明
- 名古屋勸業大博覽會三等賞
- 大日本蠶絲會新潟支會品評會三等賞
- 大日本蠶絲會山形支會品評會四等賞
- 大日本蠶絲會鳥取支會品評會四等賞
- 大日本蠶絲會岐阜支會品評會四等賞



蠶業部主任



陳列所ノ一部



志智式重々蛾枠製造工場ノ一部



志智式寒暖計製造工場ノ一部

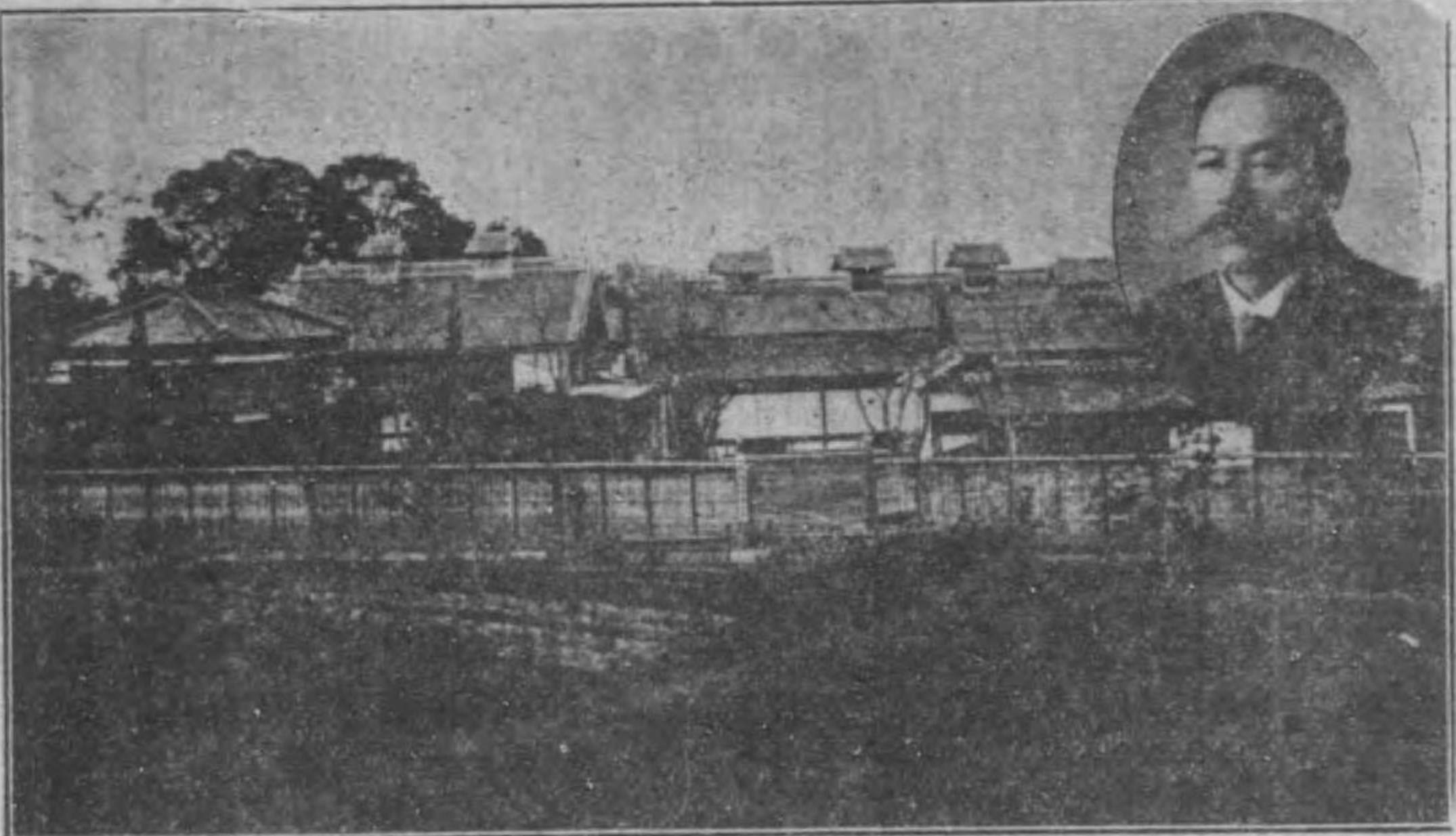
名古屋市中區日智志商店蠶業部 振替口座東京二五二一三番 電話略號(シチ)又ハ(シ)

埼玉縣兒玉郡七本木村字四ツ谷田端愛蠶館傳習所

發電話號(アカ)又ハ(カ)

埼玉縣神保原郵便局、電信ハ仲仙道神保原驛(特約アリ)

蠶種代價ハ申込次第定價表ヲ送ル



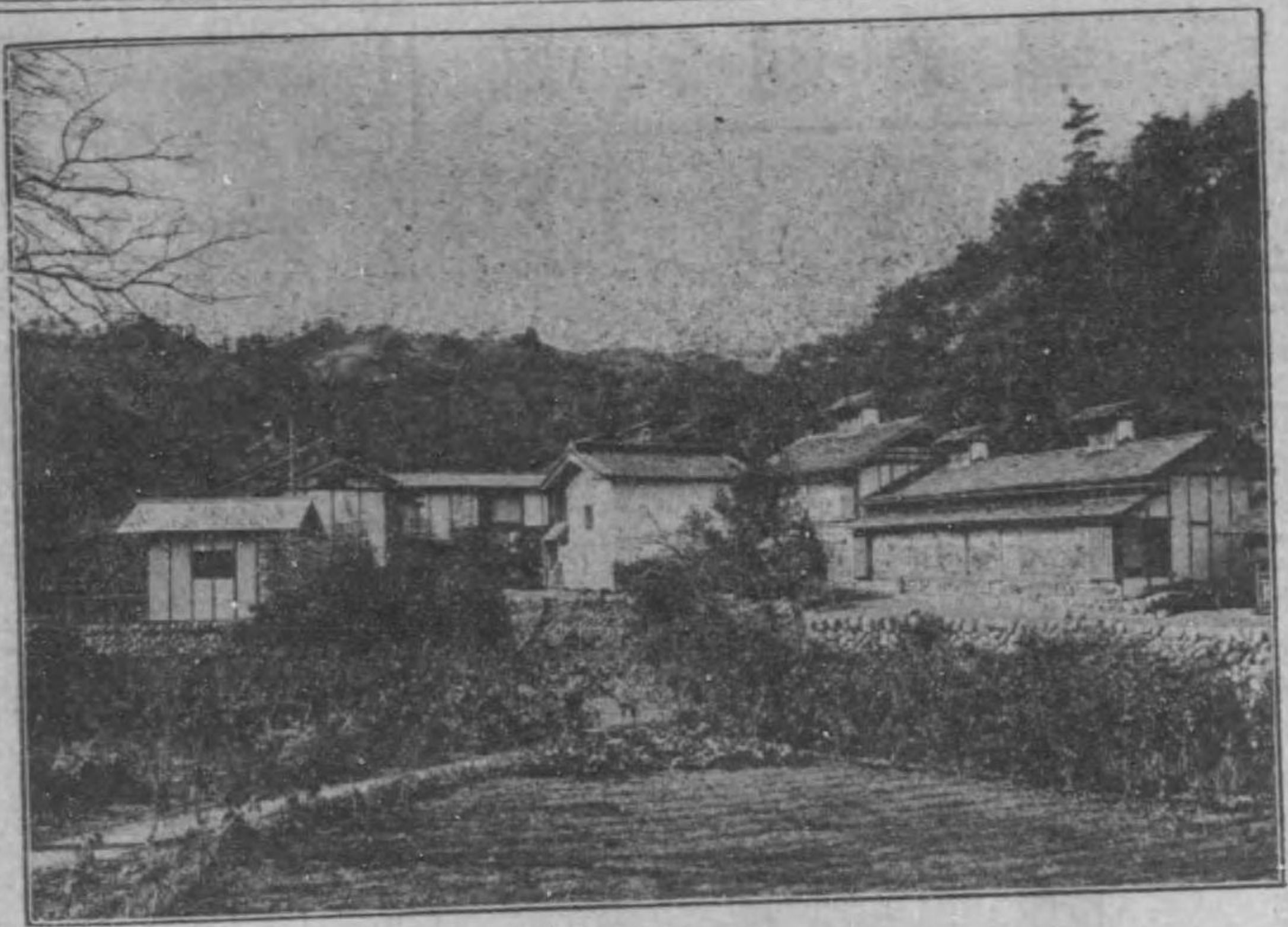
大巢 兒玉錦
田端又昔 大又
賞 日英博覽會聯合共進會大日本蠶絲會及同支會品評會其他府縣郡町村主催又ハ私設共進會品評會等ニテ優等賞二點一等賞二點二點二點等賞三十一點三點以下百有三點受領明治四十五年埼玉縣地方種繭審査會ニテ△一號又△二號又合格セリ

賜 閑院宮妃殿下獻納御嘉納の榮
賜 皇太子殿下獻納御嘉納の榮
賜 宮内省御買上の榮

賜 天皇陛下

獻納御嘉納の榮

田端又昔及大又種ハ所長多年ノ苦心熱誠トニ依リ選出セシ種類ニシテ上記ノ光榮アル以謂ナリ
特ニ本所ハ傳習生ヲ養生シ卒業生ヲシテ實地教授員トシテ各地に派遣セシム
傳習生希望者ハ郵券貳錢送ル時ハ規定書ヲ送ル



強健性 優良蠶種提供 (委細は御照會を乞)

●地勢 上武線樋口、本野上兩驛の中間に介在せる地城通稱辻山と唱ふる場所位置高燥通風佳良土地肥へ桑豊かにして蠶祖の憂なく霜害の及ぼすなく製種好適の地として殆んど全國無比の稱あり

●飼育 折衷育にして平均温度六十七八度飼育日數三十七八日常に蠶室内の密閉を避け大氣の清爽を尊び一に以て蠶兒の本性に適せんことを期す

●春蠶種原蠶種合格白玉 同功繭僅少絲量豐富一升二百三十五顆

●又昔 系統正しく繭形能く整ひ總てに缺熟繭形長き方光澤優美青熟種一升二百三十顆

●卵形又昔 繭れ目なき楕圓繭にして解舒殊に宜緒絲渺なく優等絲の原料に適し理想的最新の良種類なり一升約二百三十五顆

●秋蠶種(風穴) 繭形長く有りて齊一升二百三十顆

●秩父錦 壹升二百二十顆

●白龍 繭形長く有りて齊一升二百三十顆

埼玉縣秩父郡樋口村大字野上下郷
蠶種業専門 新井定三郎
振替貯金口座東京九六一番

實用新案特許第貳七〇〇壹號

壹番形 金拾貳圓
 貳番形 金拾圓
 參番形 金八圓

花輪式刻桑器

今回發明した花輪式刻桑器は、従来の如く、桑葉を切ると、桑葉の間に於て、自由にか、先きに於て、桑葉を切ると、桑葉の間に於て、自由にか、横切りに於て、桑葉を切ると、桑葉の間に於て、自由にか、で、桑葉の間に於て、桑葉を切ると、桑葉の間に於て、自由にか、所、桑葉の間に於て、桑葉を切ると、桑葉の間に於て、自由にか、内、桑葉の間に於て、桑葉を切ると、桑葉の間に於て、自由にか、板、桑葉の間に於て、桑葉を切ると、桑葉の間に於て、自由にか、から、桑葉の間に於て、桑葉を切ると、桑葉の間に於て、自由にか、割、桑葉の間に於て、桑葉を切ると、桑葉の間に於て、自由にか、至、桑葉の間に於て、桑葉を切ると、桑葉の間に於て、自由にか、合、桑葉の間に於て、桑葉を切ると、桑葉の間に於て、自由にか、極、桑葉の間に於て、桑葉を切ると、桑葉の間に於て、自由にか、廉、桑葉の間に於て、桑葉を切ると、桑葉の間に於て、自由にか、便、桑葉の間に於て、桑葉を切ると、桑葉の間に於て、自由にか、利、桑葉の間に於て、桑葉を切ると、桑葉の間に於て、自由にか、定、桑葉の間に於て、桑葉を切ると、桑葉の間に於て、自由にか、價、桑葉の間に於て、桑葉を切ると、桑葉の間に於て、自由にか、も、桑葉の間に於て、桑葉を切ると、桑葉の間に於て、自由にか、



製造元 花輪軍治

埼玉縣大里郡寄居町
 宇末野四百三十五番地

營業案内

商品目録

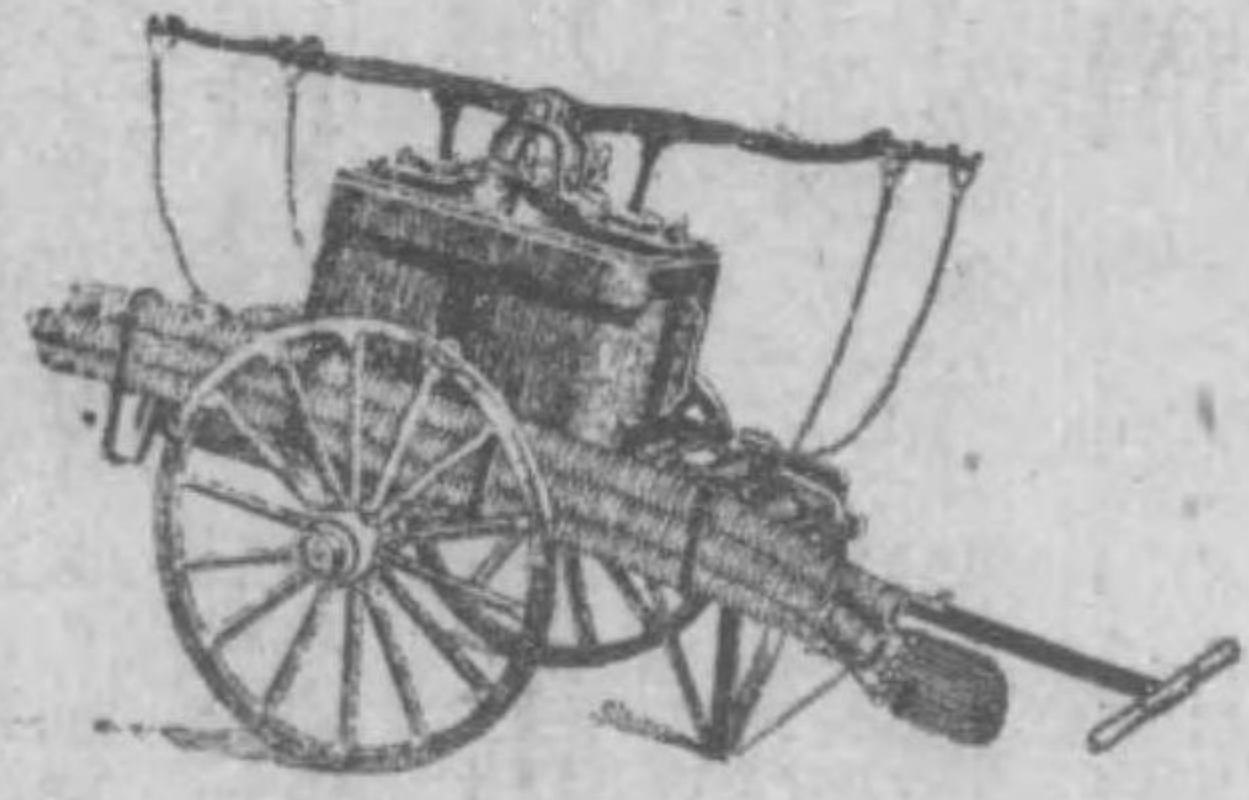
唧筒 金庫 消火器 刺子類 自轉車 半鐘

其他石油及び瓦斯
 發動器用(ハンドポンプ)
 井戸掛用唧筒手挽
 (ツーク)水管巻車
 右の外消防用器具一式
 御注文次第營業案内送
 呈す

埼玉縣大里郡深谷町

諸器械製造元 高橋清作

電話(六八番)
 電略(夕八カ)



(この四)

換氣式春蠶種貯藏庫



日本蠶種貯藏株式會社營業案内

創立明治二十四年二月 營業開始明治二十五年九月
 明治二十五年一月發明特許權を得第壹千四百八拾壹號
 明治三十九年八月利用發明特許權第壹萬八百八拾壹號
 明治二十四年三月於東京蠶業講習所に貯藏庫設備完全にして春蠶
 種貯藏に適する檢定書を下附せられたり

本社創立前競進社社長木村九藏氏官命を奉して歐洲に航し伊佛の
 蠶絲業を視察し歸朝の後本邦蠶種貯藏法の不完全なるを覺り元埼玉
 縣知事吉田清英氏其他有志の贊助を得て其設計を工學博士辰野金
 吾氏に商議し本邦氣候風土と蠶卵の生理とに鑑み當所に貯藏庫を設
 立す

△創業當初にありては僅かに本縣及群馬縣下に於て少數のものに止
 りしが設備完全と取扱懇切と保護上缺點なきこと蠶種業者の知る處
 となり今や其數四萬枚以上算するに至る

蠶種受託規定

毎年九月一日より十二月冬至迄となし保護室に保管し夫れより貯藏
 庫に入れ翌年四月より還附するものにして出庫日を左の通りに分つ

第一 四月十日 第二 四月十五日 第三 四月二十日

但し特別出庫は三月上旬より四月五日迄とす

△收容定數に達する時は期限内と雖も拒絶すること有るべし

埼玉縣兒玉郡本庄町

日本蠶種貯藏株式會社

(この五)

蠶學智識の寶庫

高等植物專門培養所
球根塊根植物直輸入業

豊多摩植物園

東京府下淀橋町柏木
振替東京四八八貳番
植物案内無料進呈ス

上州鬼石町 大和屋號電路「キシト」又「ハキ」

岸和田本店

養蠶具和洋
太物米穀類
炭製茶荒物

同町 岸和田出張所
電話十番

埼玉縣秩父郡大宮町

岡幸八商店

電話略號(ラカ)
電話三十三番

生絲荷造用品一式

新古ドンタク袋
木棉袋、紙繭袋
生絲通袋、油紙
生絲古箱、澁紙
文庫紙、他一式
總テ製造廉價販賣

横濱市港町二丁目十番地

谷川屋支店

支配人 手塚萬作

電話長千〇五十五番
東京一二七九九番

▲蠶業研究唯一機關、目下大特典 會則見本無代進呈、速成三ヶ月卒業、會費一ヶ月四十五錢 全學期一圓卅錢

最新蠶業講義錄

元 勳 佐々木長 淳君題
理學博士 佐々木忠次郎君序
農學博士 大森順造君序
農學博士 石渡繁胤君序

石田孫太郎著

全一冊 定價一圓卅五錢
送料 金十二錢

明治蠶業大事紀

▲佐々木理學博士序 石田孫太郎先生著

ポケット入類美本

附錄養蠶日誌

定價送料共一圓卅錢也

春夏秋蠶豆作法

●土屋泰先生閱

元農業大學講師編
長沼辨治郎先生

「養蠶手帳」

附錄 飼育標準表
「ポケット入全一冊」

乾濕表 檢濕計略解
定價送料共金三十錢

著者は當代第一流の養蠶家として、その豊富な経験と知識を、この書に凝縮して、養蠶の全過程を詳しく解説している。特に、豆の栽培と蠶の飼育の両方を同時に学べる点が、本書の最大の特徴である。初心者から上級者まで、誰でも理解しやすい内容となっている。

發行所 東京神田區猿樂町四番地 十日太智業會

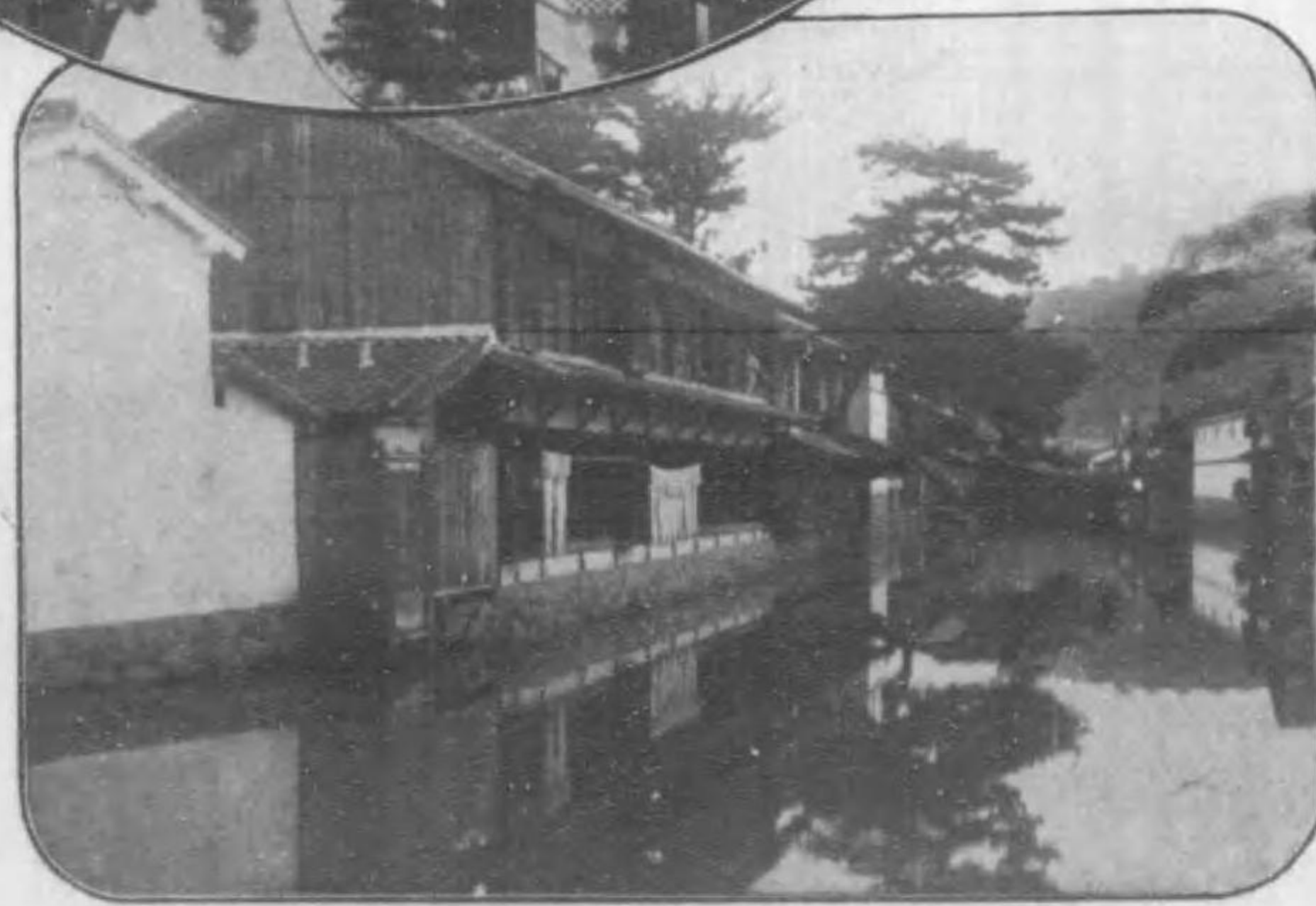
赤松製絲工場 (伊豫和字 國島和)



(1) 右方繰糸工場、側面左方汽罐室第一號乾燥場の側面



(2) 辰の川上流新榮橋より見たる貯蔵倉庫及第一號乾燥場の側面



(3) 辰の川下流より見たる第一號乾燥場の全景

農林種苗代價表

營業種子 苗木 種禽 種卵
 種目種畜 農具 雜貨 農書
 每年春秋二期改正發行

ハガキにて 御申込次第 無代進呈

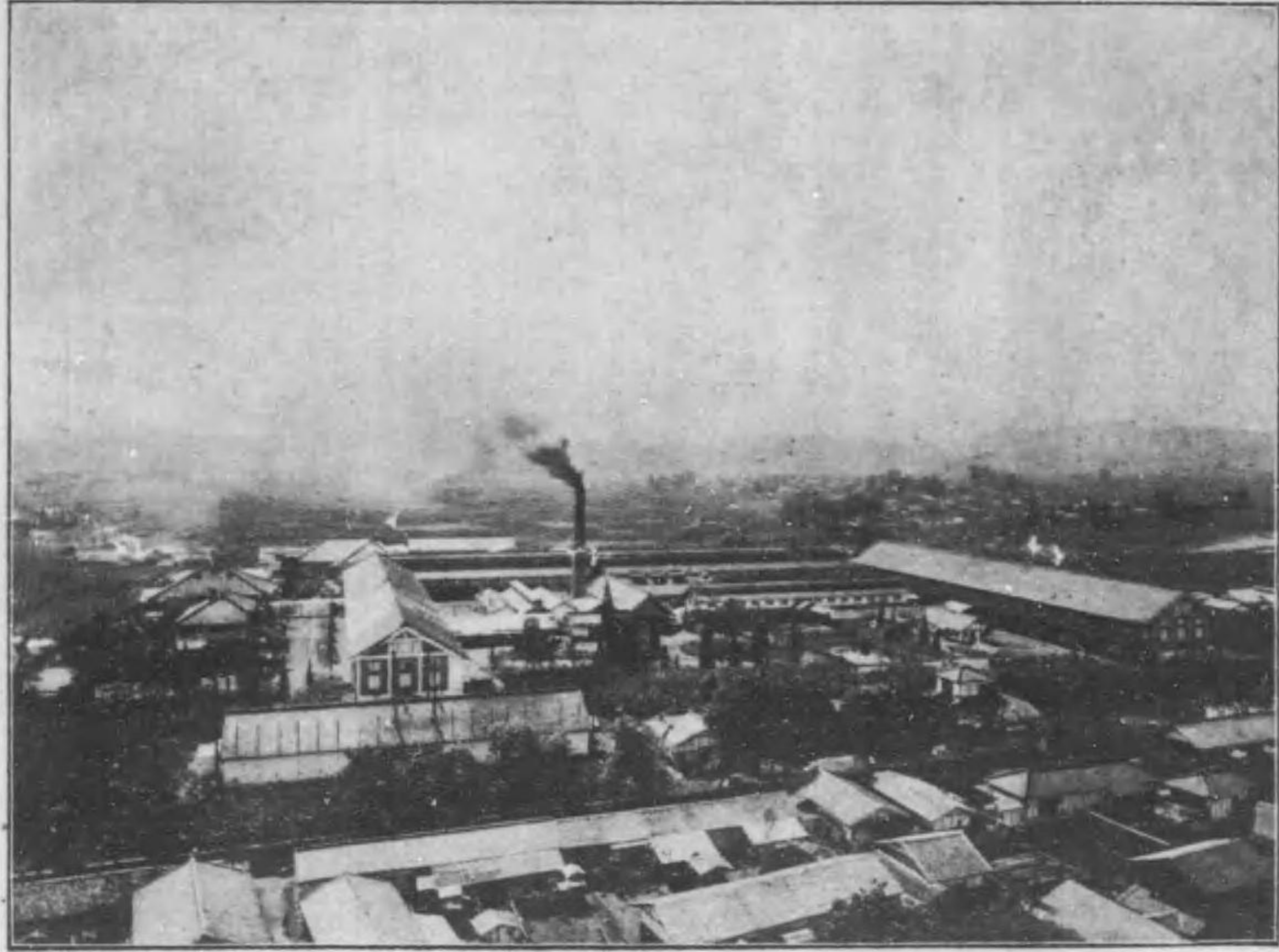
東京内藤新宿電車終點際

資本金七拾萬圓
 東洋第一の種苗店

日本種苗株式會社

電話番町一八一六番
 振替口座東京〇番

原富岡製絲所 (群馬縣北甘樂郡富岡町)



東京府蠶業採取所 (東京都立川市)



本館製造の蠶種の種類は飛白長白龍寶玉の三種にして、
秋蠶種産付は七月十五日より八月三十日迄、風穴種出穴
は六月上旬より八月二十日迄随時



白鳥傳三郎

(長野縣諏訪郡川村道)
(合文會館主)

製造蠶種類名稱日本錦飛白、秋蠶種、風穴種産付期七月
二十八日より八月十五日迄



福田龜右衛門

(長野縣諏訪郡川村澤)
(芳誠館主)

製造蠶種類名稱、飛白秋蠶種産付期毎年八月一日より
十二日迄の間、風穴種随時出穴



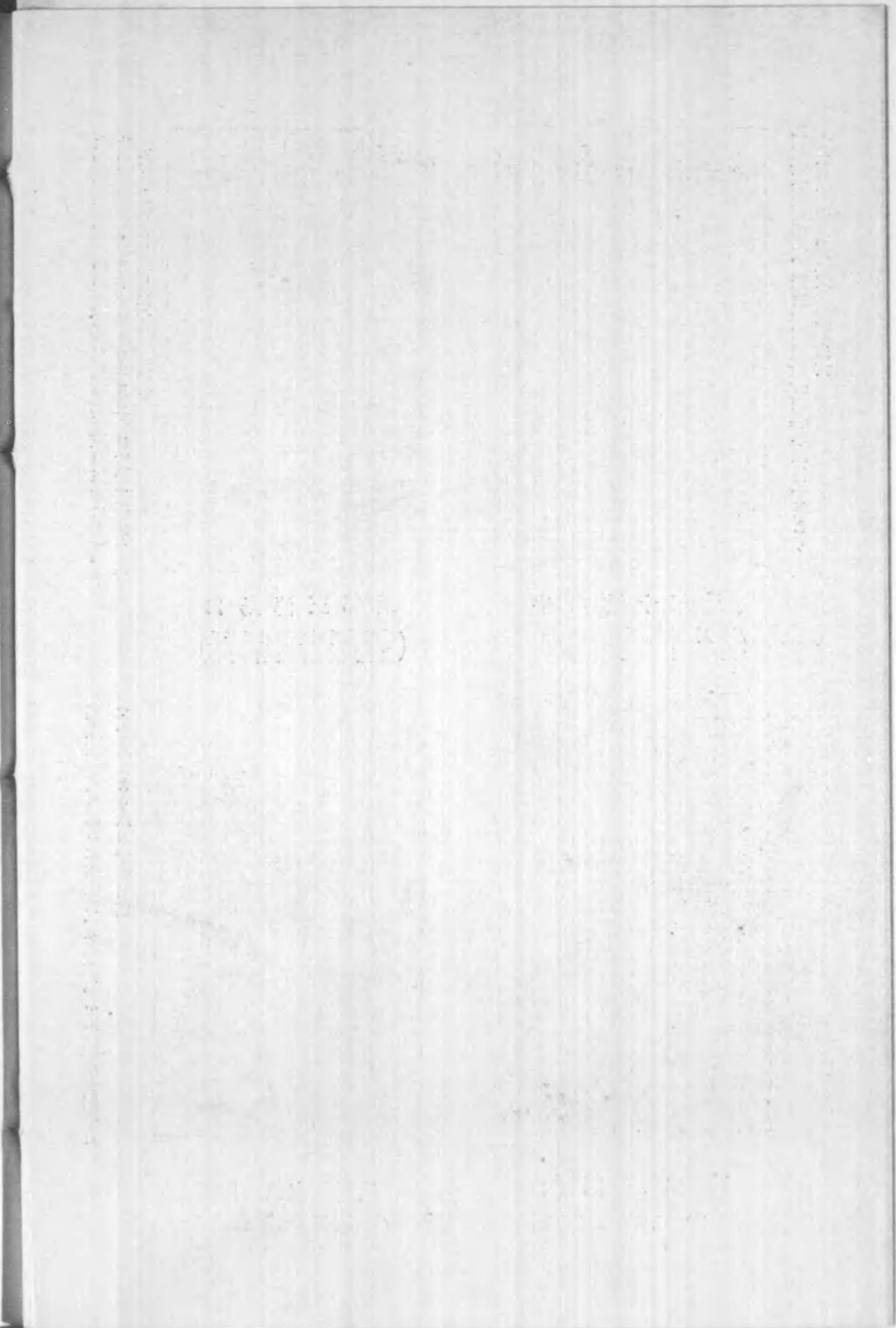
牛山増十郎

(長野縣諏訪郡川村)
(栗澤旭館主)

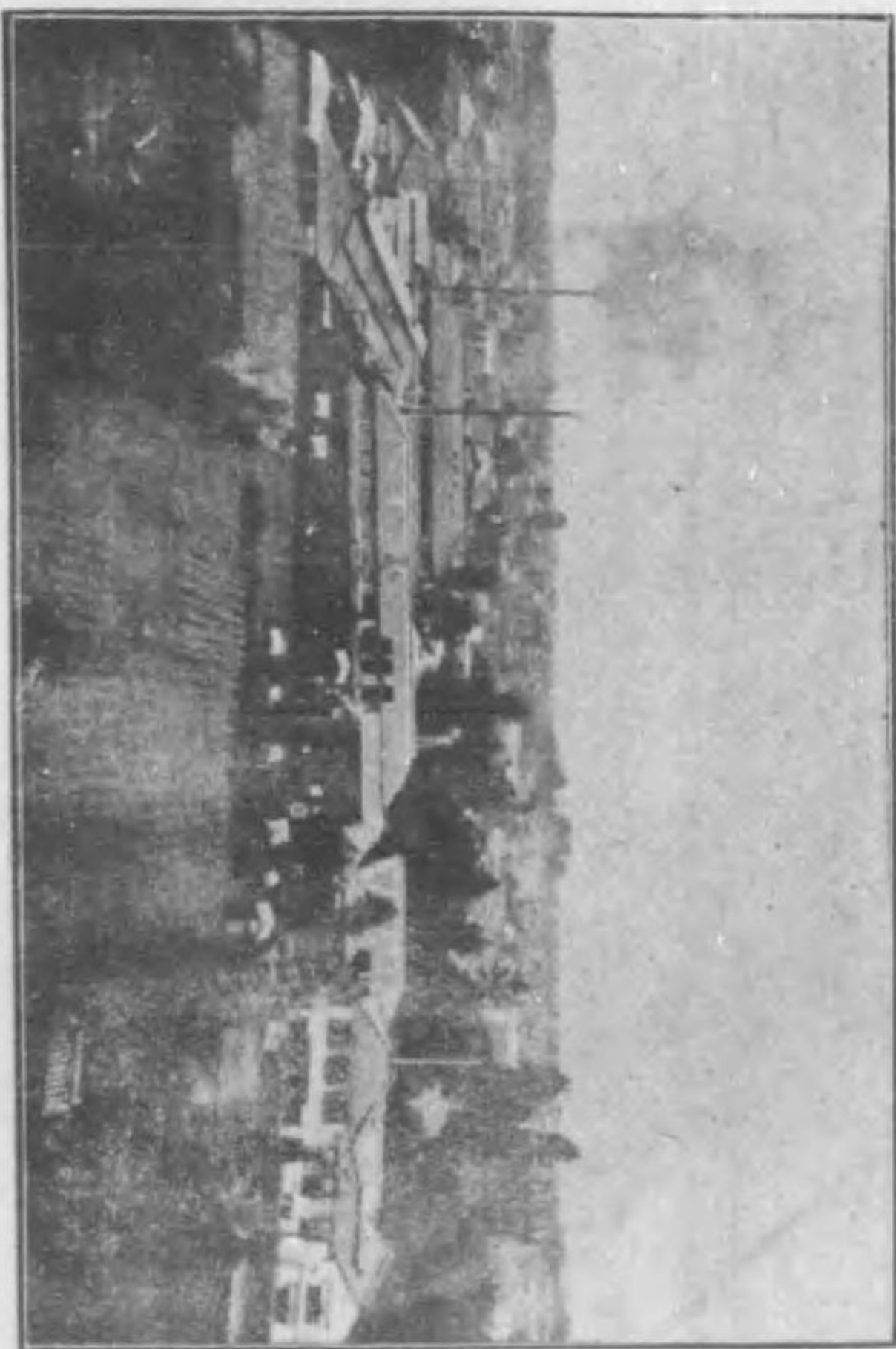
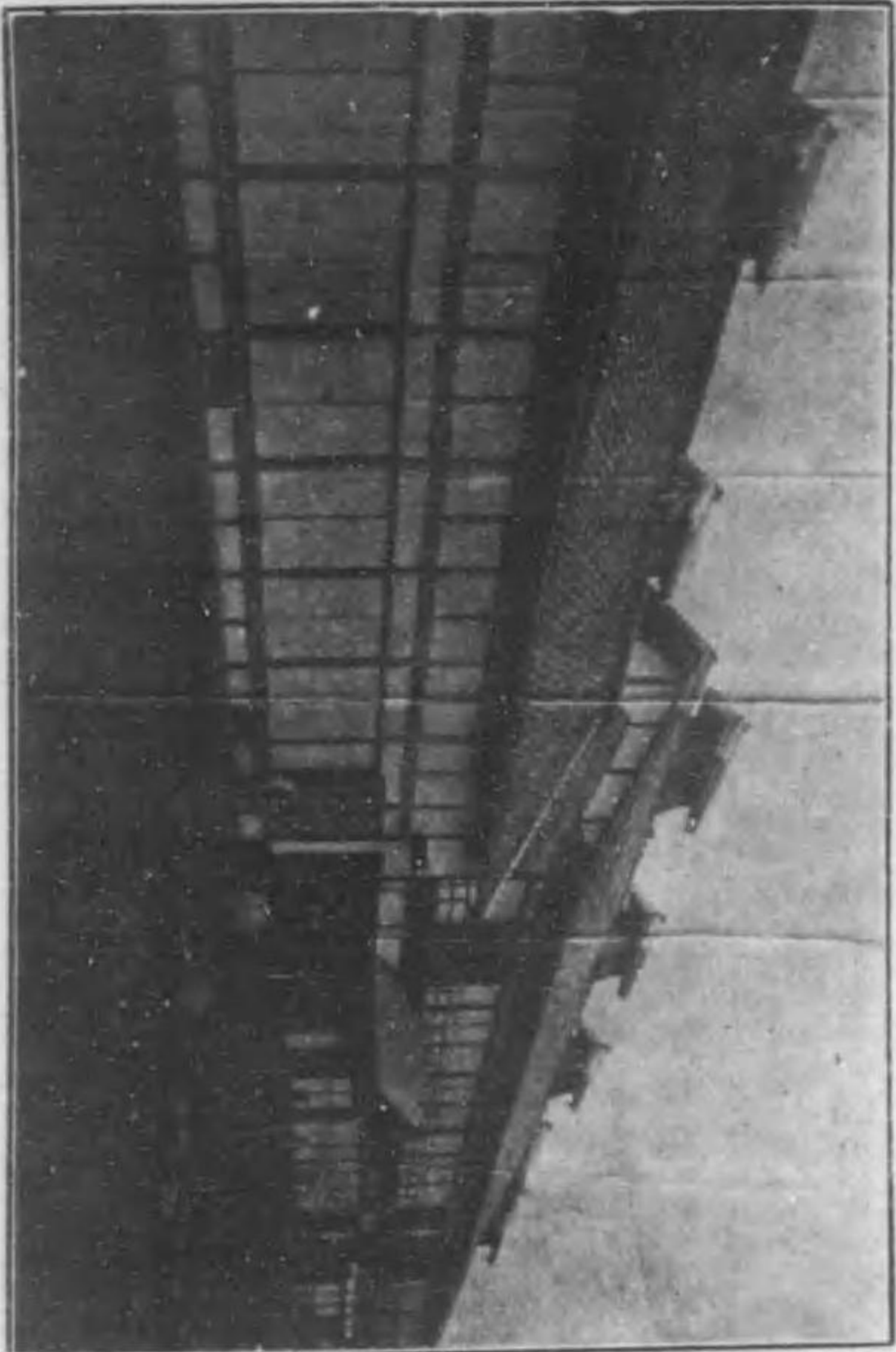


矢崎鐵作

(長野縣諏訪郡永野原)
(昌陽館主)

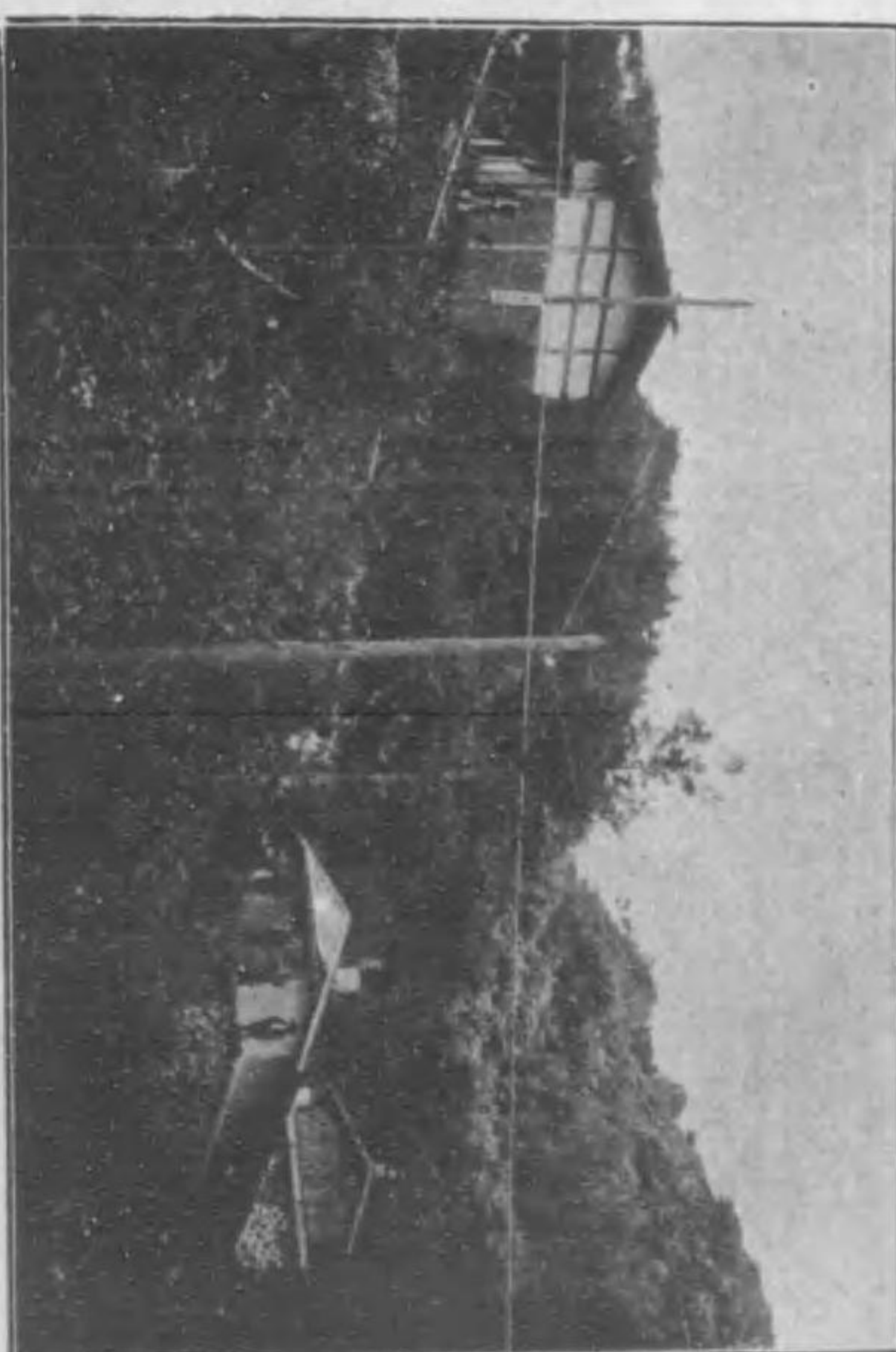
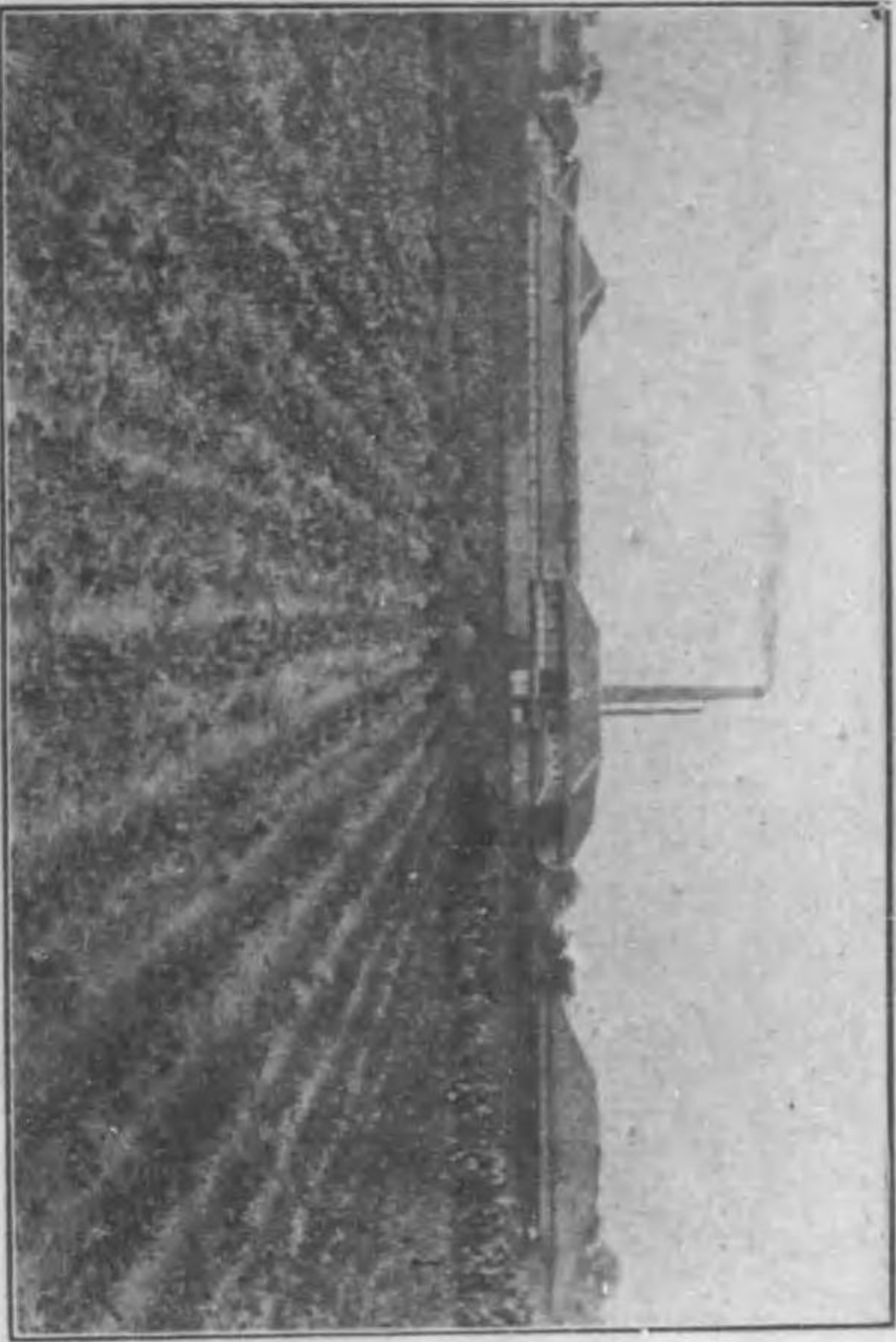


種原
類富岡製絲所附屬
馬改良部養蠶場
縣北甘樂郡富岡町



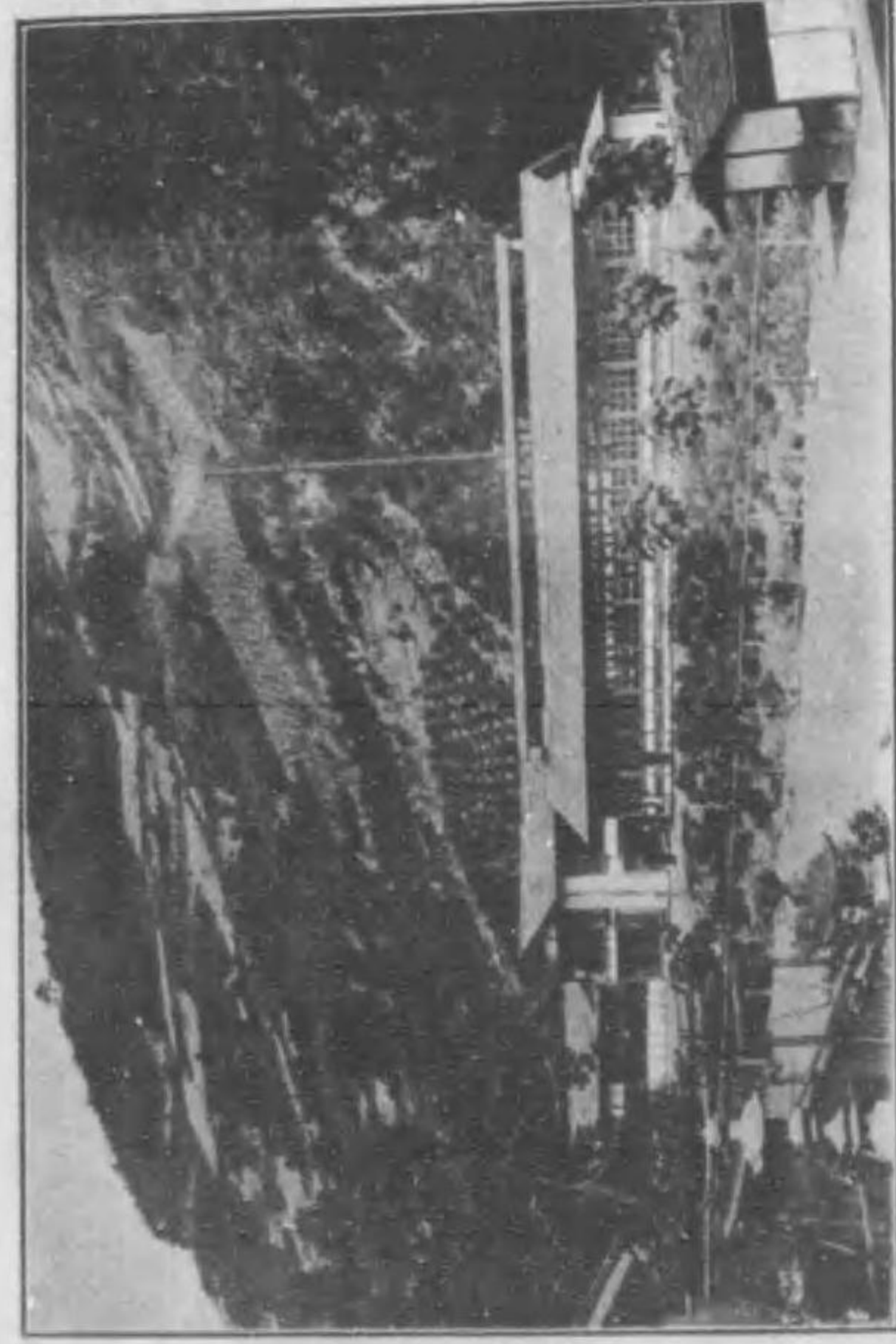
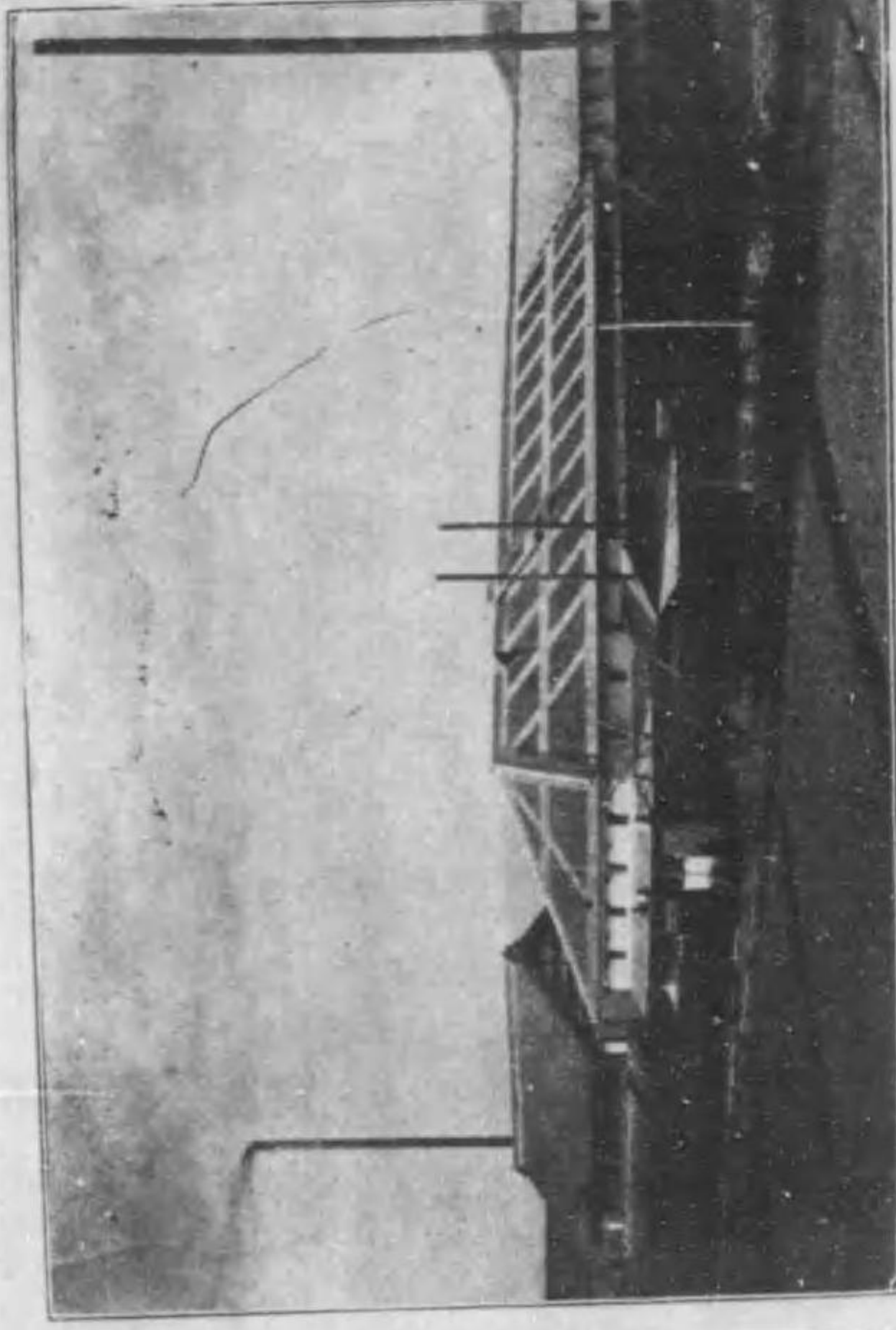
交水社全景
縣前橋市

大里製絲場
縣大里郡明戸村
電話深谷



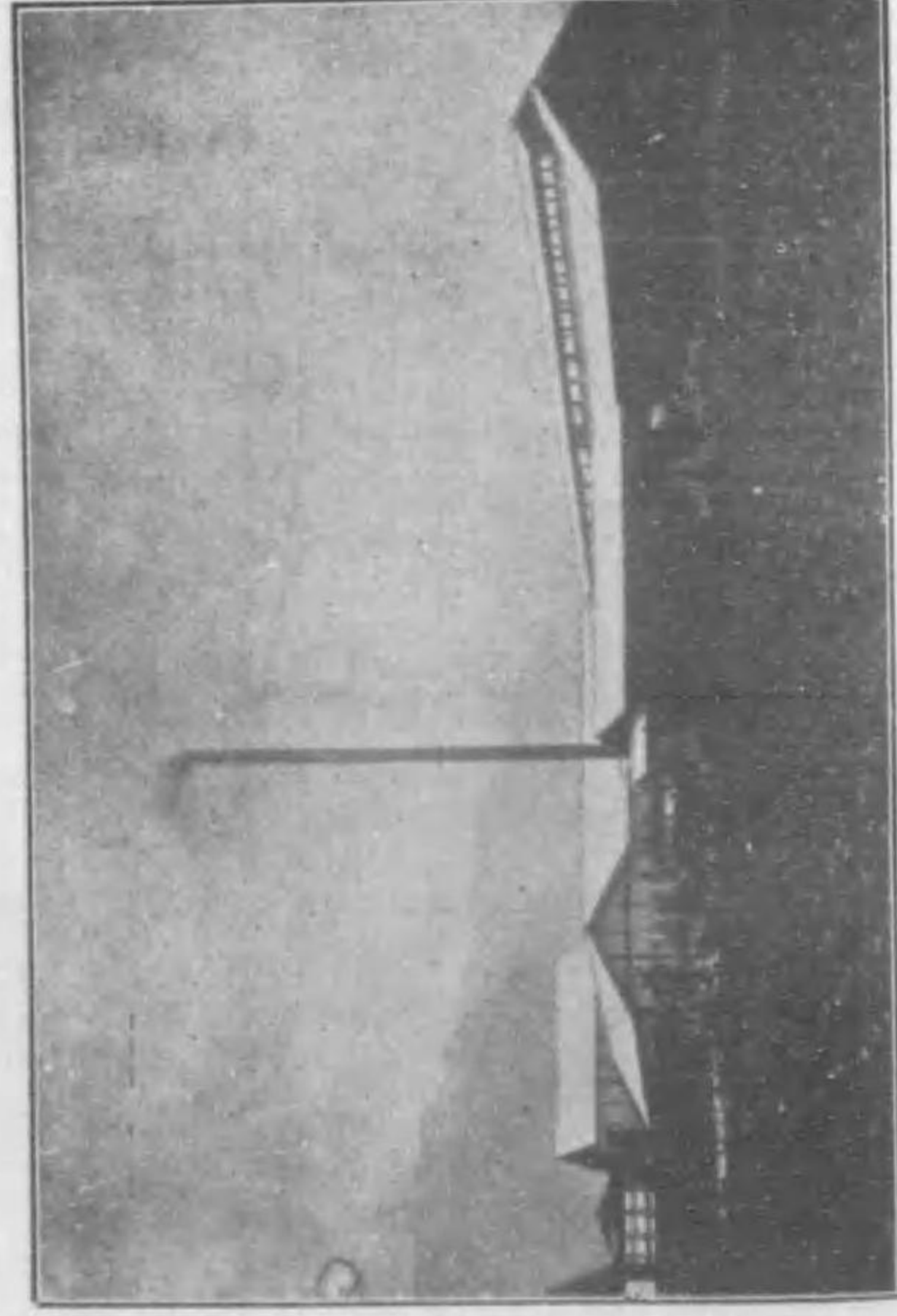
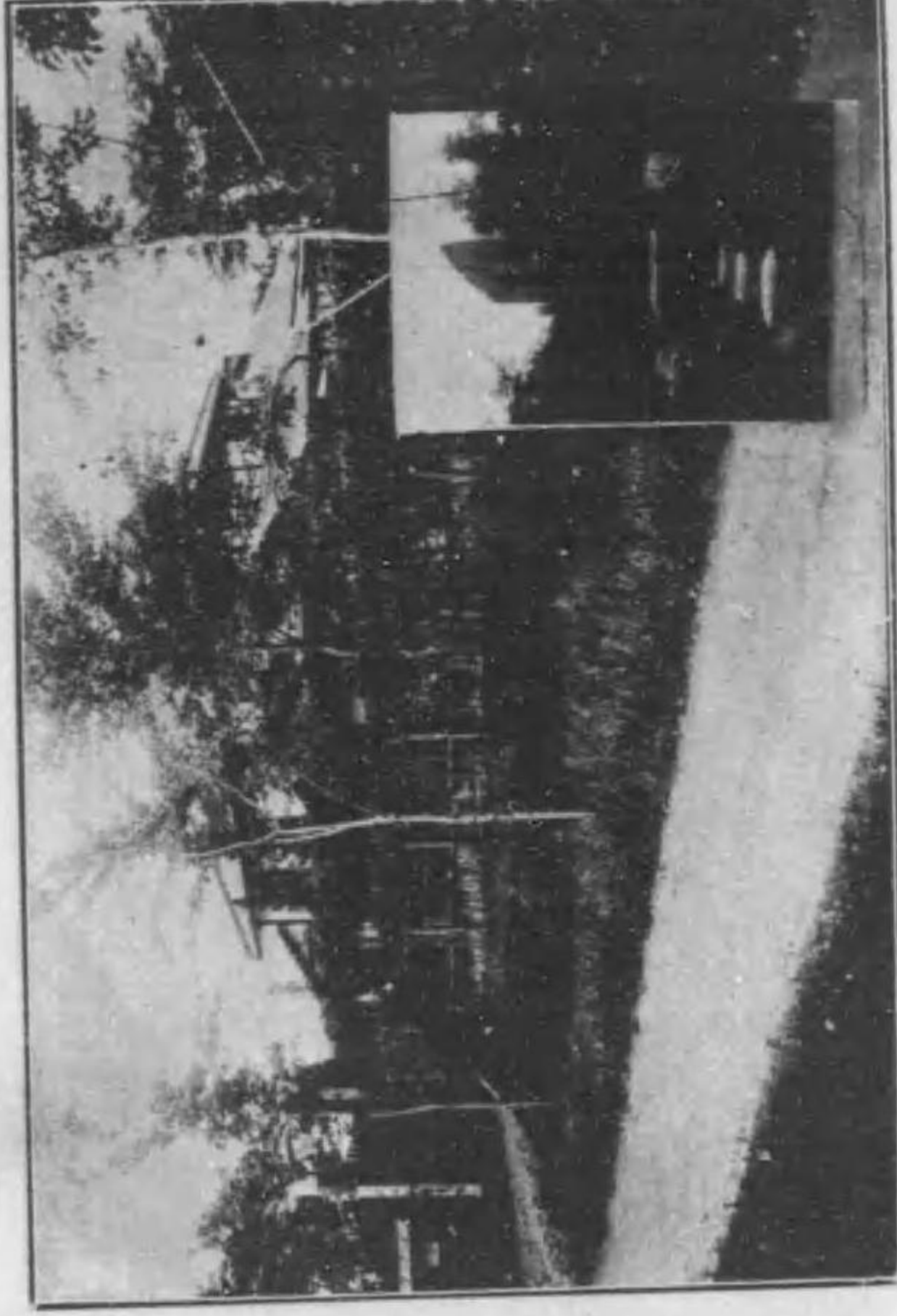
荒船風穴蠶種貯藏所
縣北甘樂郡四牧村

神保原製絲場
(埼玉縣児玉郡石神村神保原)



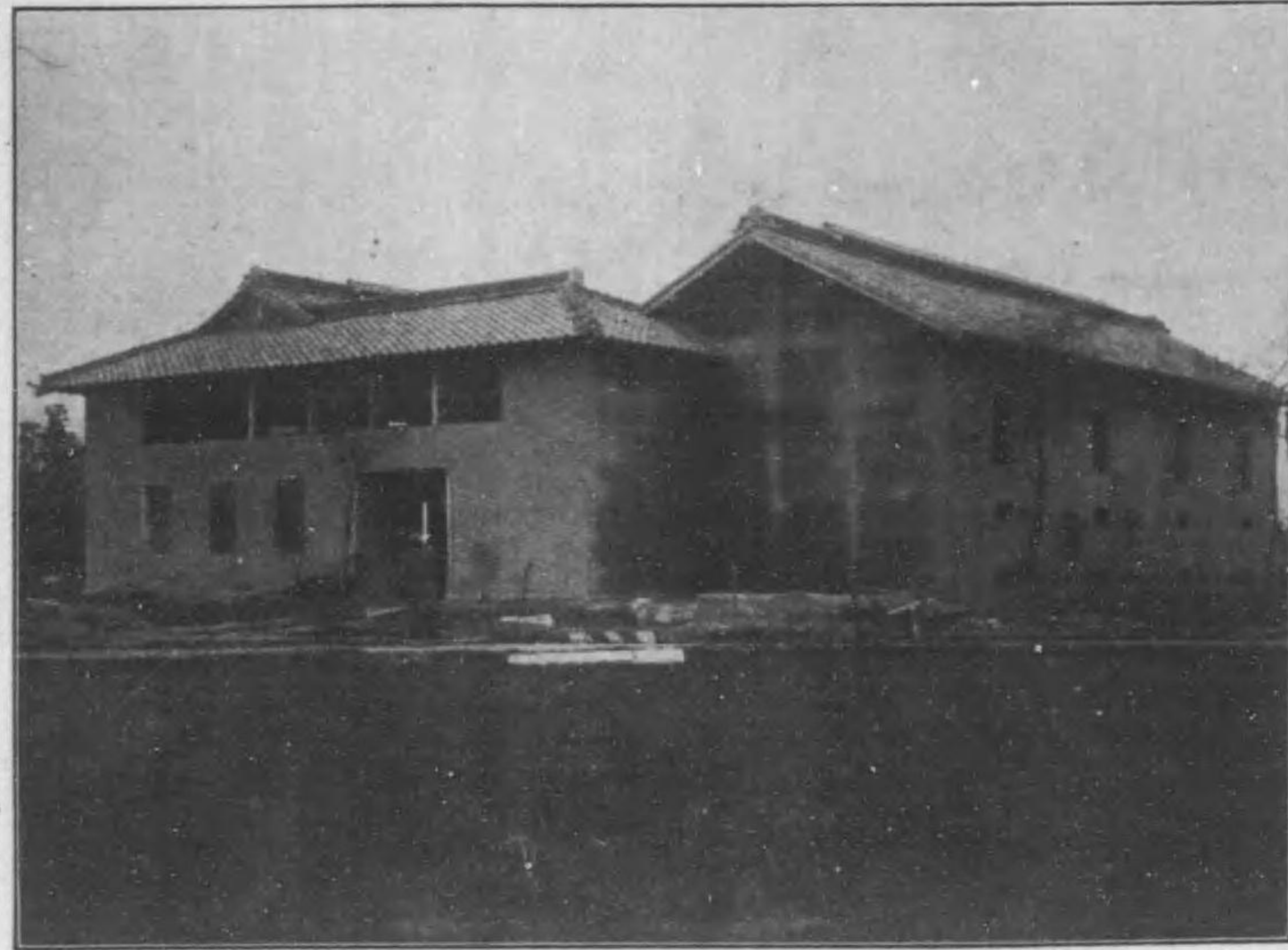
日野澤製絲工場
(埼玉縣秩父郡日野澤村)

碓氷社藤澤組
(埼玉縣大里郡藤澤村)



影森製絲工場
(埼玉縣秩父郡影森村)

扶桑館産卵室新設備



設備は本那無比の新設備にして、是等完備整頓せる設備の下に製造せらるゝ蠶種は一層強健優良なるべきは論を待たず

茲に描出せるは扶桑館に於て新設せる産卵室の一部にして産卵部事務室及附屬室、右種繭保護室、左産卵室、等完備せり、此

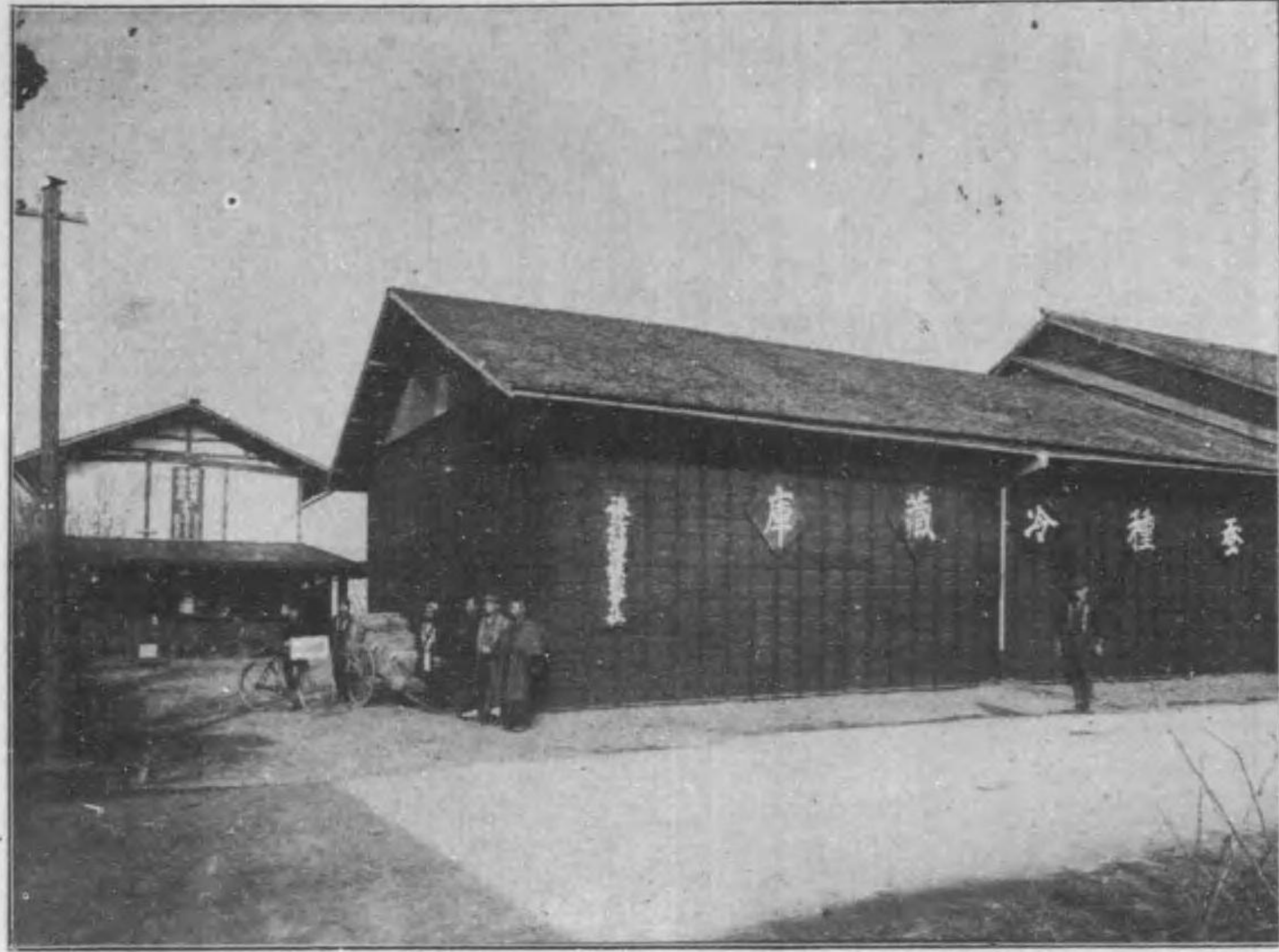
扶桑館蠶業陳列所



寫眞は其一部なり

各種の蠶業上に關する器具機械其他萬般の參列品を一堂に陳列し普く衆庶の縦覽に供し以て蠶業の改善發達に裨益せんとす此

(町訪諏上郡訪諏縣野長) 庫藏冷種蠶訪諏上



圖は冷蔵庫の外部の一部及同事務所にして蠶種出庫の實況なり

(町訪諏下郡訪諏縣野長) 庫藏冷種蠶訪諏

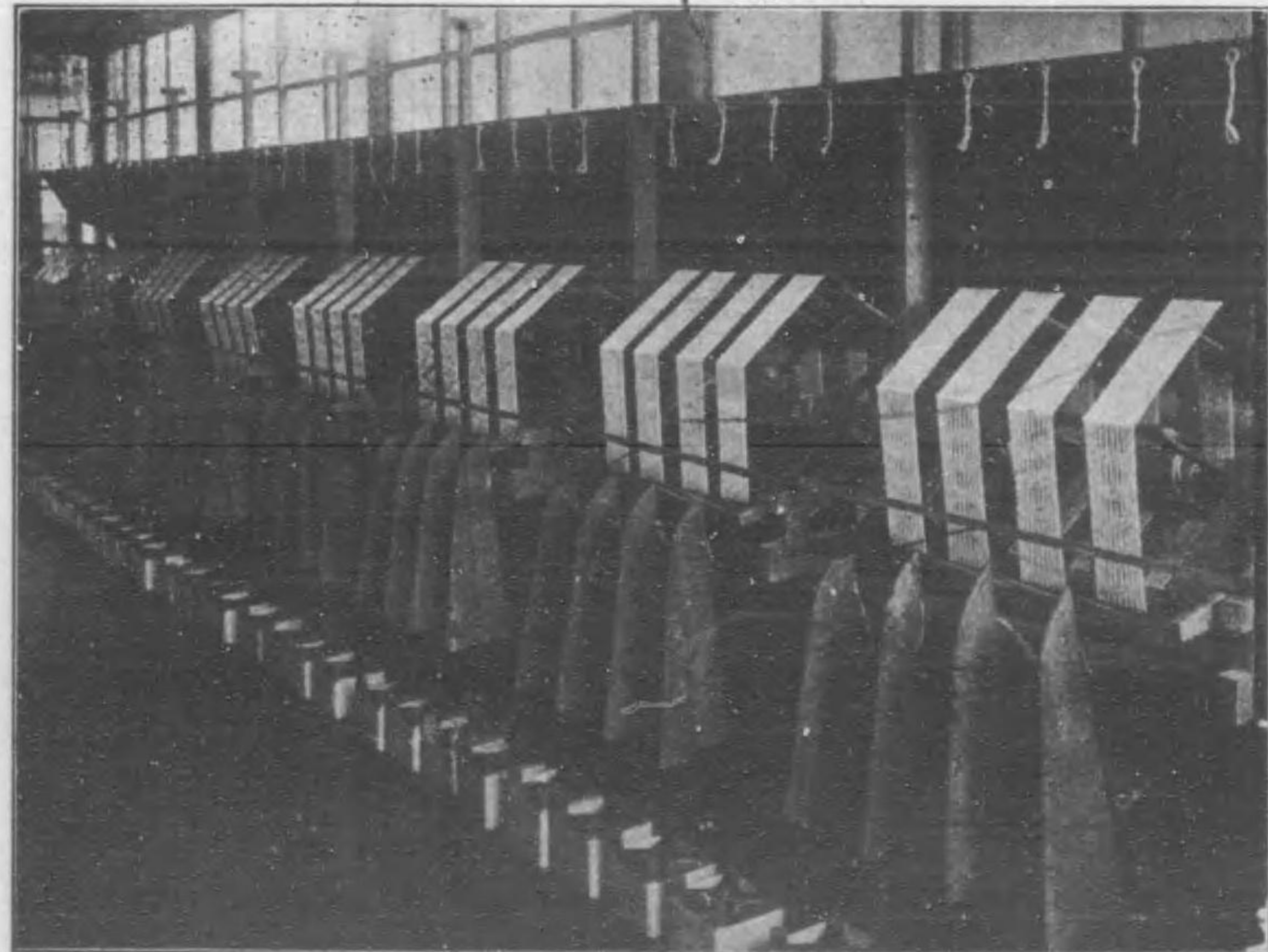


又地上室及半地下室に接続して屈曲せるは通路なり

圖は同庫内貯藏庫の外面を示せるものにして、中央にあるは管理者矢崎三彌氏にして氏の後方は地上室、前者は半地下室にて、



長屋新兵衛氏
長製 扇糸 商場主 店
(岐阜市八寺町)



同場二本揚り防止設備

各於博覽會共進會評品會金銀銅牌受領

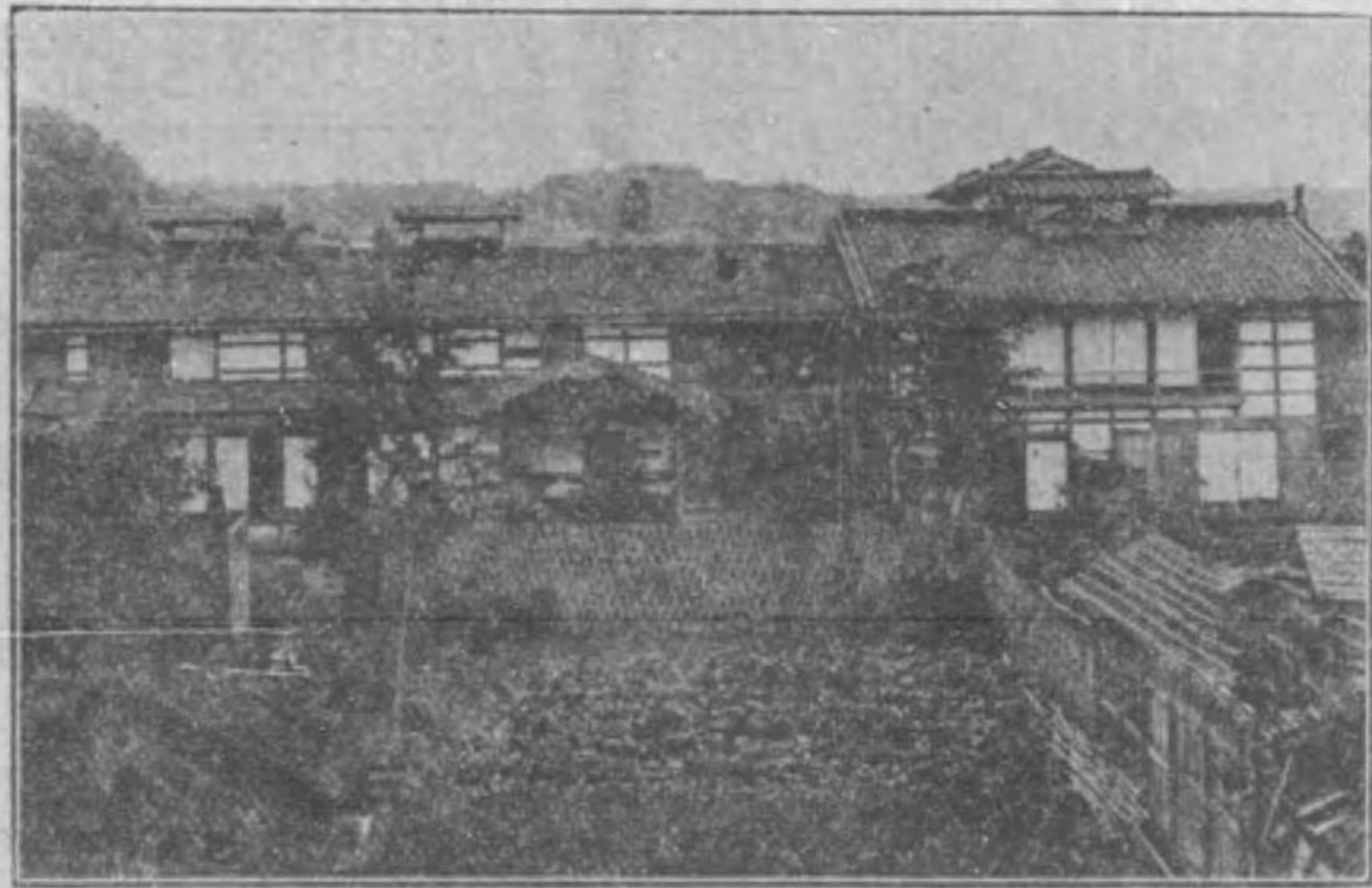
春蠶種 (又昔伊達錦黃石丸改良支那大圓頭)

風秋蠶種 (中巢大又)

明治初年創業



- 賞狀ハ一等賞七通以下百數十通賞受領
- 見本繭御入用ノ御方ハ郵券三錢送ラレタシ
- 共同購入ノ方ハ御照會次第營業案内呈ス
- 養蠶傳習所ノ設備アリ生徒ヲ養成シ教授員派遣ノ依頼ニ應ズ
- 飼育法三眠後全枝養育ヲ行フ
- 悴清水團次郎ハ東京蠶業講習所出身



群馬縣碓氷郡板鼻町

大日本蠶糸會特別會員

清水治郎造蠶事部

振替口座東京一九〇八番

種蠶會
合格優良
想的優良

蠶種販賣廣告

●春蠶種 (良白(一升二百三十顆)改良又昔(同二百五十顆)大巢白龍(同二百顆內外))

●風穴種 (白鶴(一升二百三十顆)多摩錦(同二百五十顆)良白(同二百二十顆))

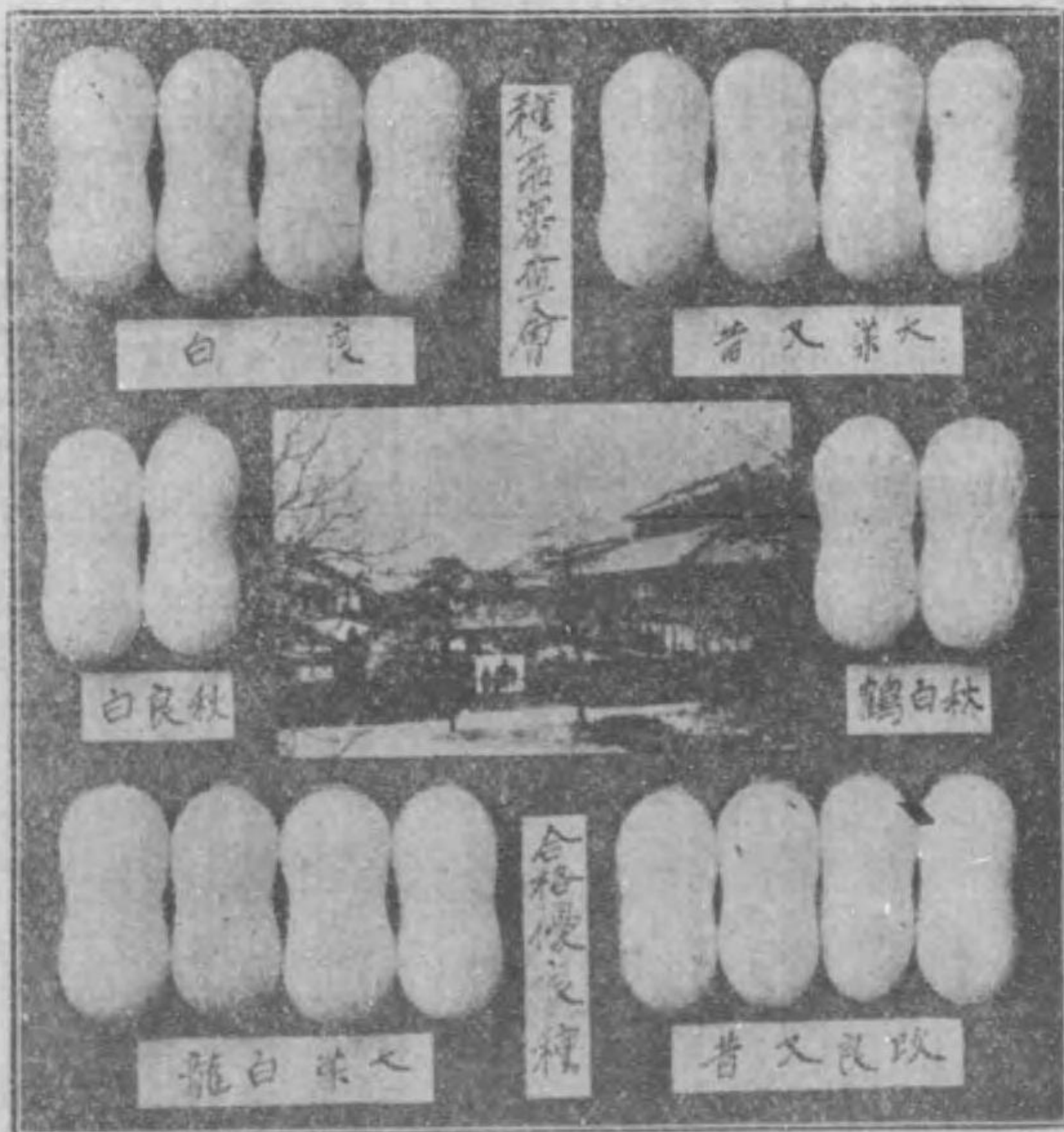
●代價 (全面平附一枚金壹圓五拾錢 框製原種用一枚金七拾錢)

但し割引の法あり御一報次第營業案内書を呈す

受賞

- 一佛國世界大博覽會銀賞牌
- 一米國世國大博覽會優等賞牌
- 一山梨聯合共進會二等賞銀牌
- 一日英大博覽會金賞牌
- 一群馬聯合共進會一等賞金牌
- 一大日本蠶絲會有等賞貴重品
- 一第三回日本產業博覽會金牌
- 一內國勸業博覽會鳳紋賞及有效賞以下三點
- 一大日本蠶絲會一等賞以下山口、長崎、石川、新潟、下野、宮城、山形、等各支會ニ於テ三十餘點

◎原滿見本御入用ノ御方ハ御申越アレ直ニ贈呈ス



勸業社 田島彌平蠶事部

群馬縣佐波郡島村二千二百四十三番地
振替貯金口座東京七一七四番
◎養蠶法實習生募集ス希望者ハ照會アレ規則書ヲ呈ス

本庫 氷室 利用 **箕輪冷蔵庫**
 取扱主任は蠶業の経験充實なるを以て蠶種
 貯蔵に適當なる温度を與ふる事を得る隨而
 不測の害を蒙る恐なく蠶兒の發育良好なる
 事を保證す各蠶業家の諸氏御安心あつて一
 度御試あらん事を
料 貯蔵料金は廉價に協定す
位 御照會次第詳細案内送呈す
置 前橋驛より西北五里二里の間(小暮村)迄は人力車通行す
 群馬縣勢多郡富士見 本庫 **坂田唯次郎**
 村箕輪九十三番地 電話(サカ)又ハ(サ)
 群馬縣前橋市細ヶ 取次所 **山口眞次郎**
 澤町四十九番地



榛名
蠶種貯藏庫
風穴
 庫内の温度
 一月二十度、二月十九度、三月二
 十二度、四月二十四度、五月廿九
 度、六月廿二度、七月廿四度、八
 月廿五度、九月廿七度、十月廿九
 度、十一月廿八度、十二月廿一度

同縣高崎市 取次所 **野尻留作**
 本町二丁目
 振替口座東京(一〇三三三)作
 所 **榛名風穴合資會社**
 振替口座東京(一〇三三三)作
 同縣高崎市 取次所 **野尻留作**
 本町二丁目
 振替口座東京(一〇三三三)作
 所 **榛名風穴合資會社**
 振替口座東京(一〇三三三)作

各金博覽會進會共會覽博於各
領受賞數牌銅牌金
營業案内
蠶業用打及物
柚職用斧類
豐職用庖丁
正一工場
 群馬縣利根郡 沼田町 場主 **中村松次**
 電話 信路 號(マサ) 振替口座東京二五二〇八

精選蠶種販賣廣告
島野丑之助
 電路シマ助

春蠶種 白玉 又昔
秋蠶種 白龍
 定價ハ御照會次第回答ス
 爲換埼玉縣小川局區内西方約一里
 賜群馬縣主催一府十四縣聯合共進會三等賞
 明治四十四年大日本蠶絲會山形支會品評會ニ於テ
 三等賞受領
 其他品評會等ニ於テ賞狀十數通受領セシモ省ク
 新案特許一〇九六六號
自動連續蛾輪
 但し古の單輪を連接する
 便法あり
 本品ハ拙者苦心改良スルコト十七回
 特許ヲ得ルハ回目ノ好評品ナリ
 新案特許一九九三九號
安全豊橋暖爐
 但し燻煙消毒に絶品なり
 本品ハ改良十二回ニシテ特許ヲ得ル
 四回目温度ノ昇降ヲセシムルニ輕便
 ノ良品ナリ
 愛知縣豊橋市曲尺手町壹丁目
金屋及部豊
 電話 四五四番
 振替口座東京一七九一九

博覽會共進會進會共會覽博於各
領受賞數牌銅牌金
自動連續蛾輪
安全豊橋暖爐
 製造發賣元祖

蠶網製造元 柴崎勇治郎
 群馬縣大里郡深谷町田所町
 弊店特製蠶網ハ絲質ヲ選ビ完全ナル良
 器ヲ以テ親切ニ製造ナシ廉價ト正直ヲ
 以テ精々便利ニ取引ヲナス
 御照會ニヨリ蠶網寸法及ビ定價表運賃
 等詳細ニ御報道可致候
蠶種貯藏庫
星尾風穴合資會社
 群馬縣北甘樂郡下仁田
事務所 市川竹十郎
 明治三十七年創業

踏取製絲 白井照吉
 群馬縣北甘樂郡富岡町大字七日市
 甲一臺 金六圓五十錢
 乙一臺 金六圓
 詳細ハ御照會次第營業案内送呈ス
 長野縣一府十縣聯合共進會二等賞、群馬縣一府十四
 縣聯合共進會二等賞、群馬縣主催第二會工藝品展覽
 會一等賞、明治四十二年本郡物産共進會二等賞受領

精良 美濃本場産 確實

大紫雲英種子

專門大賣販

各府縣農事試驗場
各府縣町村農會
各府縣購買產業組合

御用達

東京市神田區柳原河岸十七號地

登錄商標



養國社

電話(浪花) 東京振替口座第三〇〇〇番
四五八四番 電信略號(ヤマヨ)

美濃國安八部大垣町(停車場前)

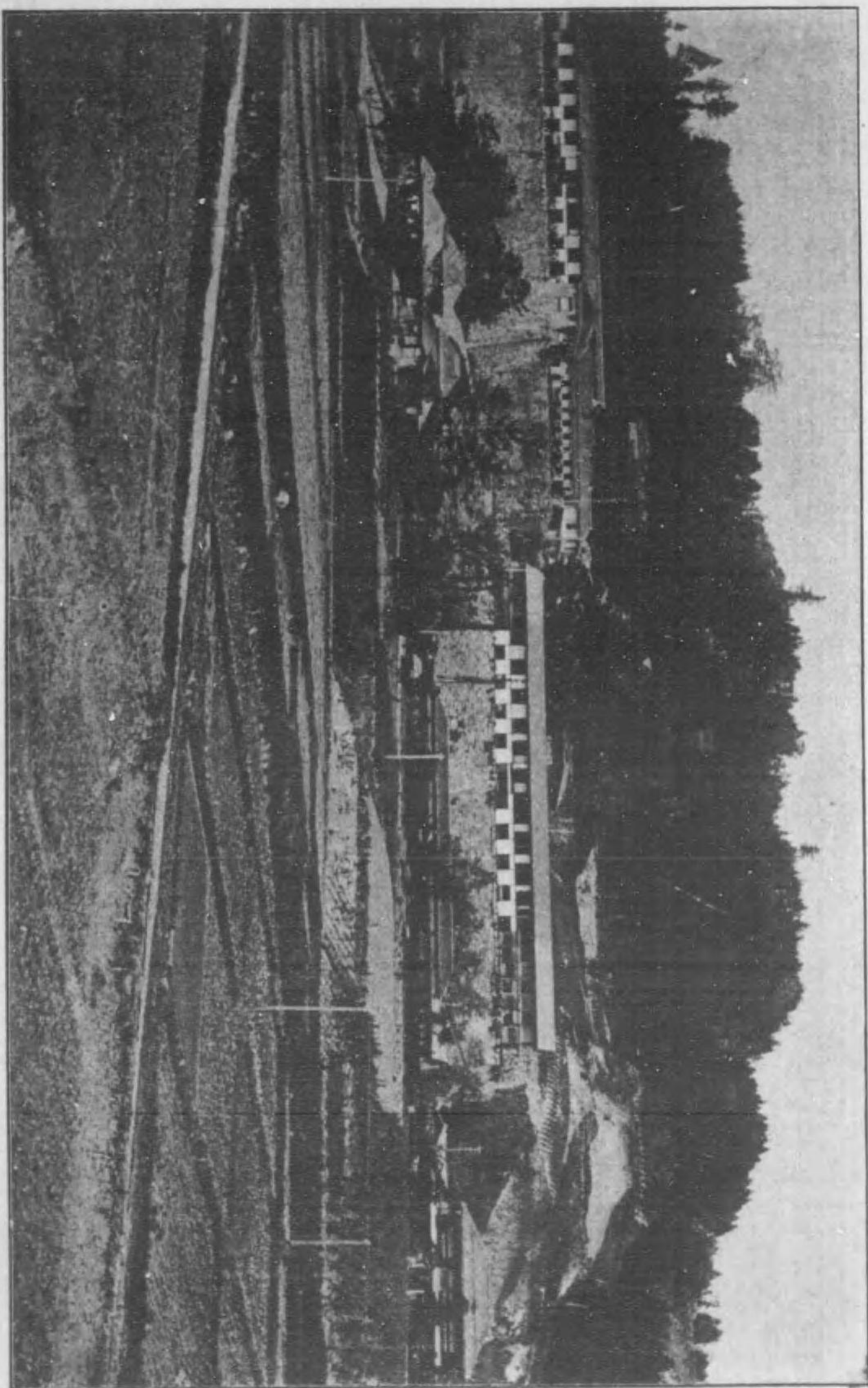
登錄商標



養國社支店

電話(大垣) 東京振替口座第九八八番
二二三二番 電信略號(ヤマヨ)

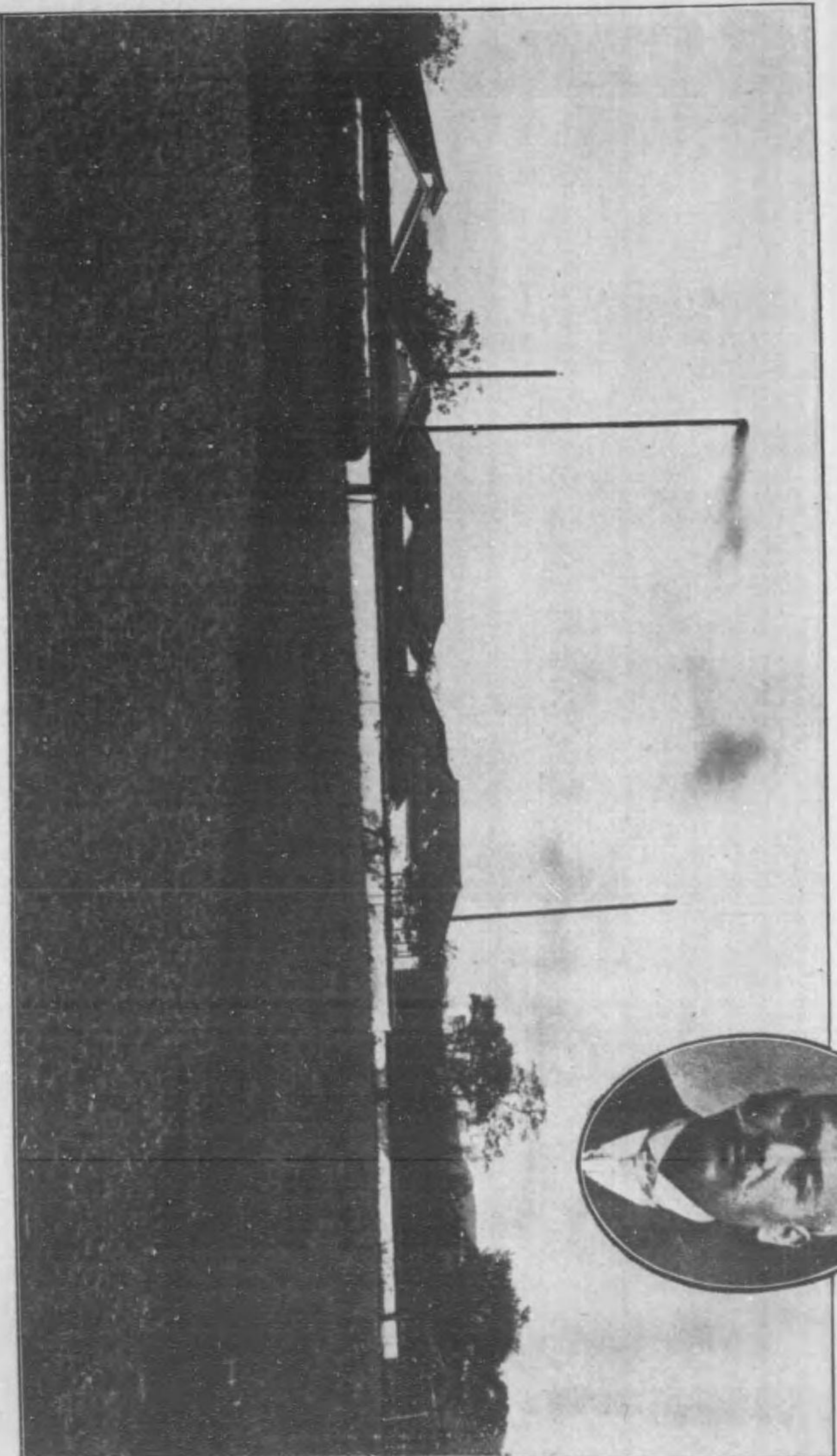
●弊社は本場紫雲英種子確實販賣を以て專業とす
●紫雲英種子御入用の節は前以て數量と品名とを御記載御照會被下度精々精良なる種子の相場を御回答仕る可く候
●見本及相場表御入用の折は御申込次第御送付仕候



(町松本二國代岩) 館松雙

（國信社）社會資合絲製山津

常務取締役
畑好氏

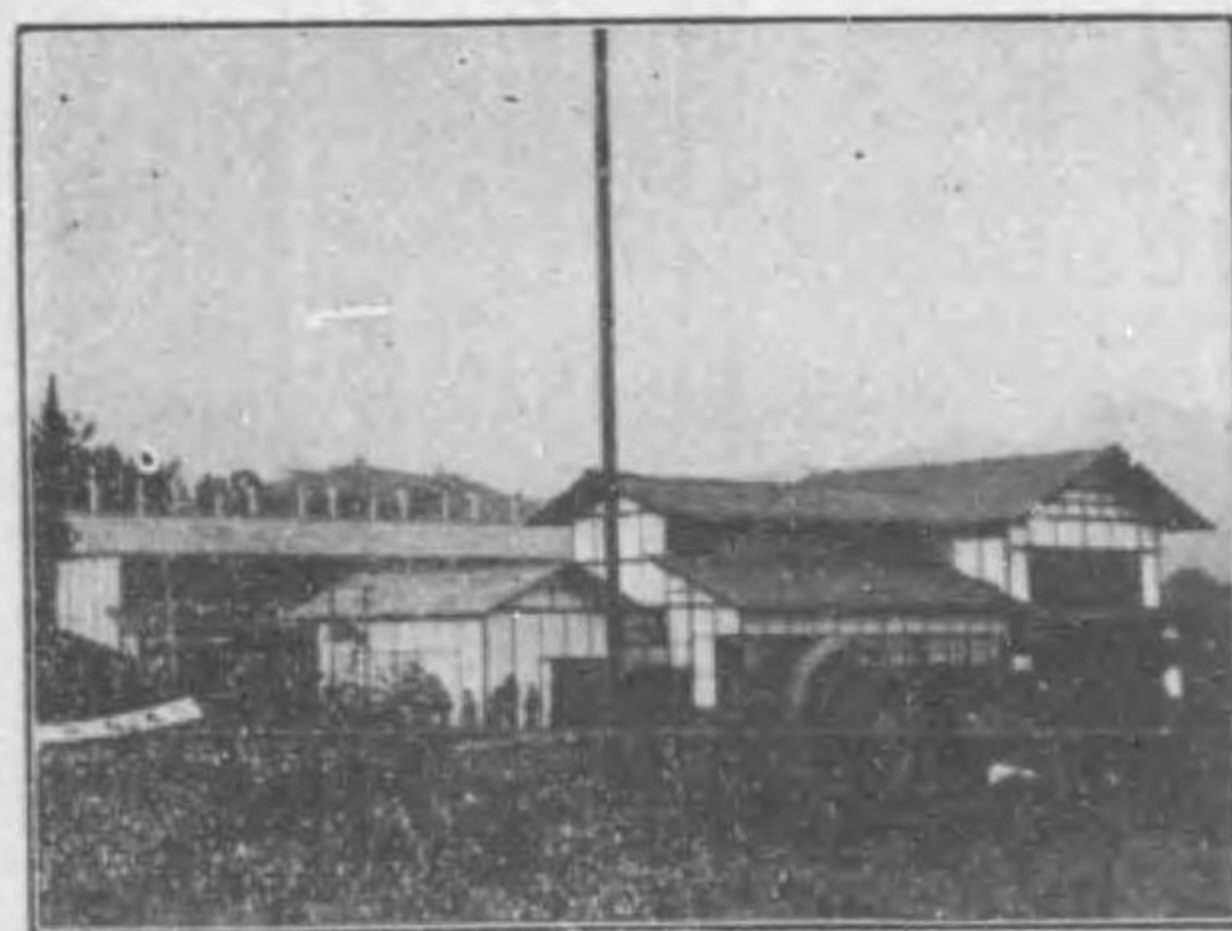




野中惣助氏
(所締取業蠶須加縣玉埼主事)



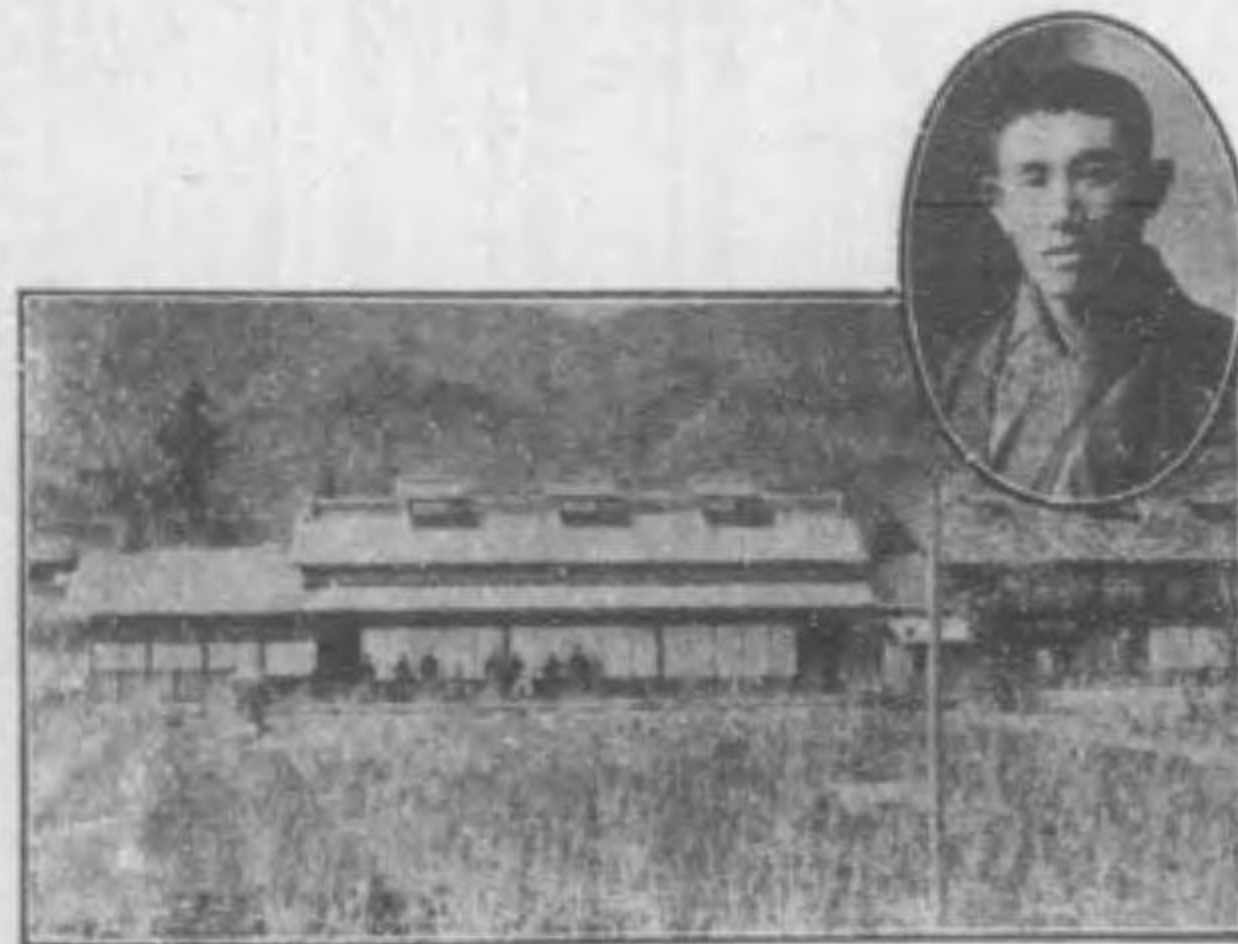
飯島辨次郎氏
(所締取業蠶庄本縣玉埼主事)



國神製絲工場
(村神國郡父秩縣玉埼)



關口嘉門氏蠶種製所
(園綠桑村島郡波佐縣馬群)



恩田彦太郎氏蠶塲
(村山馬郡樂甘北縣馬群)



八木正三氏蠶塲
(村手仁郡玉兒縣玉埼)

家業蠶縣玉埼



山崎茂十郎氏

(長館業盛村呂勝郡問入)



茂木小平氏

(村手仁上郡玉兒)



武田武平氏

(長館國富村關ヶ霞郡問入)



淺見平三郎氏

(長場教分社進競町玉兒郡玉兒)



山下長松武

(町山松部企比縣玉埼)



加藤唯三郎氏

(事主所支越川所締取業蠶縣玉埼)



(利生村川神郡野多縣馬群)

製蠶種
新井泰吉氏



(村野多波郡邊山縣長奈)

弘蠶種
館主
浦崎八十松氏



(村手仁郡玉兒縣玉奇)

製蠶種
增田專吉氏



(長校學絲蠶立縣馬群)

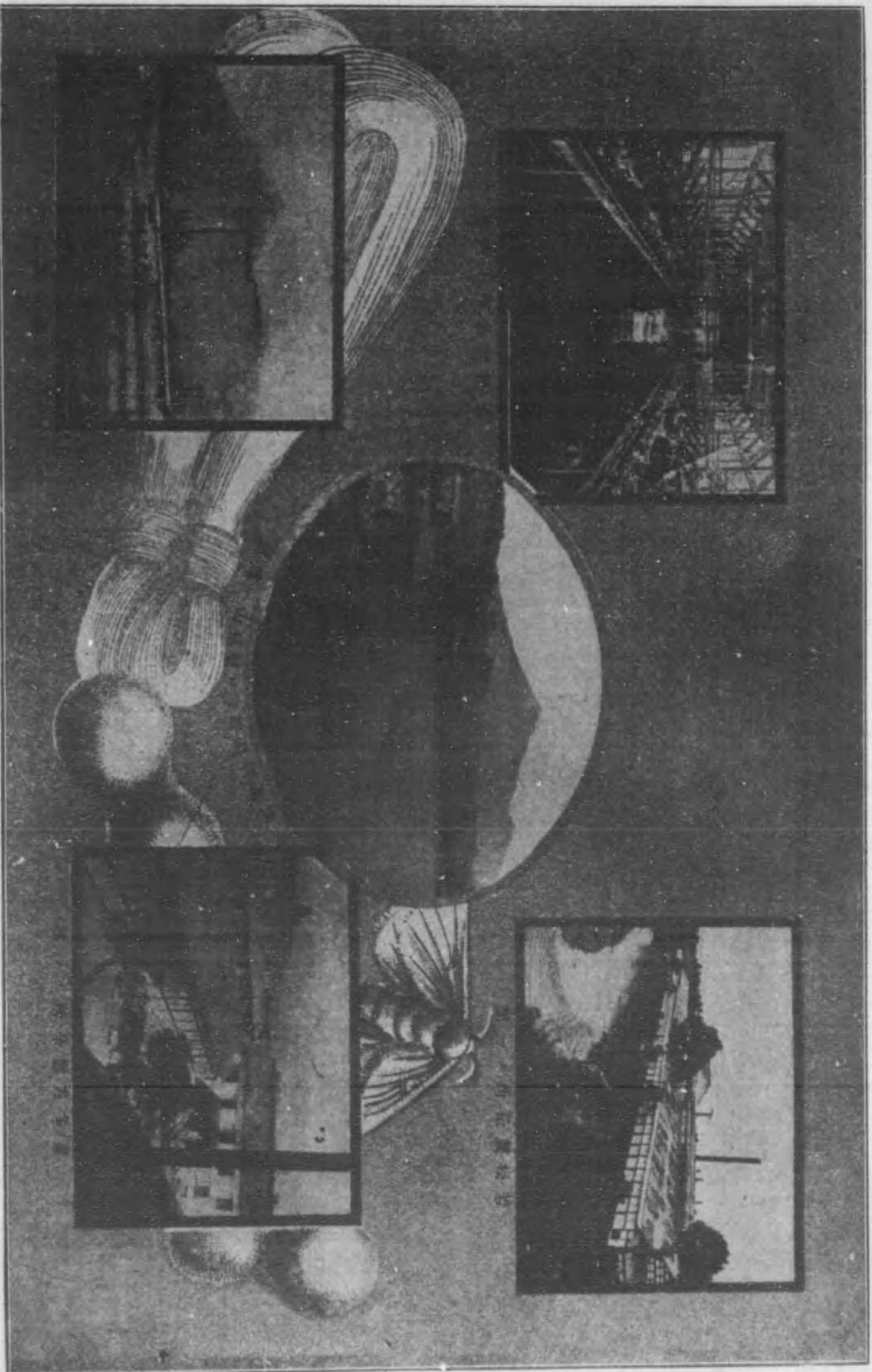
山中良治氏



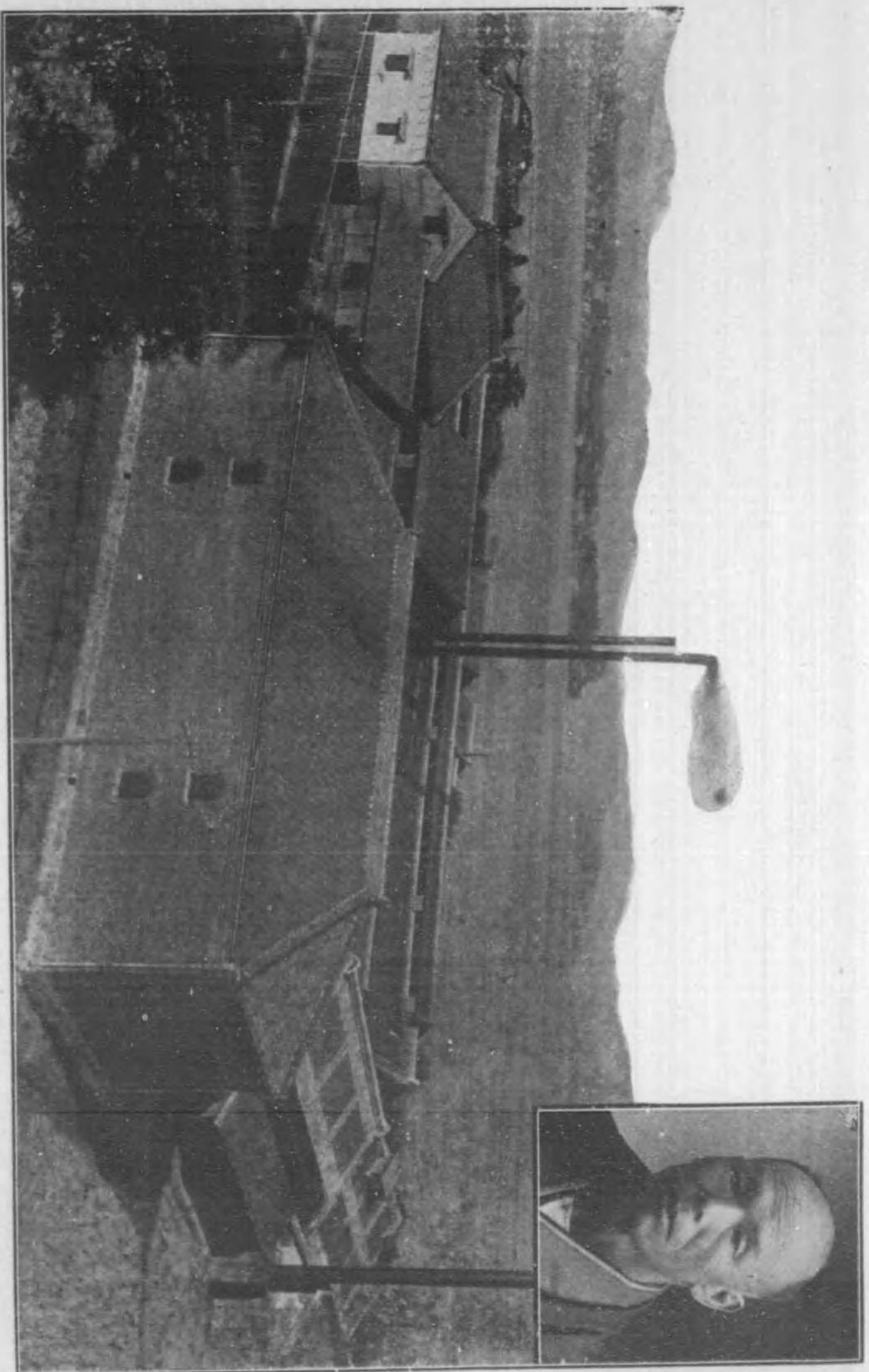
(長合組業同種蠶郡賀部下縣木柘)

確井要作氏

所 絲 製 の 營 經 組 木 鈴



氏古柳崎宮主場



宮崎製絲所全景 (遠州津羅前)

長組副合組業同種蠶縣木栃
氏郎太國井武



晃暉館 武井國太郎

栃木縣本場下都賀郡小山町局區内穗積村

良改 春蠶種 (類種) 青熟、改良清白、
角又、支那、

此ノ種類ハ弊館撰出改良ニ努メ江湖ニ名聲ヲ博シ絲
量頗ル豊富ナリ

發蛾豫定期六月廿五日ヨリ七月二日迄

良改 風穴秋蠶種 (類種) 國の錦、改良清白、

此ノ種類ハ繭形較ヤ大ニ絲質優良縮皺緊緩好良ニシ
テ飼育尤モ容易ナリ

發蛾豫定期八月二十日ヨリ八月十日迄

出穴ハ七月十日ヨリ八月十日迄隨意

各地共進會大日本蠶絲會品評會等ニ出品
シテ優賞ヲ得タルコト枚舉ニ暇アラズ

各博覽會賞牌受領

濃州產 牙虫卵室紙

各種

產額 約一千五百萬枚

特色 掛紙本生白色厚口 斷裁正確
直段比較的底廉

見本品 一千枚ニ付普通金六圓ヨリ上等品金拾五圓迄各種

御入用之節ハ御申越次第送付可仕候

右御入用之御方ハ多少ニ不拘御試用ノ程奉希候

岐阜縣岐阜市小熊町

國產紙問屋



鈴木

木

安

兵

衛

長電話二六三八番
振替貯金口座大阪一〇三七三番

(561)

新案 特許 町井式 不倒製簇器

此ノ器械ニテ折タル簇ヲ一名横網簇ト云フ

一本器は従來使用の藁折簇の折方を大改良したるものにして更に繩を張り又は竹細工等の臺を用えずとも決して倒れざる特長を有す

一横網簇は日の下海山て倒るゝ事なき實に不思議とも謂ふべく即ち此の名稱ある所以なり
一横網簇は藁が少量で折り得て上手下手なしに誰にも立て得らる

一横網簇を使用せば玉藪屑藪更に出來ず藁の配置良き爲め營藪速かなれば薄皮藪も殆んど稀なり
一横網簇見本郵券四錢を添へ申込まれよ
一町井式不倒製簇器一臺僅壹圓五拾錢郵送料十六錢

破天荒一發明藁折簇大ノ大王



横網簇

取次販賣御希望の方は郵券二錢を添へ申込られよ
專賣特許繩網製器
新案特許不倒製上簇器

專賣特許第一三八九五號 繩網兼蕘織器械

一本器は實に簡單にして極めて堅牢永久の使用に堪へ婦女子と雖も一日五十枚は容易に織り得る一本器は七分目より一寸目迄自在に織り得る特長を有す

單式 一臺 金壹圓五拾錢 郵送料金拾六錢を要す

一本器で織りたる網を報徳網と稱す
一報徳網は組子式方形には耳て二筋の繩を以て交叉するが故更に亂るる患ひなし報徳網は絲網と同一一回の冷桑を以て容易に除沙を爲す事を得る
一報徳網で使用せる蠶兒は常に繩上に居るを以て濕氣を受けず尙ほ糞除の場合には經緯の繩幾分摩れ合ふにより蠶糞悉く取除き得べく蠶座は常に清潔を保ち除沙の便頗る宜敷く手数を省くを以て最も經濟的蠶網とす

製作發賣元 町井由太郎

長野縣下高井郡平野町

振替口座東京一〇〇四三三號

本器ハ火急ニ臨ミ有効アリシノ禮狀既ニ如山之

●本器ハ火急ニ臨ミ有効アリシノ禮狀既ニ如山之

特許第一一三四三號 新案第一〇八四〇號 輕便噴筒廣告

一朝シテ大噴筒ハ民衆ノ財產ヲ保護スルニ至極重要ナルモノナリ... (Text describing the benefits of the sprayer for fire safety and pest control)

●在來消火器ノ得失
●輕便噴筒常備ノ必要
●金拾貳圓也 (ホソク一臺) (有答三尺鋼製筒先行)

●本器使用ノ特長
●金拾貳圓也 (有答三尺鋼製筒先行)

●平時ノ用途又廣シ
●如半價値アリルコト如何ニ安價ニ販賣スルヤ

●斯ノ如半價値アリルコト如何ニ安價ニ販賣スルヤ

●製造發賣元

●特許 商會

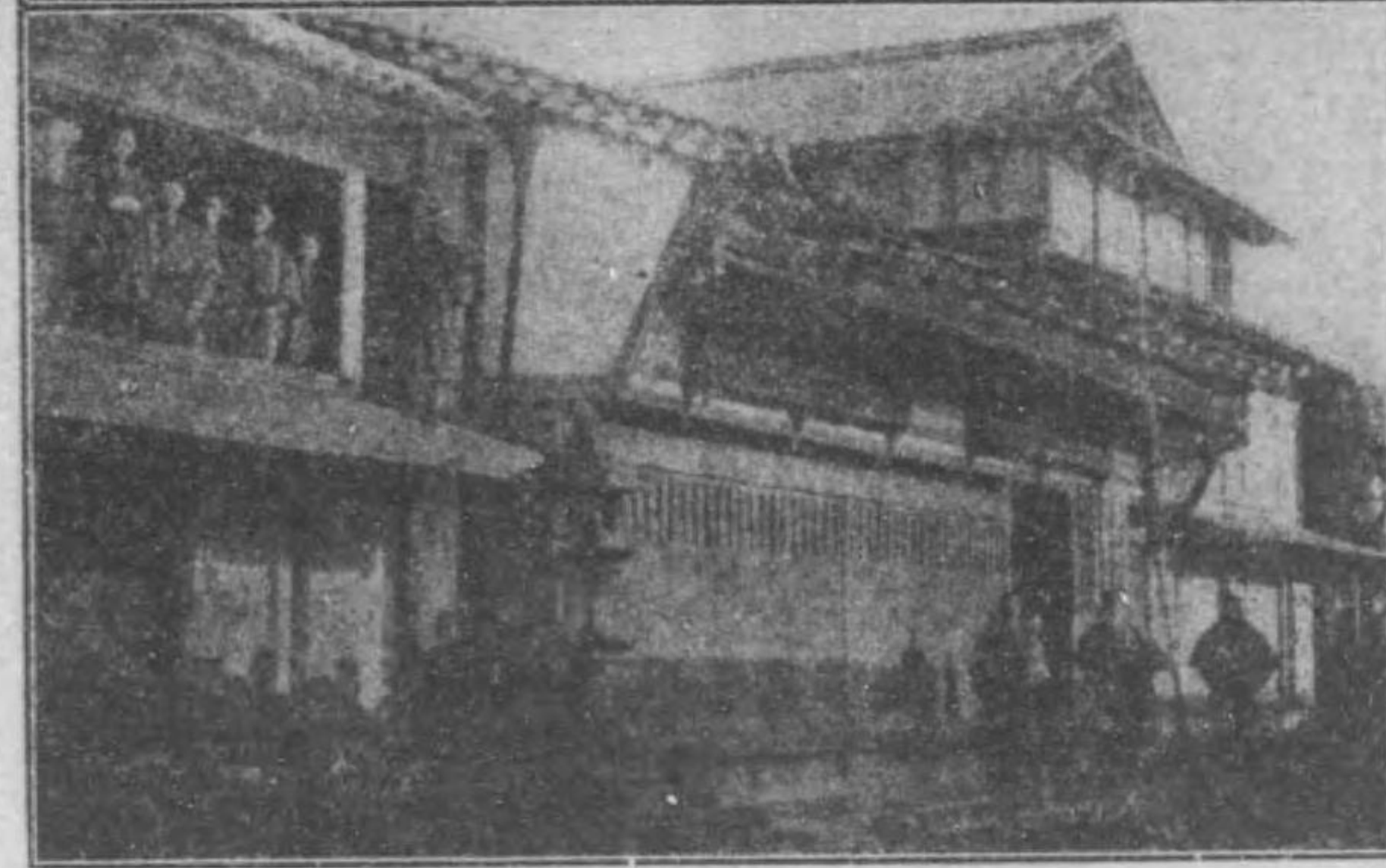
●本器ハ各地警察署ニテ防火器競争試驗都度優等賞ヲ受領ス

●本器ハ火急ニ臨ミ有効アリシノ禮狀既ニ如山之

五洲館主 上田庄藏肖像



五洲館蠶種部長 上田政一肖像



五洲館之景

●**風穴蠶種** 弊館製種は各種ともして玉蘭極めて少く養蠶家の収益最も多きは大に誇りとする所なり

種類 中巢(支那錦) 五大洲 改良玉無(銀白)

●**春蠶種** 又昔(五洲又)は普通の又昔と違ひ繭形長大飼育容易解舒良好なり

支那種(七號) 長形大巢にして一升の粒數

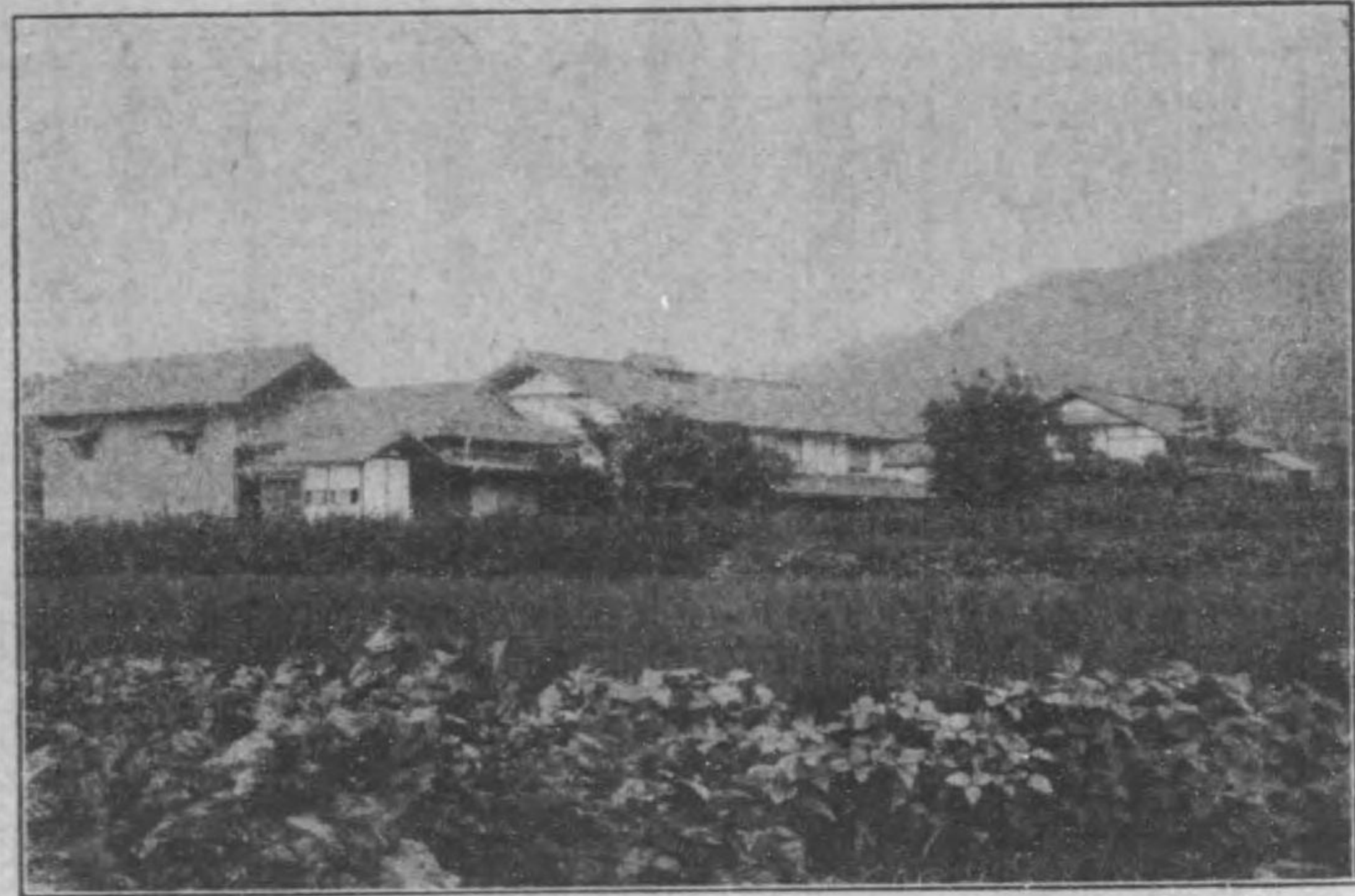
○**出穴** 夏、秋、晩秋は各期中隨意に何れにても飼育し得る便利あり

○**蠶種貯藏庫** 弊館は神坂御料を有し種々の試験に依り庫内の成績を大改良を加へ神坂風穴中最新の成績を得つゝあるは弊館自ら誇とする所なり勿論養生の良好なるは確く保証可仕蠶種の貯藏御託は極めて懇切に取扱可申候

岐阜縣風穴元祖 上田五洲館 創業明治四年

振替口座東京九番〇番 電話(ウ)又ハ(ウエタ)

(リの四)



依馬館本館事務室

創業明治十四年

●**種類** 五大洲 世界一
銀 白 中 巢

●**出穴** 五月十日ヨリ八月三十日迄
御好次第出穴直々ニ發送ス

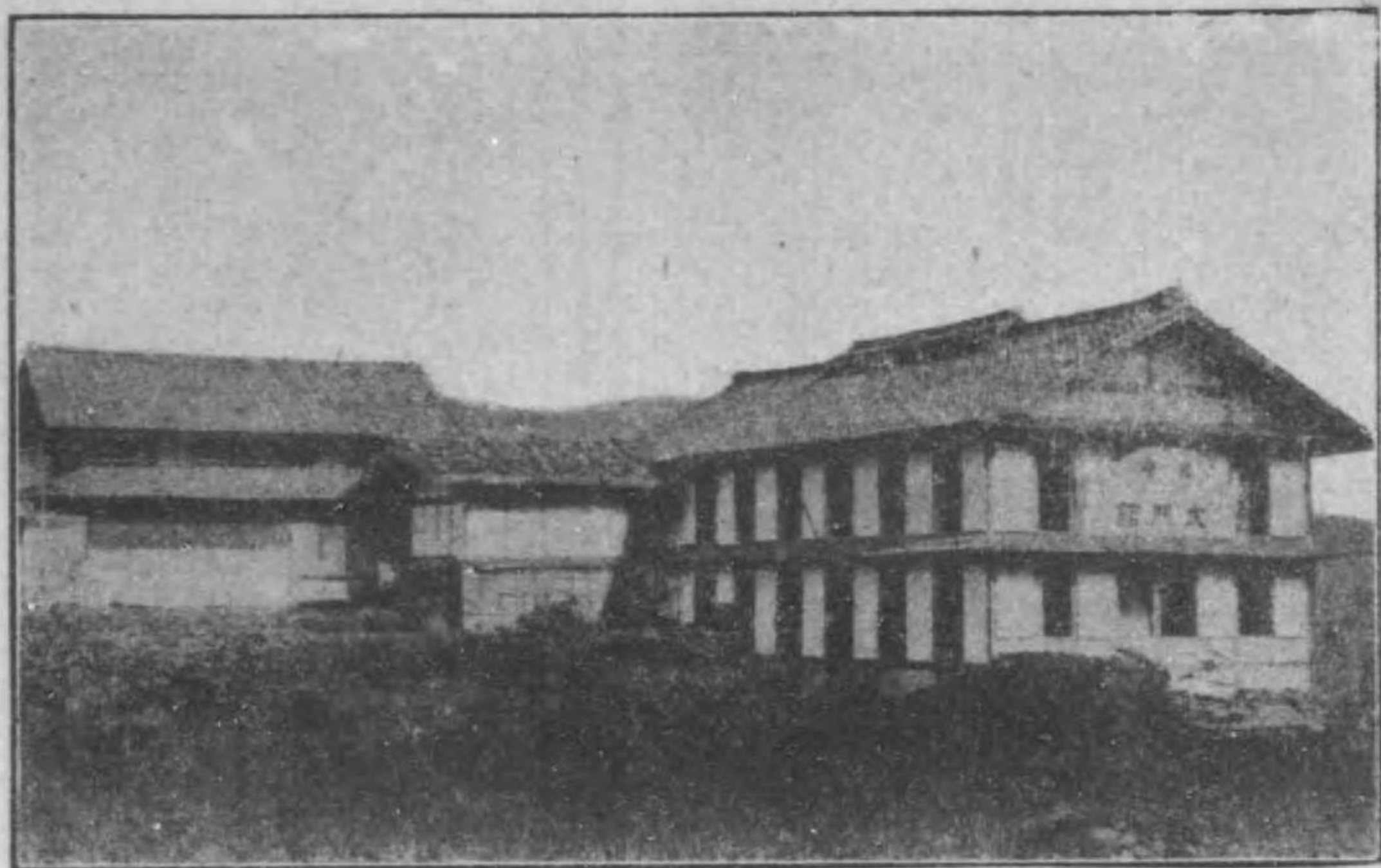
本館風穴蠶種製造ス、ルユト茲ニ三十有餘年ノ經驗ト趨勢ニ鑑ミ蟲質強健繭質絲質ノ善良ナル蠶種ヲ製造仕候間多少ニ不拘御用仰付被下度願上候

縣郡村農會 御用
産業組合
岐阜縣惠那郡東野村風穴蠶種製造元祖

依馬館 依馬源七郎

振替東京七番四四番
電信略號(エマ)

(リの五)



東濃坂下風穴蠶種製大造門館養蠶部事務室

春蠶種(三龍又、白龍、青熟)

秋蠶風穴種(金鷄龍、飛白、青熟、(長集)銀白)

○秋蠶風穴種ハ弊館所有ノ三坂風穴ニ貯藏シブルヲ以テ何時タリトモ隨時出穴ニ應ズ

○晚秋蠶ト雖モ發生不良ノ憂ナシ

岐阜縣惠那郡坂下町四五八

大門館原定次郎

振替東京一三〇二一
電信略號(ハラ)

(リの六)



清陽育蠶種販賣

本所は上武線樋口驛及び本野上驛より約十町内外なれば一度實況御視察の榮を賜らんとを乞ふ

又昔一升顆數 二四〇

青熟 二三四

白銀 二三五

伊達錦 二五五

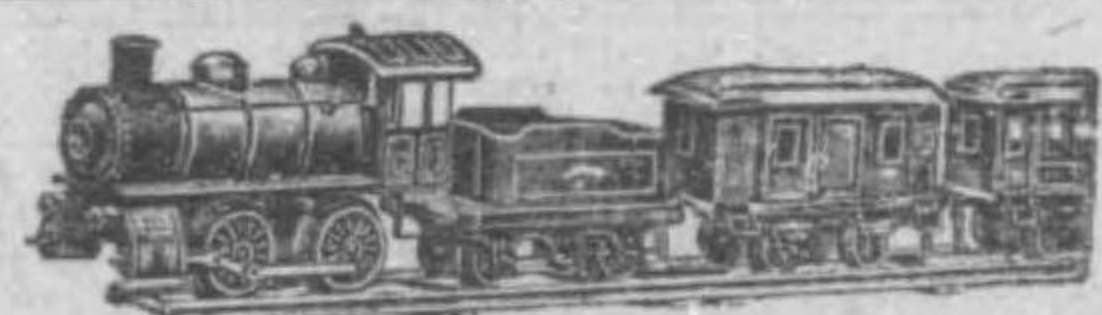
支那又 二四〇

秩父錦 二二〇

一升顆數 二二〇

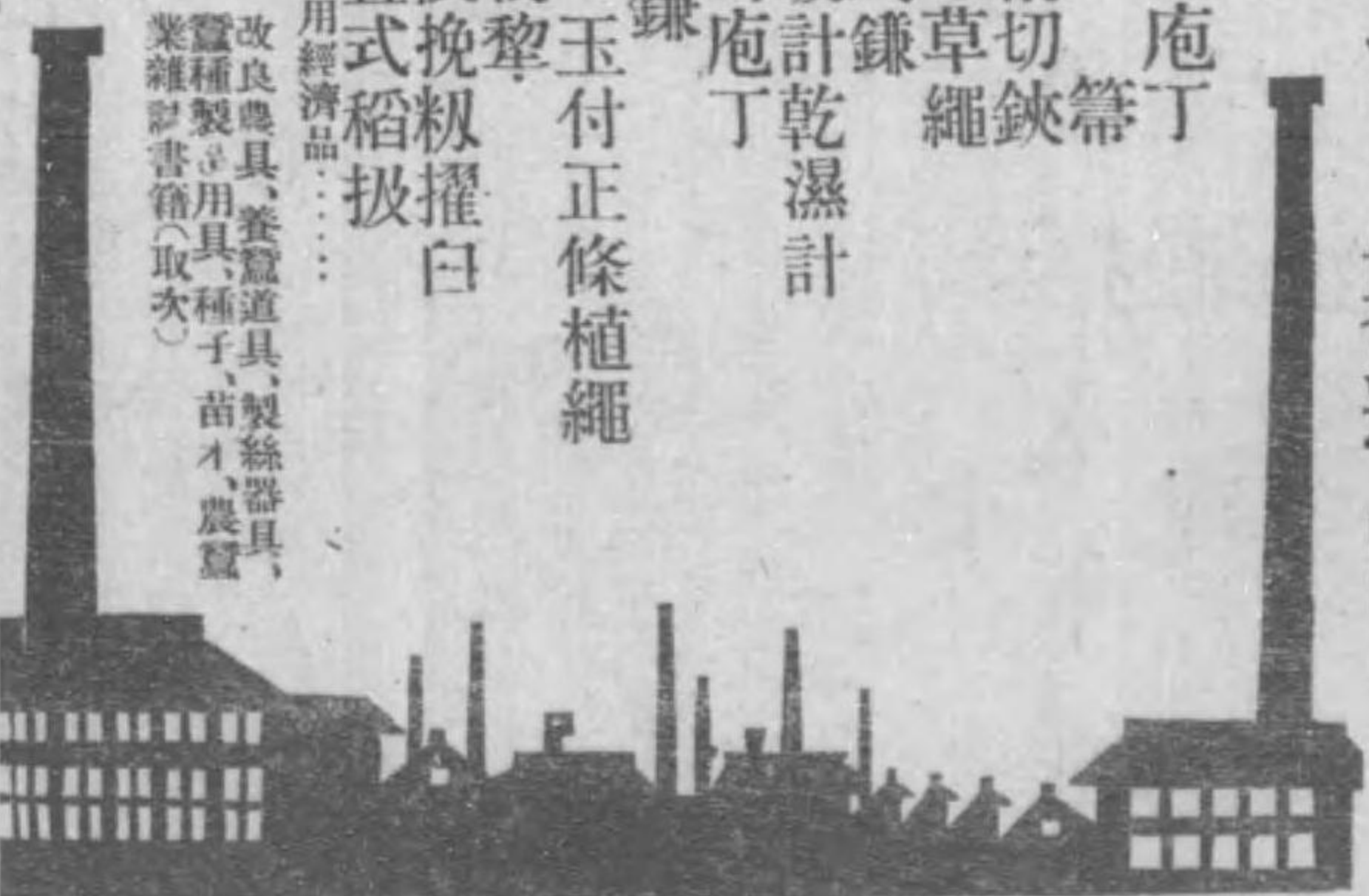
埼玉縣秩父郡樋口村 林養蠶傳習所 林才作 振替東京一三三三番

●業商 ●業工●



●主たる製造品目

- 桑切庖丁
- 羽切筵
- 桑梢切鋏
- 琉球草繩
- 寒刈鎌
- 寒暖計
- 菜乾濕計
- 鋸、鎌
- ス、玉付正條植繩
- 備後犁
- 千俵挽稲搥
- 折疊式稻搥
- 改良農具、養蠶道具、製絲器具、蠶種製具、用具、種子、苗、農蠶業雜書(取次)



西上商會福山支店 (當支店ハ福山郡下東北六丁ニ在リ) 山陽線備後福山吉津坂 振替口座大阪二〇〇九〇番 本店廣島縣比婆郡無原町 振替口座福岡一四三三番 特約望ノ方ハ申込アリタシ説明書進呈 (リの七)

內閣

宮城內

內閣總理大臣 海軍大將正二、山本權兵衛
 勳一、功、伯、勳、永田二、二、官舍

海軍大臣 海軍大將正三、齋藤 實
 勳一、功、男、齋藤、勳、霞ヶ關二、一、官舍

司法大臣 從二、勳一、松田 正久
 勳、四日比谷、一、官舍

內務大臣 從三、勳三原 敬
 勳、內山下、一、一、官舍

外務大臣 正三、勳一、男、牧野 伸顯
 勳、裏面ヶ關、一、官舍

農商務大臣 正四、勳二、山本 達雄
 勳、富士見、一、一、官舍

大藏大臣 正四、勳一、男、高橋 是清
 勳、永田、二、一、九官舍

文部大臣 從三、勳二、奧田 義人
 法學博士、勳、永田、一、一、九官舍

遞信大臣 正四、勳三元 田 肇
 京、木挽、八、七、官舍

陸軍大臣 陸軍中將正四、楠瀬 幸彦
 勳二、功、勳、永田、一、一、官舍

文部省

麹町區竹平町

大臣 從三、勳一、奧田 義人
 法學博士、勳、永田、一、一、九官舍

次官一等 從四、勳三、福原謙二郎
 牛、北、五

專門學務局
 局長 二等 五五、勳四、松浦鎮次郎
 督學官 三等(兼) 東京高等工 業學校教授 吉武榮之進
 三等(兼) 東京高等商業學 校教授法學博士 關 一
 三等五級 從五、勳六、丸山 環
 牛、赤城下、七、二

三等(兼) 東京帝國大學農科 大學教授農學博士 澤村 眞

屬
 三 久保 一郎 三 泉屋清次郎
 四 四 信忠 四 宇野 三郎
 四 四 高木 善行 四 大山幸太郎
 四 五 兒玉季八郎 五 上原 種美
 九 田中鶴之助 六 關屋 龍吉

東京帝國大學

本郷區元宮士

總長 一等二級 從三、勳二、山川健次郎
 理學博士

東京帝國大學農科大學

東京府荏原郡目黒村大字上目黒

長 教授農學博士古在 由直

教授
 一等三級 正四、勳二、理學博士石川千代松
 四、六番、二九

一等三級正四、勳三、理學博士佐々木忠次郎
 赤、青山南、六、二〇〇

一等二級 正四、勳二、法學博士和田垣謙三
 小、小日向、二、四

一等四級 正四、勳三、獸醫學博士勝島仙之介
 豐多、千駄ヶ谷、
 大字原宿、一七九

一等四級 從四、勳三、獸醫學博士須藤義衛門
 四、南伊、八

一等四級 從四、勳三、林學博士川瀬善太郎
 赤、青山南、六、九〇

二等四級 從四、勳三、農學博士橫井 時敬
 赤、青山南、六、二二

二等五級 從四、勳三、林學博士本多 靜六
 豐多、渋谷大字
 中渋谷四〇三

二等五級	從四、勳三、獸醫學博士 中 宏 豐多、澁谷、大字 中澁谷、七〇四	三等九級	從五、勳四原 照 農科大學構内官舎	四等六級	正六、農學博士 外山龜太郎 赤、青山、高橋一八
二等七級	正五、勳四、林學博士 河合錦太郎 豐多、千駄ヶ谷、大字 大字原宿一七六	三等九級	從五、勳六、農學博士 澤村 眞 豐多、千駄ヶ谷、大字 原宿一七〇、二一號	四等七級	正六、農學博士 高橋 偵造 本郷、駒込、三五六
二等(兼)	農事試験場技師 古在 由直 農學博士	三等九級	正五、勳六原 十太 牛、北三二	四等七級	從六山縣宇之吉 北郷、瀧野川、大字 字田端五二二
二等五級	正五、勳三、理學博士 岸上 謙吉 豐多、千駄ヶ谷、大字 二番、二九	三等八級	從五、勳六、農學博士 鈴木梅太郎 豐多、澁谷、大字 上澁谷一四一	四等七級	從六久保 健麿 農科大學構内官舎
二等八級	正五、勳五、農學博士 稻垣 乙丙 下目黒三四八	四等九級	正六岩住 良治 赤、青山、高橋、 一二、一四號	五等七級	從六、理學博士 草野 俊助 豐多、千駄ヶ谷、 大字原宿二〇一
二等七級	正五、勳四、獸醫學博士 津野慶太郎 芝、白金、今里、一四六	四等八級	正六、法學博士 矢作 榮藏 牛、東五軒、五四	五等七級	從六佐藤 寛次 牛、橋寺、四九
二等九級	正五、勳五、獸醫學博士 今井 吉平 豐多、千駄ヶ谷、 大字原宿一七一	四等九級	正六、農學博士 麻生慶次郎 中澁谷四〇〇	六等七級	正七、理學博士 三宅 曠一 赤、青山、南、六、八三
二等八級	正五、勳四、理學博士 白井光太郎 牛、新小川、二、二三	四等九級	正六、勳六諸戶 北郎 赤、青山、南、五、四八	六等八級	正七、湯川 又夫 農科大學構内官舎
二等九級	正五、勳五、農學博士 町田 咲吉 豐多、千駄ヶ谷、 大字原宿八九	四等九級	正六、勳六堀田 正逸 農科大學構内官舎	七等八級	從七川原勳次郎 千葉縣安房郡天津町
三等九級	從五、勳五、理學博士 池野成一郎 豐多、千駄ヶ谷、 大字原宿八九	四等六級	正六、勳六堀田 正逸 農科大學構内官舎	七等八級	從七島村 虎猪 豐多、澁谷、大字 青山北、七、二

五	野中 鼎五 從七宮澤 錦雄	助手	四 末三 六 門田 管	二等七級	正五、勳五、農學博士 橋本左五郎
六	江本 修 (月四三) 宮川八十八	書記(兼)	四 末三 六 門田 管	二等八級	從五、勳六、林學博士 新島 善直
(月四三)	宮崎 惠信 (月四三) 大澤竹次郎	○朝鮮江原道演習林	朝鮮江原道	二等七級	從五、勳六、理學博士 松村 松年
(月四三)	久保雷之助 七 從七脇谷洋次郎	○附屬農場	松村 繁榮	三等七級	從五、勳六、林學博士 小出 房吉
七	大橋 茂雄 七 伊藤 秀雄	○附屬農業教員養成所	松村 繁榮	三等七級	從五、勳六、理學博士 高岡 熊雄
七	松田 秀雄 七 荒木 文助	長	教授原 照	三等八級	從五、法學博士 高岡 熊雄
七	小野 寛 (月三七) 野澤 隆	○附屬農場	教授原 照	三等八級	從五、理學博士 八田 三郎
(月三一)	菊池 良樹 (月三一) 大塚 孫市	○附屬農場	教授原 照	三等八級	從五、理學博士 八田 三郎
九	林 義雄 九 高洲 俊介	○附屬農場	教授原 照	三等八級	從五、理學博士 八田 三郎
九	高橋 隆三 九 宮下 保雄	○附屬農場	教授原 照	三等八級	從五、理學博士 八田 三郎
九	横森千代三郎 十一 紺野 新一	○附屬農場	教授原 照	三等八級	從五、理學博士 八田 三郎
書記	一從六、勳六堀 忠壽 三從七、勳八喜多山末治	○附屬農場	教授原 照	三等八級	從五、理學博士 八田 三郎
四	四正八、勳七菅谷 金之四 正八、勳八里茂三	○附屬農場	教授原 照	三等八級	從五、理學博士 八田 三郎
四	山村 鍋吉 (月三七) 松本辰次郎	○附屬農場	教授原 照	三等八級	從五、理學博士 八田 三郎
(月三一)	小澤紋三郎	○附屬農場	教授原 照	三等八級	從五、理學博士 八田 三郎
○附屬演習林	教授林學博士 川瀬善太郎	○附屬農場	教授原 照	三等八級	從五、理學博士 八田 三郎
○千葉演習林	千葉縣安房郡天津町	○附屬農場	教授原 照	三等八級	從五、理學博士 八田 三郎
○北海道演習林	石狩國空知郡	○附屬農場	教授原 照	三等八級	從五、理學博士 八田 三郎
○臺灣演習林	臺南府南投廳沙連堡	○附屬農場	教授原 照	三等八級	從五、理學博士 八田 三郎

五等六級(俸給三分ノ一) 從六半澤 洵
 (外國留學中)
 五等六級(俸給三分ノ一) 從六東海林力藏
 (外國留學中)
 五等六級 從六加藤 泰治
 五等五級 正七三宅 康次
 五等六級 正七宮井 健吉
 六等六級 伊藤 誠哉
 六等(兼) 大學豫科教授武原 熊吉
 六等(兼) 土木工學科教授根來 簡二
 六等七級 陸軍步兵少尉正七內山 幸三
 六等七級 正七里 正義
 六等七級 陸軍步兵少尉正七田中 義麿
 六等七級 正七田所哲太郎
 七等(無給) 從七高松 正信
 (外國留學中)
 七等(兼) 水産學科教授下斗米秀三
 從七三浦慶太郎
 從七中島 九郎
 從七森岡 勇
 從七影山 純介
 助手

三正七、勳七鈴木 武良 四 勳八上田半二郎
 四 久慈 市太(兼) 書記村田庄次郎
 五 陸軍步兵 周造 六 金田一金太郎
 七 井口 賢三 七 渡邊彌三太郎
 七 小熊 捍 七 吉田 武郎
 七 德田 義信 七 上原權三郎
 七 遠藤 幸吉 七 富本 豊
 八 陸軍重兵 伊藤正直 八 佐藤勝四郎
 八 少尉正八 近藤 金吾 八 陸軍步兵 高田榮五郎
 八 陸軍重兵 谷水勇造 八 少尉正八 小川和三四郎
 九 陸軍步兵 落合 浩 九 西田 彰三
 九 兵曹大國 督 十 大澤 一
 書記
 (兼) 助手鈴木 武良 三 工藤 直方
 三 勳七津田 竹馬 四 小川忠之助
 五 正八、勳八村田庄次郎 五 木村大之進
 五 小野岡 貞敏(兼) 大學豫科 田中 稔
 六 正八、勳八鴨澤 恒義 九 佐藤 勇太
 九 岡村 信雄 十 齋藤 潔

○附屬演習林 教授林學博士小出 房吉
 長
 大學豫科教授 從五渡邊又次郎
 三等四級 從五三田村孝吉
 三等六級 從五青葉 萬六
 三等七級 正六高杉榮次郎
 四等六級 陸軍步兵少尉正六有島 武郎
 四等七級 正六、勳五大井上義近
 五等八級 從七鈴木庄治部
 五等九級 從六吹田 順助
 六等八級 從六池田 嘉吉
 六等八級 正七武原 熊吉
 七等八級 正七玄地 誠輔
 七等八級 正七木村 勇
 六等十級 正七近藤 清作
 六等十級 正七佐久間政一
 大學豫科助教授 正五、勳六坂岡末太郎
 (兼) 書記小川忠之助 六 田中 稔
 土木工學科教授 正五、勳六坂岡末太郎
 三等四級

四等七級 正六西田辰三郎
 六等八級 陸軍步兵少尉正七根來 簡二
 七等十一級 從七中原藤一郎
 水産學科教授
 三等五級 正五、勳五野澤俊次郎
 三等三級 正五、勳六藤田 經信
 三等六級 從五鳥田 嶺男
 四等六級(俸給三分ノ一) 正六、理學博士遠藤吉三郎
 (外國留學中)
 四等六級 正六、勳五佐々 茂雄
 五等八級 從六鈴木 寧
 六等十級 正七高橋 榮治
 六等十級 正七佐々木 望
 七等(無給) 從七下斗米秀三
 (外國留學中)
 水産學科助教授
 五 陸軍步兵 赤塚 孝三 六 正田 豊治
 八 少尉正八 熊澤 捨次 八 田中清三郎
 八 野島 休五 九 陸軍工兵 井野 二郎
 九 小久保清治 九 宇井 文兒

盛岡高等農林學校專任職員定員
 明治三十五年三月勅令第九十九號
 校長 一 助教授 一
 教授 一七 書記 一
 校長 正五、勳五佐藤 義長
 二等三級
 教授 校長佐藤 義長
 三等(兼) 從五山田玄太郎
 三等(年四〇〇) (外國留學中)
 卅等六級 陸軍步兵少尉從五石丸 文雄
 三等七級 從五關 豐太郎
 三等七級 從五中村 鼎
 三等六級 陸軍一等獸醫、從五、可兒 岩吉
 四等(兼) 東京帝國大學農科 大學教授農學博士鈴木梅太郎
 四等七級 正六八鐵儀七郎
 五等七級 生徒監陸軍砲兵中尉 上村 勝爾
 六等(年三〇〇) 正七植村恆三郎
 六等九級 正七村松 舜祐
 六等九級 生徒監正七島本愛之助
 六等九級 正七松岡 忠一

鹿兒島高等農林學校
 鹿兒島市上荒田町
 鹿兒島高等農林學校專任職員定員
 明治三十五年三月勅令第九十九號
 校長 一 助教授 一
 教授 一四 書記 一
 校長 正七柘植 六郎
 六等十級 生徒監從七松井 謙吉
 六等十一級 從七溝口幸七郎
 七等十一級 從七大杉 繁
 七等十一級 從七玉置 邁
 七等十一級 從七三宅 隆人
 助教授 正八橫川 隆太
 三 陸軍工兵中尉從七、勳六 村井 善八
 四 三浦第二郎 五 門前 弘多
 五 小四 要六 小泉多三郎
 八 菊池賢次郎 九 勳八笠原清太郎
 書記 四 正七、勳六一戸 武雄 六 杉村 孝治
 九 陸軍步兵中尉從七、勳六澤田 兼三 千葉 常樹
 十 (月二八) 陸軍步兵中尉從七、勳六澤田 兼三 勳七太田千五郎

校長 正四、勳三、農學博士玉利 喜造

教授

- 三、六級 生徒監從五、勳六重松達一郎
- 四、八級 生徒監正六淵野 旭子
- 四、七級 正六吉村 清尚
- 五、七級 陸軍砲兵中尉 岡島 銀次
- 五、七級 從六、勳六、岡島 銀次
- 五、七級 從六伊豆 直吉
- 六、九級 陸軍歩兵軍曹 萬年 信吉
- 六、九級 正七、勳六
- 六、八級 正七竹内徳三郎
- 六、十級 正七河越 重紀
- 六、十級 陸軍歩兵中尉川島 明八
- 六、十級 正七、勳六
- 六、十級 正七谷口熊之助
- 六、十級 正七米山 豊
- 七、十級 陸軍歩兵 少尉從七草野 嶽男 (外國留學中)
- 七、十級 從七橫山 三穂

助教

- 五 金井 眞澄 五 西 力造
- 五 仁田 利助 五 陸軍歩兵八庵原真介
- 五 安齋 眞

(無給) (支那政府應聘中) 木原 金一 河邊 仲藤

書記

- 四 井口虎次郎 八 新穂 新吉
- 十 陸軍歩兵曹染川 亨 十一 岡本 耀

上田蠶糸専門學校

長野縣小縣郡上田町

明治三十五年三月 勅令第九十九號

校長 一人 助教 一人

教授 二人 書記 五人

校長 從五、勳六針塚長太郎

教授

- 三、等(兼) 長野縣技師三吉 米熊
- 三、等五級 從五、農學博士大森 順造
- 六、等八級 正七阿部 輝司
- 六、等七級 正七朝比奈晃十
- 六、等九級 生徒監、正七新樂 金橋
- 六、等九級 正七筑地 宜雄
- 六、等九級 正七三谷 徹

七等(年三〇〇) 從七勝水 喜董 (外國留學中)

七等(年二四〇) 從七大瀧照太郎 (外國留學中)

- 七、九級 從七和田仙太郎
- 七、十級 從七川瀬惣次郎
- 七、十級 從七右倉新十郎

助教

- 五 永井壽一郎 六 平本常三郎
- 七 下田 穰
- 八 池田松太郎 七 新島 藤作
- 八 勳七小澤 綱吉

東京蠶業講習所

東京府北豊島郡瀧野川村大字四ヶ原

技師 三、等二級 正五、勳五本多岩次郎

所長 三、等五級 陸軍二等主計 辻 暢太郎

從五、勳五 農事試驗場技師上田榮次郎

試驗部長、正六林 彈作

正六中村雅次郎

五等六級 生徒監、從六土屋 泰

五等(兼) 農商務技師明石 弘

五等八級 生徒監、從六町田 穰

六等(兼) 原蠶種製造所技師森 繁太郎

七等(兼) 荒木 武雄

七等(兼) 原蠶種製造所技師松下憲三郎

七等十一級 從七鈴木 英亮

八等十一級 正八小松 豊作

八等十二級 正八岩淵 平介

技手

- 四 坪井 啓作 五 安東 誠
- 六 陸軍歩兵中尉 齋新八郎 七 三室戸善光
- 六 從七、勳五功 波多野岩吉 七 岡戸 一榮
- 九 丹羽 四郎 九 小田中染十郎
- 四 勳六戀田 六造 九 山口角之丞
- 九 中野 信正

書記

京都蠶業講習所 京都府葛野郡衣笠村大字大將軍

技師 從五、勳六川島勝次郎

所長 三、等五級

三、等(兼) 辻 暢太郎

四、等六級 正六石川準太郎

六、等十級 生徒監、正七荒木 武雄

六、等十級 生徒監、正七秦 專章

七等十一級 從七鈴木五右衛門

八等十一級 正八田邊傳太郎

技手

- 六 水野鶴次郎 六 藤岡 秀次
- 八 和田傳太郎 八 石原權三郎
- 九 三浦英大郎 九 高橋 公正
- 二 從七、勳八新井頼暉 四 成瀬松之助
- 五 友成勇三郎 七 阿部 謙吉

農商務省

京橋區木挽町
十丁目

大臣

正四、勳二山本 達雄
勳、富士見、一、官舎

次官

文部普通懲戒、委員長、正四、勳三、橋本圭三郎
赤、青山南、六、七、六

農務局

局長二等

正四、勳二道家 齋
勳、中六番、二〇

農政課長書記官三松 武夫
書記官石黒 忠篤

技師

生絲検査所技師紫 藤 章
三等(兼) 主馬寮技師新山 莊輔

三等(兼)

農事試験場技師恩田 鐵彌
耕種整理課長 月田藤三郎

三等一級

從五、勳四 赤、青山南、六、一、三五

二等三級

農産課長、正五、勳四伊藤 梯藏
在、入新井、大字、新井、宿、字、御伊勢原、二、一、四、二

三等(兼)

原蠶種製造所技師加賀山辰四郎

三等三級

蠶絲課長陸軍歩兵 芳資權四郎
中尉正五、勳四 牛、白銀、二、九

三等三級

畜産課長從五、勳四湯地 彦二
赤、青山北、二、三八

三等四級

從五、勳五有働 良夫
小、白山前、一

三等四級

從五、勳五佐藤 清明
赤、青山北、四、五一

三等(兼)

特許局技師押田 翼

三等(兼)

兵庫縣技師小野孫三郎

四等(兼)

東京帝國大學 岩住 良治
農科大學教授

四等(兼)

神奈川縣港務監督佐藤悠次郎
農事試験場技師米丸忠太郎

四等(兼)

神奈川縣技師本間啓太郎

四等七級

正六片岡 謙
赤、青山南、五、三三

五等(兼)

從六石崎 芳吉
農多、澁谷、大字、中、澁谷、月、寒種畜牧場澁谷分場官舎

五等九級

獸疫調査所長心得正七石田百太郎
北豐、澁野川、大字、四、夕原獸疫調査所官舎

六等(兼)

農事試験場技師桑名伊之吉

六等九級

從七鹽谷清多郎
赤、青山南、六、八、三

七等十一級

從七森 肆郎
農多、澁谷、大字、下、澁谷、六、一、四

屬

岡田芳之介 三 枝 正八

四

世良 隆 四 齋藤 竹松

四

大橋高四郎 六 神崎 常一

技師

字野 家治 二 小林傳四郎

二

藤卷 雪生 (兼)種畜牧川島 一郎
種畜技師

三

永井 環 四 高橋不二夫

四

近藤 正一 (兼)種畜牧松川 潔
種畜技師

五

奧田 金松 五 小池新太郎

(兼)神奈川土生津勳吉

(兼)兵庫縣 町田 貞一

技師

正七副島 千八
小、白山前、一

五等七級

從六明石 弘
小、林、九、四

五等七級

陸軍歩兵中尉從 木下彌八郎
六、勳五、功五 本郷 齋、三〇

屬

一 惠 登代堂 五 勳七山本 吉之

技師

四 矢儀 平一 四 外山 親三
四 飯岡 清雄 五 太田兵太郎
五 服部宇左衛門 五 伊藤 靜榮

技師

原蠶種製造所 東京府下豊多摩郡中野町

技師

所長三等二級 陸軍歩兵小尉 加賀山辰四郎
正五、勳四 正五、勳五、農學博士石渡 繁胤
五等(兼) 東京帝國大學 農科大學教授 外山龜太郎
六等十級 正七本多 實芳
七等十級 從七森 繁太郎
七等十一級 從七松下憲三郎
七等十一級 從七工藤六三郎

技師

四 菊地 助松 五 勳六齋藤吉五郎
六 渡邊 勳次 六 千賀崎義香
六 平塚 英吉 六 高橋 重吉

技師

六 加藤 由松 六 佐藤 達也
六 片山 越夫 六 甘利 達一
六 山内 爲壽 六 田中 八郎
六 角館喜一郎 六 鈴木簡一郎
七 新井 健作 七 佐々木鈴一
八 大庫後三郎 八 大澤 孝三
九 齋藤 俊治 九 金井 重愛
十 安川 通一

書記

二 農務課長丸山徳三郎
四 福井 鼎治 五 高木 虎尾
士 瀨川啓太郎 京都府何鹿郡綾部町

技師

綾部支所 京師三等五級

所長

從五、勳六高島 容孝
從七下井 盛夫

技師

六 武 政吉 七 芳賀 善
九 大竹 壬三

書記

八 陸軍歩兵少尉正八、勳六南部 彰義
前橋支所 前橋 市

技師

技師五等九級

所長

陸軍歩兵少尉從六肥後 俊彦
七等十二級 正八竹内與三郎

技師

津久井和造 六 立川 仲藏
赤間新太郎 大島 英雄

書記

福島支所 福島 市

技師

五等八等 從七辻 保太郎

所長

從七河西 大彌

技師

七 福田 衷三 八 大内 安彦
八 三矢 與六 坂本 右

書記

松本支所 松本市

技師

四等六級 正六十時雄次郎

所長

正七横田長太郎

技師

六等八級 高橋伊勢次郎 六 鈴木 廣吉

技師

五等七級

書記 加藤和一郎 九 加藤 新平
 五 小田切昌行 十一 久保田佐輔
 一宮支所 愛知縣中島郡一宮町
 技手九 齋藤 久之
 書記六 勳七小林 久市
 熊本支所 熊本縣飽託郡健軍村
 技手六 松本 俊造
 書記九 有働 信義

生絲検査所

横濱市本町一丁目

技師 正五、勳四紫藤 章
 三等一級 品位部長兼調査今直次郎
 所長 部長正五、勳五 正最部長從六山町 營助
 三等二級 正七増田 由之
 五等八級 正七稻生 文作
 五等九級 從七北尾 富烈
 七等十一級
 技手 藤本 實也 四 是技 榮造

七 佐久間保久太郎 七 喜多山松之助
 七 平林與喜多 七 服部八三郎
 七 長谷川光彦 八 齋藤幸次郎
 八 石黒 廣 九 吉田 常太
 十 古田 源一

中央種繭審査會

農商務省內

會長 委員道 家 齊
 副會長 委員紫藤 章
 委員 東京帝國大學農科 佐々木忠次郎
 學教授理學博士 上田蠶絲專門學 順造
 校教授農學博士 農商務省農務局長 家 齊
 農商務技師芳賀權四郎
 蠶業講習所技師本多岩次郎
 蠶業講習所技師川島勝次郎
 原蠶種製造所技師加賀山辰四郎
 生絲検査所技師紫藤 章
 今井 五介

幹事

農商務技師鹽谷清多郎

書記 農商務技師齋藤 竹松 農商務技師水井 環
 農商務技師太田兵太郎

朝鮮總督府

京畿道京城

總督 軍事參事官陸軍大將 寺內 正毅
 從二、勳一功一伯

政務總監 文官普通級或委員長 朝鮮貴族ニ關スル審査委員李王、職員 山縣伊三郎
 懲戒委員從三、勳一

農商工部

長官 一等一級 從三、勳一石塚 英藏

農林局
 農務課
 技師 二等三級

課長 正五、勳四中村 彦
 書記官 五等五級 從六生田清三郎
 技師 五等四級 陸軍三等獸醫 原島善之助
 正從六、勳五 正七八尋 生男
 六等七級 正七三井 榮長
 六等八級 正七池田泰治郎
 試補(年六〇〇) 勳八本岡榮次郎

屬 一正七、勳七三田清三郎 二 勳七清水 常吉
 三 安河内武十郎 三 勳八山根 清一
 四 青木作太郎 五 山崎 駿二
 (兼)總督府 最所勝三郎 六 李 寅華
 (兼)技手

技手 (兼) 府屬 三田清三郎 四 貴島 一
 四 福岡榮太郎 五 林 源之助
 五 日野田耕太 五 三田伊三郎
 五 最所勝三郎 (兼) 總督府 府屬 李 寅華
 七 勳八魚井直三郎

勸業模範場

京畿道水原

朝鮮總督府勸業模範場官制 明治四十年九月
 技師 二、一等一級 從四、勳三、農學博士 本田 幸介
 場長 三等二級 正五、勳四鏡 保之助
 三等六級 從五、勳五武田總七郎
 (兼) 龍山支場長宮原 忠正
 三等三級 從五、勳五向坂幾三郎
 五等(兼) 道技師高見 長恆
 六等(兼) 農林學校教諭野木 傳三
 七等九級 從七菊池 爲行

書記 二從七勳八山本 尙那 六 三宅 政太
 八 清水 恆壽

技手

三 勳七長岡 三五 岩崎 行高
 五 中田覺五郎 五 福田 文六
 六 水上 恆藏 七 三浦 啓明
 七 細川 段徳

大邸支場

支場長 正六、勳六岸 秀 次
 書記七 陸軍三等主計正八、 柳 準藏
 技手 山崎森三郎 五 名倉 勝
 六 岸真小次郎

平壤支場

技師 三等四級 從五、勳五三宅 鏗吉
 支場長 德永 隣

龍山支場

技師 三等三級 片平 幸得 十 三井 正藏
 支場長 陸軍步兵中尉 宮原 忠正
 從五、勳四

六等七級 女干蠶業講習所長正七岩田 次郎

書記四 勤七中村 爽

技師 鄭 宇相 (兼) 總督府 三田伊出郎

六 住吉 正喜

○木浦支場

道技師山本小源太 伊原 新三

技師 四等(兼) 支場長 七等十一級

○森島支場 技師五等六級

支場長 從六久次米邦藏 河野 堯齊

書記九

技師 松島 龍藏 十 中津 久郎

五 松田 敏勝

○元山出張所 小森園清治

技師五

朝鮮總督府農林學校 勤業模範場 本田 幸介

校長 長農學博士

教諭

四等(兼) 勤業模範場技師武田總七郎

四等(兼) 勤業模範場技師宮原 忠正

四等(兼) 勤業模範場技師坂幾三郎

六等六級 正七野木 傳三

七等八級 從七西村 貞良

七等八級 從七東野 稔

七等八級 從七植木 秀幹

助教授 勤業模範場長岡哲三 四 尹 泰 重

五 勤業模範場技師 計 興 龍 六 松田彦三郎

書記九 陸軍歩兵少尉正八濱地 美輔

臺灣總督府

臺北廳大加納堡 臺北西門街

總督 陸軍大將 佐久馬左馬太 正二勳一伯 臺北新北門街三丁目官邸

民政長官 文官普通懲戒委員長 內田 嘉吉 臺北石防街三丁目官邸

○殖産局

局長二等一級 正五、勳四高田元治郎 臺北城南街四丁目官舎

○庶務課 林野調査課勤務田坂 千助 農務課勤務本山 文平

課長(兼) 屬 二 石橋 徳吉 (兼) 糖務課 佐藤得太郎

三 勳七三村 敏彦 (兼) 農務課 菊池 武芳

(兼) 糖務課 飯塚 祇吉 (月二二) 寺尾 芳男

○農務課 技師四等三級 正六小川 運平 臺北南新街一丁目官舎

課長 農工課長立川 連 從七本山 文平 臺北龍口庄第一番戸

事務官 (兼) 七等十級 從五、勳五長崎 常 臺北書院街五丁目官舎

技師 三等三級

三等二級 從五、勳五藤根 吉春 臺北廳大加納堡 頂上埔庄官舎

三等(兼) 臺北廳技師堀内 政一 正六川上 龍彌 臺北南新街一丁目官舎

四等三級 從六安達健三郎 臺北龍口街四丁目三十三番戸

五等六級 農事試驗場技師井街 顯 從六東郷 實 臺北龍口街四丁目十二番戸

五等七級 從六岡田 寛治 臺北東門街二丁目官舎

五等七級 從六芳賀鐵五郎 臺北廳下士林園 農事試驗場官舎

五等(兼) 農事試驗場技師素木 得一 正七山田 秀雄 臺北東門街二丁目官舎

六等七級 農事試驗場技師鈴木 眞吉

六等(兼) 酒井 隆次 五 勳七岡 教之助 菊池 武芳 (月三) 勳七小沼謙次郎

四 屬

五

技師

四 勳七鳩野 正雄 五 陸軍歩兵少尉 八島田 彌市 山本 博翠

(兼) 農事試驗場技師新渡戸 稻雄 農事試驗場技師山田 柏探

(兼) 陸軍輜重歩兵少尉正八、勳六中野 八郎 宮極 健

(月三五) 農事試驗所 殖産局長高田元治郎 臺北廳大加納 內頂埔庄

場長(兼) 技師(兼) 總督府技師藤根 吉春

主事 從六井街 顯 臺北廳大加納 頂上埔庄官舎

○種藝部 技師五等五級

部長 從六井街 顯

技師 五 磯 永吉 六 陸軍歩兵少尉 田勝次郎 六 勳八増田 朋來 (月三五) 島田 健藏

六 (月三三) 勳八平間惣三郎 (月三三) 松田 八平 (月三〇) 月原 徳逸 (月二五) 安倍 輝吉

○農藝化學部

技師 六等六級 陸軍歩兵少尉正七鈴木 眞吉 臺北廳大加納堡 頂上埔庄官舎

部長 陸軍歩兵少尉正七鈴木 眞吉 臺北廳大加納堡 頂上埔庄官舎

技師 六等八級 臺北廳技師堀内 政一 正七澁谷紀三郎 臺北府後街三丁目官舎

技師 四 奧村首三郎 七 尾方 保見 (兼) 種藝部 月原 徳逸

○昆蟲部 技師五等七級 從六素木 得一 臺北廳大加納堡 頂上埔庄官舎

部長 從六素木 得一 臺北廳大加納堡 頂上埔庄官舎

技師 五 新渡戸 稻雄 五 牧 茂市郎

○植物病理部 技師四等(兼) 總督府技師川上 龍彌

部長 澤田 録吉 (月二五) 藤黒與三郎

技師 七 畜産部

技師

東京府

東京市麹町區
有樂町二丁目

知事 正四、勳二宗 像 政

內務部長 正五、勳四平田 武二

理事官 農商課長

六等(年一三〇〇) 正七、勳八久保義三郎

官職名 取扱事務 俸給 氏名

東京府技師 養蠶、技師

東京府農技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

東京府蠶業技師 養蠶、技師

京都府

京都市上京區下
立賣通釜座東入

知事 正三、勳一大森 鍾一

內務部長 三等級從五、勳五塚本 清治

理事官 農務課長

六等六級 正七、勳六香川 靜一

官職名 取扱事務 俸給 氏名

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

京都府 養蠶、技師

大阪府

大阪市西區江
ノ子島上ノ町

知事 正四、勳二大久保利武

內務部長 三等級從五、勳五七岐 嘉平

理事官 農商課長

六等五級 正五、勳六脇本 米司

官職名 取扱事務 俸給 氏名

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

大阪府 養蠶、技師

神奈川縣

横浜市本町
一丁目

知事 正四、勳二大島久滿次

內務部長 三等級從五、勳五中川 望

理事官 勸業課長

七等(兼) 從七北島 保治

官職名 取扱事務 俸給 氏名

神奈川縣 養蠶、技師

神奈川縣 養蠶、技師

神奈川縣 養蠶、技師

神奈川縣 養蠶、技師

神奈川縣 養蠶、技師

神奈川縣 養蠶、技師

神奈川縣 養蠶、技師

神奈川縣 養蠶、技師

神奈川縣 養蠶、技師

神奈川縣 養蠶、技師

神奈川縣 養蠶、技師

蠶業取締所

神奈川縣技師松下 儀一
所長(月一〇)
神奈川縣技師原 信
所長(月四五)

農事試驗場

農事試驗場

農事試驗場

農事試驗場

農事試驗場

農事試驗場

農事試驗場

農事試驗場

農事試驗場

農事試驗場

原蠶種製造所 高座郡藤澤町
所長 神奈川縣技師本間啓太郎
農業者 神奈川縣技師小野 正雄
(年九〇〇) 露木 清司
(年七〇〇) 增井 芳男 (月三)書記八木 武藏
(月五〇) 五十嵐冬野(月一)縣技師松下 儀一
(月二五) 神奈川縣技師手島島庄之助
(兼) 衣笠 新吾
書記(月一五)

津久井 蠶業學校 津久井郡 三ヶ木村
津久井郡 兼教諭徒七山口 三吉
學校長十一 (兼任待遇)
教諭 兼會監(加俸月一、二五)坂牛 隆造
兼會監(加俸月一、二五)春日 代治
曾根 寸吉

兵庫縣

神戸市下山手通 四丁目

知事 正三、勳一服部 一二三

内務部長 三、勳五小島源二 一郎
目番外一番邸官舎

技師農務課長 從五、勳四小野孫三 二郎
神戸市奥平野村四 十一番屋敷ノ一

官職名 取扱事務 俸給 氏 名

農業者 製絲回 (一、〇〇)丹羽寛次郎

兼會監(兼)前原 熊平

兼會監(兼)水田 勝二郎

兼會監(兼)井上 孝三

兼會監(兼)和重吉 六

兼會監(兼)絹卷 全藏

六 陸軍歩兵少尉正八、勳六、功五和多田清三

七 技師橋本松太郎 八 吉田 晴二

八 兼井 積次 (月二二) 岡本恆太郎

九 瀧田貞三郎

十 瀧水谷 源 (月二七) 柳生 肇吉

十一 兼會監(兼)濱 辨三

十二 兼會監(兼)野口 一治

十三 兼會監(兼)山 景喜

十四 兼會監(兼)橋本 景吉

十五 兼會監(兼)谷岡 琢三

蠶業學校

養父郡八鹿町

學校長十 兼教諭徒七西谷 忠雄

(兼任待遇)

教諭 兼會監(兼)古屋 永昌

兼會監(兼)純一 八 (兼)本郷善治郎

兼會監(兼)山住 信九 九 兼會監(兼)高橋 義輝

兼會監(兼)山田 謙一

兼會監(兼)今井 虎藏 十 助教諭 長谷川政夫

兼會監(兼)心得

兼會監(兼)今井 虎藏 十 助教諭 長谷川政夫

兼會監(兼)心得

兼會監(兼)今井 虎藏 十 助教諭 長谷川政夫

兼會監(兼)心得

兼會監(兼)今井 虎藏 十 助教諭 長谷川政夫

兼會監(兼)心得

兼會監(兼)今井 虎藏 十 助教諭 長谷川政夫

兼會監(兼)心得

兼會監(兼)今井 虎藏 十 助教諭 長谷川政夫

學校長(手當年五〇) 山崎 一 郎

佐用 郡立農蠶學校 佐用村

學校長十一(當分年六六〇) 兼教諭宮本 泉學

(兼任待遇) 兼教諭徒七山口 三吉

教諭 兼會監(兼)安藤 秋男 十 兼會監(兼)下中 吉藏

學校長(手當年一二) 松本 唯雄

知事 長崎縣 長崎市外浦町

内務部長四等、一級 從四、勳二李家 隆介

理事官農林課長 七等九級從七中島 萬平

官職名 取扱事務 俸給 氏 名

農業者 兼會監(兼)德山 能孝

兼會監(兼)原 隆造

兼會監(兼)原 隆造

兼會監(兼)原 隆造

兼會監(兼)原 隆造

兼會監(兼)原 隆造

兼會監(兼)原 隆造

兼會監(兼)原 隆造

理事官勸業課長 六等七級正七嶋田 博

新潟市警所通
二番町官舎

官職名 取扱事務 俸給 氏名

技師 農事試験場技師 (兼年三三) 菅野 鐵次郎

全 全 小泉 良俊

農業者 兼農事講習所技師 (兼年三三) 千田 孫一

技師 兼農事講習所技師 (兼年三三) 大島 金松

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 鈴木 三之介

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 武石 保太郎

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 關根 四一郎

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 藤本 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 伊藤 真吾

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 國田 國三郎

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

東浦原郡在勤 兼農事講習所技師 (兼年三三) 鷺澤 顯光

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 菅野 鐵次郎

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 千田 孫一

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 大島 金松

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 鈴木 三之介

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 武石 保太郎

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 關根 四一郎

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 藤本 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 伊藤 真吾

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 國田 國三郎

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

原蠶種製造所勤務 (月四〇) 岡村 郡重

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 菅野 鐵次郎

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 千田 孫一

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 大島 金松

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 鈴木 三之介

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 武石 保太郎

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 關根 四一郎

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 藤本 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 伊藤 真吾

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 國田 國三郎

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

全 兼農事講習所技師 (兼年三三) 岩八

埼玉縣 北足立郡 浦和町

知事二等三級 正五、勳四、添田敬一郎

内務部長四等三級 正六、阿部 龜彦

縣技師勸業課長 北足立郡浦和町官舎

六等(年六〇〇) 農業技師(年七〇〇) 陸軍長田 一郎

官職名 取扱事務 俸給 氏名

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 針谷 吾作

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 新井 藤松

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 逸見 方正

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 佐藤 長太郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 佐藤 長太郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 佐藤 長太郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 佐藤 長太郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 佐藤 長太郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 佐藤 長太郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 佐藤 長太郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 佐藤 長太郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 佐藤 長太郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 佐藤 長太郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 飯島 精次郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 齋藤 直藏

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 加藤 唯三郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 山下 長松

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 栗田 定次郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 中村 金五郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 中村 金五郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 中村 金五郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 中村 金五郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 中村 金五郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 中村 金五郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 中村 金五郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 中村 金五郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 中村 金五郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 中村 金五郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 中村 金五郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 中村 金五郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 中村 金五郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 中村 金五郎

原蠶種製造所 中浦原郡五泉町

農業技師大島 金松

所長 農業技師大島 金松

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 針谷 吾作

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 新井 藤松

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 逸見 方正

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 佐藤 長太郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 佐藤 長太郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 佐藤 長太郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 佐藤 長太郎

技師 蠶業取締 (年一、五〇〇) 佐藤 長太郎

三重縣蠶業取締吏員
 (月三六) 河北 石松 五 久保田熊太郎
 五 木田 茂生 五 中村善七郎
 五 濱田源右衛門 五 加藤幸太郎
 五 伊東吉次郎 (月二六) 位田 傳七
 (月二六) 加藤 龍生 (月二五) 太田文治郎
 (月二四) 若山 鶴郎 (月二四) 藤本常二郎
 (月二四) 橋本 一二 (月二四) 森田 政治
 七 田尻 鐵也 (月二二) 小田乙次郎
 (月二二) 酒田 恆藏 (月二二) 清水 薰
 (月二二) 神戶中吉太郎 (月二二) 辻 喜作
 (月二二) 中川 源次 (月二二) 竹内 庄七
 (月二二) 一木 兼一 (月二〇) 植谷 留吉
 (月二〇) 清水寅之助 (月二〇) 江南英太郎
 (月一八) 山路 新市
 書記
 (月一九) 森田利三郎 (月一九) 中村 弘一
 (月一七) 安部 利平 (月一三) 吉川 喜八
 (月一三) 神谷伊三吉 (月一二) 櫻木 鐵造
 (月一一) 外川 三藏 (月一一) 森 桂三
 (月一一) 小林嘉重郎 (月一〇) 宮崎富三郎

原蠶種製造所

度會郡小俣村
 三重縣技術樋口 貢

愛知縣 名古屋市中區 新榮町
 知事二等三級 從四、勳三、松井 茂
 法學博士
 內務部長三等一級 從五、石橋 和
 名古屋市中區 七曲町官舎
 理事官産業課長
 田尻町外三田丸農蠶學校
 簡村組合立
 度會郡田丸町
 兼教諭小林 英一
 廣 幸平
 學校長六
 助教諭十
 (月一九) 刀根館正信 (月一四) 宮原 賢二
 (月一三) 石田 渡

六等五級 正七原口 晃
 官職名 取扱事務 俸給 氏名
 技術 蠶業取締 十二級俸川人兵次郎
 蠶業技術 製糸(年一、五〇〇)安東 潛
 全 原蠶種製 國(年八〇〇)水野辰五郎
 技術 蠶業取締 八級俸 吉見治兵衛
 吏員 蠶業取締 九級俸 重田 増太
 全 全 縣(年二〇〇)高橋 秀三
 全 全 縣(月四)高橋 秀三
 全 全 縣(月一)瀨泉 才右
 全 全 縣(月一)村上 喜内
 全 全 縣(月一)山本 秀次
 全 全 縣(月三)田中 榮治郎
 全 全 縣(月三)鈴木 一治
 全 全 縣(月一)小柳津藤治
 全 全 縣(月一)安藤 春美
 全 全 縣(月二八)橋本 泰次
 全 全 縣(月五)高瀬 慶作
 全 全 縣(月四〇)加藤 藤八

農事試驗場 (月五五)竹村 長義
 兼原蠶種製造 (月五〇)木村 助太郎
 全 全 山田島次郎
 技術師 原蠶種製造
 立原蠶種製造所 丹羽郡布設町
 所長心得 愛知縣技術師山田島次郎
 技術師
 農蠶技術 (月五〇) 高瀬 慶作
 農蠶技術 (月五〇) 木村助太郎
 農蠶技術 (月四〇) 坂本 宇一
 農蠶技術 (月四〇) 三谷賢三郎
 農蠶技術 (月三〇) 大久保 章
 書記(月三〇) 吉田久次郎
 ○豊川支所 寶飯郡豊川町
 支所長 農業技術師水野辰五郎
 技術師
 農蠶技術 (月五五) 竹村 長義
 農蠶技術 (月五〇) 橋本 泰治
 農蠶技術 (月四〇) 加藤 藤八
 書記(月一五) 小林 豊穂
 蠶豆農蠶學校
 郡立 蠶豆郡横須賀村

學校長八 (奏任待遇) 兼教諭從六、勳六長谷川豊太郎
 教諭 (奏任待遇) 石川 保治
 (奏任待遇) 德岡億治郎
 兼會監田村 兼造
 兼會監山田米太郎
 兼高木軍次郎
 七(當分月四三) 森崎 順三 九
 八 兼助教 藤十九
 八 兼心得大塚 藤十九
 學校醫(手當年二五) 林 傳三郎
 新築格太郎
 靜岡縣 静岡市追手町
 知事一等級 從四、勳三笠井 信一
 內務部長三等級 從五、勳四和田 世民
 理事官 産業課長 正七村松翠之輔
 六等六級 静岡市鷹匠町三
 丁目八八ノ一

官職名 取扱事務 俸給 氏名
 技術師 蠶業取締 十級俸 渡邊 亥八
 兼原蠶種製造
 技術師 蠶業取締 蠶業取締 (月四三) 小林 衛
 全 全 (月一)飯島 善太郎
 全 全 (月五〇)藤田 新祐
 農蠶技術 全 (月四〇)金 千信
 農蠶技術 原蠶種製造 (月一)根岸 銀五郎
 農蠶取締 蠶業取締 (月四〇) 蠶業取締
 所長 蠶業取締吏員 靜岡縣技術師渡邊 亥八
 蠶業取締吏員
 (月三〇) 岩瀨 爲治
 (月五〇) 岩瀨 爲治
 (月四〇) 今井 理市 農業技術師根岸銀五郎
 (月三七) 鈴木開之輔 (月三五) 大石 國雄
 (月三〇) 所 得三 (月一五) 阿部保太郎
 書記
 (月三三) 大庭辰太郎 (月一七) 鈴木保太郎
 (月一五) 喜多 重光

○下田支所

賀茂郡下田町

蠶業取締吏員

(月四〇) 主事黒田鶴次郎 (月四〇) 西山清松
 (月三七) 千葉 金作 (月三五) 吉岡 國廣
 (月二五) 加藤鶴次郎 (月二四) 野栗壽三郎
 (月二四) 土屋 半次 (月二四) 榎土 義明
 (月二〇) 土屋 喜作 (月一八) 森 辨平
 (月一七) 川口彦兵衛

蠶種検査吏員

(月一七) 清水 嘉吉 (月一七) 村山 正義
 (月一七) 森 真三 (月一七) 野崎 善二
 (月一六) 高野 勝 (月一五) 稲葉 きち
 (月一四) 白井 くま (月一四) 森下 ひめ
 (月一四) 戸谷 嘉江 (月一四) 外岡 間佐
 (月一三) 進士 はる

○沼津支所

田方郡三島町

蠶業取締吏員

(月三五) 主事八木昌吉 (月三三) 疋田武次郎
 (月三〇) 中曾根曾太郎 (月二七) 篠原庄作
 (月二五) 林 秀一 (月二四) 内藤 忠平
 (月二四) 杉山 鋼次 (月二四) 阿部 利八
 (月二三) 原科 幸喜 (月二三) 通美源右衛門
 (月二三) 伊藤 守次 (月二二) 小杉 護治
 (月二〇) 齊藤 一江 (月二〇) 近田三輪藏

(月一八) 鈴木 治作
 蠶種検査吏員
 (月二〇) 間淵 常吉 (月二〇) 夏目 文平
 (月二〇) 柳田 秋治 (月二〇) 神谷誠一郎
 (月一九) 鈴木嘉一 (月二〇) 池谷 喜一
 (月一九) 福田一之助 (月一九) 池谷 一二
 (月一九) 鈴木 清 (月一九) 村田 邦雄
 (月一九) 鈴木賢一 (月一八) 加藤 寛
 (月一八) 藤曲 忠吉 (月一八) 岡田吉太郎
 (月一八) 南條 榮吉 (月一八) 山崎 頼
 (月一八) 村木 仲次 (月一八) 小野田正次
 (月一八) 大橋 米藏 (月一八) 大杉 昇
 (月一七) 石川 九一 (月一七) 重田勇三郎
 (月一七) 西川 爲吉 (月一六) 森 只作
 (月一六) 小澤 寛市 (月一六) 惟村 正保
 (月一六) 遠藤 幸作 (月一四) 關谷 すす
 (月一四) 加藤 しう (月一四) 中根みきよ
 (月一三) 宇津木さみ (月一三) 日吉 せつ
 書記(月一五) 堀池 一造
 ○静岡支所 静岡市追手町
 蠶業取締吏員
 (月四) 主事内田新次郎 (月三五) 旗智 秀之
 (月二七) 成岡牛五郎 (月二五) 泉地山太郎
 (月二五) 山村鈔次郎 (月二三) 塚本 愛
 (月二二) 岩崎 修藏 (月二二) 土屋壽之助

(月二二) 小長谷 茂 (月二〇) 杉本 啓三
 蠶種検査吏員
 (月二五) 河野あいき (月二二) 伊藤 良吉
 (月一九) 前田 源吉 (月一八) 伊藤 録
 (月一七) 内田きやう (月一四) 飯田ちやう
 (月一四) 杉浦 美い (月一四) 坂本 さへ
 (月一四) 齊藤さしみ (月一三) 榎林 りさ
 (月一三) 大石 きよ
 書記
 (月一七) 榎原 平八 (月一七) 笹本 璋
 ○見付支所 磐田郡見付町
 蠶業取締吏員
 (月四) 主事豊森徳文太 (月三七) 大坂次郎
 (月二六) 飯田傳太郎 (月二六) 岡本義一郎
 (月二五) 秋元 棟平 (月二五) 鈴木 賢一
 (月二四) 大藤 堅司 (月二四) 鈴木 浩一
 (月二三) 杉田七財茂 (月二二) 大石市太郎
 (月二二) 鈴木市郎 (月二二) 伊藤 榮吉
 (月二〇) 石津 郁一 (月二〇) 牧野常次郎
 (月一七) 加茂 俊治
 蠶種検査吏員
 (月二二) 恭松 近重 (月一九) 大塚 富吉
 (月一八) 平松 徳市 (月一八) 村松 武定
 (月一六) 鈴木儀一郎 (月一六) 渡邊 きく
 (月一五) 大谷 さだ (月一四) 高田 ひさ

(月一四) 伊藤 りつ (月一四) 若森 さく
 (月一四) 山田 はる (月一四) 石川 やす
 (月一四) 伊藤 くに (月一三) 高塚 きく
 (月一三) 岡島 ささ (月一三) 鈴木 さきく
 (月一三) 鈴木 よし (月一三) 山本 きみ
 書記(月一八) 金原 總作
 ○濱松支所 濱松市
 蠶業取締吏員
 (月四) 主事鈴木勝太郎 (月四〇) 伊藤誠太郎
 (月三三) 榎谷 鹿藏 (月二八) 大澤 信輔
 (月二八) 高橋實五郎 (月二五) 内山啓次郎
 (月二五) 松井 末藏 (月二二) 大村 寅吉
 (月二二) 河合 敏 (月二〇) 杉山 善作
 (月一九) 秋山誠太郎
 蠶種検査吏員
 (月二五) 松田あきえ (月二五) 田山 さみ
 (月一六) 新村 すゑ (月一四) 富田 汀
 (月一四) 荒井うめの (月一四) 森 てつ
 (月一四) 影山 かつ (月一四) 森 てつ
 (月一四) 江間 みよ (月一四) 内山 よし
 (月一三) 渡邊 くま (月一三) 秋田 きし
 (月一三) 高木 はな (月一三) 磯部 きみ
 (月一三) 鳥居 はま (月一三) 美濃部ふみ
 (月一三) 袴田 なつ (月一三) 伊藤 はま
 (月一三) 榎葉 たさ (月一三) 坂本留野

(月一三) 市原 ふさ (月一三) 堀内いちあ
 (月一三) 鈴木よし (月一三) 内田 ぶん
 (月一三) 牧野 ちよ (月一三) 松本 つや
 (月一三) 鈴木まつ (月一三) 影山 しづ
 (月一三) 影山 さきつ (月一三) 上村 さよ
 (月一三) 柳川 はる (月一三) 仁佐 しづ
 (月一三) 森 ひさの (月一三) 鈴木 けん
 (月一三) 鈴木 はま (月一三) 鈴木 かつ
 (月一三) 齊藤 はる (月一三) 小橋 ひさ
 (月一三) 三輪いづよ (月一三) 夫場 ふさ
 書記
 (月二〇) 服部 昌平 (月一六) 細川 博愛
 ○見付支所袋井出張所 船田郡笹西村
 蠶業取締吏員
 (月二八) 荒川喜三郎 (月二六) 伊藤 逸司
 (月二四) 石川 豊策 (月二三) 鈴木 秀末
 (月二〇) 原 正五郎
 蠶種検査吏員
 (月二二) 影山吉喜茂 (月二〇) 守屋 東一
 (月二〇) 永井 順 (月二〇) 鈴木 逸男
 (月一九) 吉田 鶴 (月一九) 小倉 貞夫
 (月一八) 鈴木啓次郎 (月一八) 原川 淳吉
 (月一八) 山田 孟 (月一八) 大畑 義一
 (月一八) 間淵秀太郎 (月一八) 磯部善一郎
 (月一八) 河原崎梅吉 (月一八) 小澤 瀬平

(月一八) 内山寛太郎 (月一八) 鈴木榮一郎
 (月一八) 小田 誦 (月一八) 永井 弘
 (月一八) 平野 萬吉 (月一七) 足立 すけ
 (月一七) 村田すゑの (月一六) 松井平一郎
 (月一六) 宮澤直次郎 (月一四) 三浦 まつ
 (月一四) 小川 つち (月一三) 高岡 愛
 (月一三) 鈴木 喜久 (月一三) 諸井まさな
 書記(月一七) 高田 米作
 ○見付支所奥山出張所 周智郡奥山村
 蠶業取締吏員
 (月二五) 長谷川令二 (月二二) 安部 市郎
 (月二二) 牧野 豊次 (月二〇) 鈴木常三郎
 (月一九) 中村 勇
 蠶種検査吏員○月一七
 書記(月一五) 加茂徳太郎
 ○濱松支所吉津出張所 濱名郡吉津村
 蠶業取締吏員
 (月三三) 熊岡 保 (月二六) 佐藤新三郎
 (月二二) 小野定一郎 (月二〇) 牧野管次郎
 (月一七) 白井 謙作
 蠶種検査吏員
 (月二〇) 外山 吉作 (月一九) 飯田 彌吉
 (月一九) 松山 誠一 (月一九) 豊森 主計
 (月一九) 原田 茂 (月一八) 井田 勇吉
 (月一八) 中村 米輔 (月一八) 間淵 貞雄

書記(月一六) 松本 忠一
 ○濱松支所白須賀出張所 濱名郡白須賀町
 蠶業取締吏員
 (月二八) 桑原 百合 (月二三) 安藤 政一
 蠶種検査吏員
 (月一七) 佐原 直三 (月一七) 高田 たか
 (月一六) 森 種吉 (月一四) 小池 絹枝
 (月一三) 宇藤 ぼつゑ
 ○濱松支所金指出張所 引佐郡金指町
 蠶業取締吏員
 (月三三) 鈴木多三郎 (月二四) 森 龍助
 (月二二) 石井喜六郎 (月二〇) 杉山 文夫
 蠶種検査吏員
 (月二二) 深井清一郎 (月一九) 宮司 徳次
 (月一九) 村松章太郎 (月一八) 黒柳 勉
 (月一七) 加藤 さき (月一七) 高林 幸吉
 (月一七) 杉山 喜六 (月一六) 松野 源一
 (月二二) 市川 けん

書記(月一六) 松本 鑑一郎

原蠶種製造所

所長 安倍郡豊田村 農事試験場内
 静岡縣技術師渡邊 亥八
 農業技手
 (月四五) 阿部保太郎 (月四〇) 金子 保
 (月一) 根岸銀五郎
 書記(月一八) 杉浦 一然
 濱名郡立蠶業學校 濱名郡 天神町村
 學校長八 (兼教諭從五、勳六舟木文次郎)
 (兼任特選)
 教諭
 十一(兼任特選) 吉村武三吉
 六 村上萬太郎 八 鈴木卯之進
 八 小田 實造
 八(當分月三八) (兼舎監) 勳八内田 昇
 (加俸月三) 増田 喜一
 九 書記六 袴田善五郎
 助教諭心得(月二〇) 會監心得 小楠佐太郎 (月三)
 學校醫(年二五) 足立謙一郎

山梨縣

甲府市錦町
 知事二等二級 正五、勳三若林 資藏
 甲府市百石町官舎
 内部部長三等一級從五、勳四柿沼 竹准
 甲府市錦町官舎
 理事官農園課長 正七川上 親俊
 甲府市富士川町
 官職名 取扱事務 俸給 氏名
 技師 農蠶 橋本 定吉
 (年一、三〇) 橋本 定吉
 技手
 蠶業取締 全
 吏員
 (月二〇) 鈴木喜三郎
 (月三〇)
 技手
 (月二〇) 中山 長重
 (月二三)
 製糸蠶業 取締 技手
 (月二六) 新田見義郎
 吏員 (月九)
 蠶業取締所 縣廳内
 所長 山梨縣技術師橋本 定吾
 蠶業取締吏員

(月三三) 小林喜太郎 (月三二) 菊島 順作
 (月二八) 鷹野 鶴吉 (月二五) 山口清次郎
 (月二五) 中村 愛矩 (月二四) 岩間 匡
 (月二二) 丸山 興一 (月一八) 石 一房
 (月一八) 長田 寛澄 (月一八) 三枝 廣策
 (月一七) 塚原勝太郎 (月一七) 久津間義繼
 (月一七) 菊島 久丸 (月一七) 野田 敏夫
 (月一七) 古屋 辰男 (月一五) 向山 庸軌
 (月一五) 三枝 興一 (月一五) 三科今朝重
 (月一五) 古屋 皎
 書記
 (月一七) 依田 清 (月一五) 岩間 茂平
 (月一四) 田中 幸平 (月一四) 野呂瀧勝三郎
 (月一三) 藤島 盈三
 郡立山梨蠶業學校 東八代郡石和町
 學校長九
 (兼任特選)
 兼教諭正七小野 三郎
 教諭
 八 金戸 紀八 支倉養五郎
 八 矢島 泰三九 中村謙之丞
 書記九 兼助教諭心得勳八荻野治郎吉
 學校醫(手當年一五) 林 義則

滋賀縣

大津市東浦
 知事二等三級 正五、勳四佐柳 藤太
 大津市東浦官舎
 内部部長四等三級 正六、勳五信太 時尙
 大津市松本
 理事官勸業課長 正七、勳六小財捨太郎
 大津市境川町四
 六等七級 十番屋敷ノ一
 官職名 取扱事務 俸給 氏名
 技師 蠶業 取締 生方 五郎
 (年一、〇〇)
 技師 製糸蠶業 日佐 豊藏
 (年九、〇〇)
 技師 農蠶 中島 宣喜
 (年七、〇〇)
 技手
 (月一) 中島 宣喜
 (月二) 中村 清次郎
 (月三〇)
 技手
 (月一〇) 橋本 修治
 (月三〇)

原蠶種製造所
 所長 滋賀縣技術師生方 五郎
 阪田郡長濱町大字三ツ矢
 技手
 (月一〇) 大村 形司
 (月二五)
 技手
 (月一) 中川 傳治
 (月三三)
 技手
 (月一) 井上 正一郎
 (月二七)
 原蠶種製 造事務 全
 技手
 (月四〇) 江本 真之助
 (月三五) 奥永 祐之丞
 蠶業取締 全
 吏員
 (月三〇) 高本 幾次郎
 蠶業取締所
 所長 原蠶種製造所
 東淺井郡大郷村大字會根
 原蠶種製造所
 技手
 (月三五)
 蠶業取締吏員(月三〇) 中村清次郎
 (月二二) 山口 助作
 (月二二) 蠶業取締吏員(日二〇) 福本 寅吉
 (月二〇) 北川伊右衛門

縣立大井原蠶種製造所

所長 蕨那郡大井町
農業者技師 岐阜縣技師藤間大治郎
農業者技師 宮崎 嘉一 (月四八) 四川 新松 (月四五) 海老 房吉 (月四五) 田中 興吉 (月三五) 野村 繁九郎
書記 (月一八) 縣書記 (月一) 林 勇吉

縣立高山原蠶種製造所

大野郡大名田村
農業者技師 町田 治助
農業者技師 松田 善三 (月四五) 小池 宮三郎 (月三四) 大森 一男
書記 (月一六) 縣書記 (月一) 田近源一

大野郡立飛驒蠶業講習所

大野郡丹生川村
農業者技師 小池 宮三郎
所長 (兼) 農業者技師 小池 宮三郎

吉城郡立蠶業講習所

加藤 英治
所長 (兼) 農業者技師 矢口 喜三郎
書記 (月二〇) 縣書記 橋本 兵藏 大久保 基吉

長野縣

知事 二 三 級 正五、勳四 依田 銆三郎
內務部長 四 等 二 級 從六 廣瀨 直幹
官職名 取扱事務 傳 給 氏 名
蠶業課長 蠶業製絲 吏員 (月) 井上 伍鹿
蠶業課長 蠶業製絲 吏員 (月) 相田 勝一
農業者技師 養蠶 (技手 年三〇) 藤崎 卓爾
農業者技師 養蠶 (技手 年三〇) 久根下 美賀藏
農業者技師 養蠶 (手當月一) 藤崎 卓爾
農業者技師 養蠶 (手當月一) 久根下 美賀藏
農業者技師 養蠶 (手當月一) 藤崎 卓爾
農業者技師 養蠶 (手當月一) 久根下 美賀藏
農業者技師 養蠶 (手當月一) 藤崎 卓爾
農業者技師 養蠶 (手當月一) 久根下 美賀藏

蠶業取締所

縣廳 內
所長 長野縣技師 増子 德之助
長野縣技師 宗像 宗吉
長野縣技師 齊藤 政之助
長野縣技師 佐藤 壯太
長野縣技師 中島 隆人
水 下 合藏

北佐久支所

北佐久郡 岩村 田町
主事 長野縣技師 宮田 彌壽太
書記 (月一七) 佐々木 慶藏
書記 (月一八) 小林 豊

諏訪支所

諏訪郡 上諏訪 町
主事 長野縣技師 平澤 貞藏
書記 (月一四) 坂井 傳
書記 (月一四) 田中 金重

上伊那支所

上伊那郡 伊那 町
主事 長野縣技師 岩田 東助
書記 (月一七) 栗田 茂夫
書記 (月一八) 高木 久茂

下伊那支所

下伊那郡 飯田 町
縣吏員

主事 (月三〇) 太田 那彌 (月二五) 橋本 善三
 (月二五) 林 定雄 (月二二) 古田 清
 (月二二) 百瀬 直江 (月二一) 西島 多十
 (月二六) 川八郎右衛門 (月二〇) 清水繁次郎
 (月一七) 古平 岩尾 (月一七) 武舎徳五郎
 (月一七) 渡邊 愛次 (月一七) 竹内純一郎
 (月一七) 阿部 義雄
 書記(月二〇) 中島 豊

○西筑摩支所 西筑摩郡福島町
 縣吏員
 主事 長野縣技手丸山 舜一
 (月二五) 小野 周三 (月二二) 中山助三郎
 (月一七) 加治銀二郎 (月一五) 宮内 博
 書記(月一七) 松島助三郎

○東筑摩支所 松本市
 縣吏員
 主事 長野縣技手湖澤 精一
 (月三〇) 宮岡 秀美 (月二六) 杉原盛之助
 (月二四) 前島 長作 (月二二) 山寺 深孝
 (月二〇) 石塚 一夫 (月一九) 金山 嘉憲
 (月一九) 中村 茂子 (月一九) 中村 端
 (月一九) 高木 博 (月一八) 佐藤 岩衛
 (月一七) 三浦 國彦 (月一六) 中島榮發吉

○南安曇支所 南安曇郡豊科村
 縣吏員
 主事 長野縣技手瀧澤八郎右衛門
 (月三〇) 伊東 祐也 (月二五) 萩原長治郎
 (月二三) 中野久之助 (月二〇) 矢口 武敏
 (月一九) 福澤 四郎 (月一八) 久保 昌文
 (月一八) 伊藤 乙彌 (月一七) 山越 嘉二
 (月一七) 伊藤十七治 (月一七) 小池 知作
 (月一六) 笹原 達治 (月一五) 新井 安明
 書記(月一九) 丸山 市衛

○北安曇支所 北安曇郡池田町村
 縣吏員
 主事 長野縣技手山邊齋三郎
 (月二六) 森 梅吉 (月二二) 藤森 徳英
 (月一九) 増田 傳吉 (月一八) 松島 茂留
 (月一七) 伊藤 博文 (月一六) 田中 貞二
 書記(月一八) 松田 春雄

○更級支所 更級郡磯崎村
 縣吏員
 主事 長野縣技手安川 嘉三
 (月二五) 原田源太郎 (月二二) 二本 眞男
 (月一八) 上原角之助 (月一七) 西野入梅吉
 書記(月一七) 森 喜三郎

○埴科支所 埴科郡屋代町
 縣吏員
 主事 長野縣技手茂呂藏一郎
 (月二四) 竹内 五郎 (月二三) 佐藤 守郎
 (月一八) 田牧 博輔 (月一八) 中島 深造
 (月一七) 田島 賢 (月一七) 關 助一郎
 (月一六) 清水 直衛
 書記(月一九) 久保 武信

○上高井支所 上高井郡須坂町
 縣吏員
 主事 長野縣技手齋藤 常雄
 (月二八) 佐藤 長治 (月二三) 山浦 眞平
 (月一九) 山岸 眞
 書記(月一五) 青木 佛太

○下高井支所 下高井郡中野町
 縣吏員
 主事 長野縣技手四村孫次郎
 (月二五) 北條 泰孝 (月二四) 松代 儀八
 (月一九) 宮尾 三治 (月一七) 中澤 保
 書記(月一四) 海野 重治

○上水内支所 長野市
 縣吏員
 主事 長野縣技手青木濱之助
 (月二五) 林 廣 (月二〇) 前島 武男

(月一九) 平出福一郎 (月一七) 山崎 雅光
 (月一七) 大月 功
 書記(月一五) 北村 謙介

○下水内支所 下水内郡飯山町
 縣吏員
 主事 長野縣技手市川 平藏
 (月二四) 羽田 喜助 (月一七) 渡邊 金助
 書記(月一三) 鳥津敬之助

地方種繭審査會
 會長 委員廣瀬 直幹
 副會長 委員中島 精一
 幹事 委員今井 五介
 書記 委員増子徳之助
 技手 谷田部七五郎 長野縣屬太久保幸次郎
 長野縣 中島 隆人
 委員 長野縣技手宗像 宗吉
 羽田桂之進 細川吉次郎
 内務部長廣瀬 直幹 宮澤七右衛門
 長野縣技師増子徳之助 小林直次郎
 長野縣技師三吉 米熊 矢崎 源藏
 中島 精一 片山 恩治
 市川喜三郎 工藤 善助

第一原蠶種製造所 小縣郡上田町
 所長 農業技師相田 勝一
 農業技手 丸茂源次郎 武井覺太郎
 百瀬 渡 竹內幸太郎
 曾根原數太郎 木下 一雄
 丸茂源次郎 武井覺太郎 木下 宮
 越 壽三郎 大井 富太
 松田唯治郎 鳥羽 久吾
 今井 五介 農業技師久根下美賀藏
 尾澤 琢郎

第二原蠶種製造所 松本市
 所長 農業技師久根下美賀藏
 農業技手 間瀬 滋郎 (月五〇) 大友 喜平
 (月三〇) 勤七、功七、細川 藏三
 書記(月二〇) 鷹野 義忠
 助手 池内助次郎 (月一八) 黒澤 芳雄
 (月二〇) 五千嵐龜次 (月一五) 柳澤 恆甫
 (月一五) 五千嵐龜次 (月一五) 柳澤 恆甫

立小縣蠶業學校 小縣郡上田町
 校長 米熊 兼教諭長野縣
 技師上田蠶糸三吉 專門學校教授
 教諭 正八長谷川良平
 八(當分年九六〇) 九(當分年八五〇) 十(當分年七五〇) 十一(當分年六五〇)
 (奏任待遇) 月二(從七) 星野仙之丞
 (奏任待遇) 平島正五郎
 六(當分年四七) 長田 三雄 八 酒井小油郎
 七 松本 秀男
 八(當分年三八) 兼倉監(手當月二)後藤 操
 九 高月 雅二 九 堀部 豊松

